HiME-Mania

姫マニア

画・尾山泰永

vol.31



尾山泰永が復活!!

みはねに全部出して♡
カマキリ

イケない初体験
尾山泰永

妹はお嬢様
白虎丸

女子校に男一人!?
さかぐちしずか

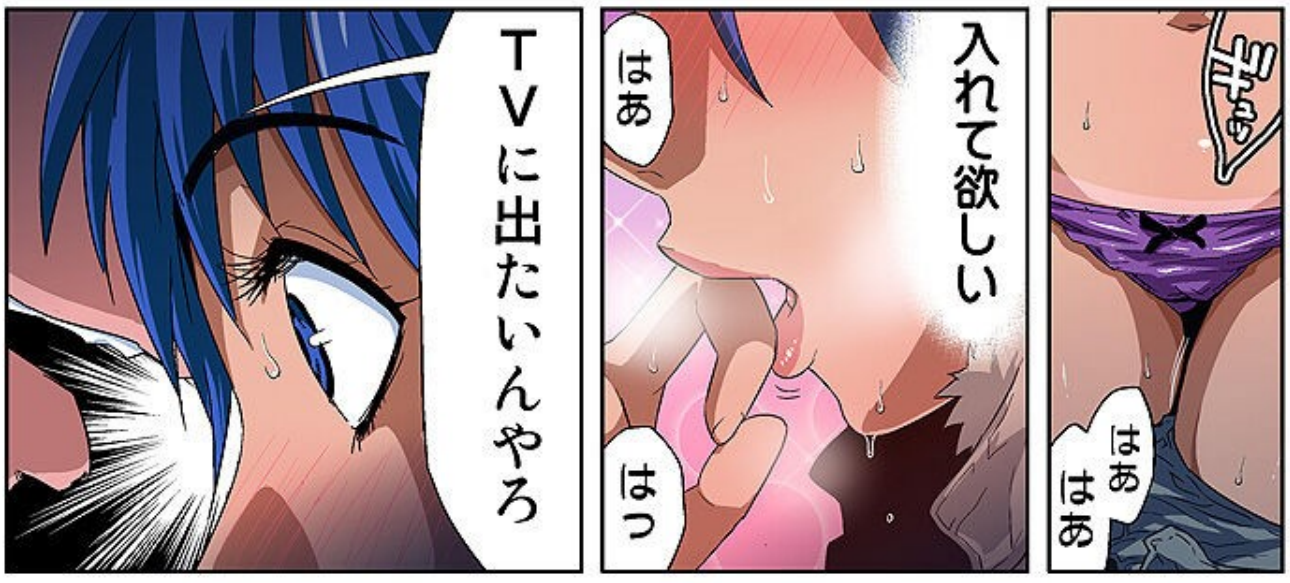
ヴァージンあげちゃう
栗本重治


みはねに全部出して♡
ACT 61
カマキリ


ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ACT61
ジュリナ
この女
キシシ
なんちゅう
エロい体
してんのやっ
ハァ
ハァ
ほれっ
クリ
イ
あっ


ミオちゃんの中に
入りたくて
コイツ
ガッチガチに
なってるやろ

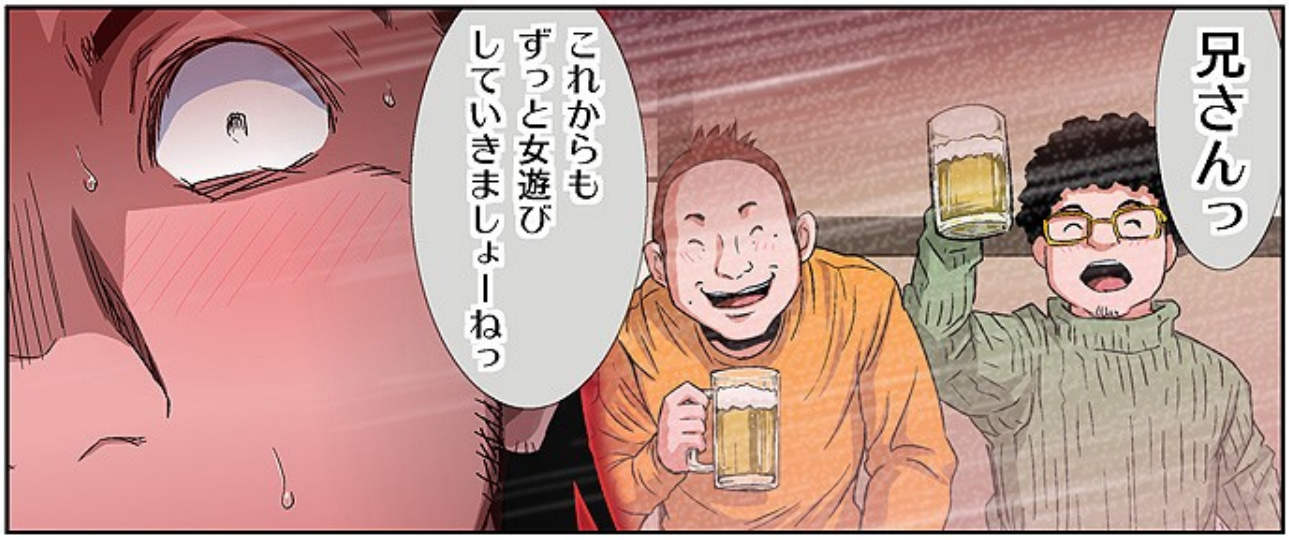

ああ…
凄い…
噂で聞いてた
けど…
亀ちゃんの
チンチン…
ふ…
太いっつ
ドキン
ドキン
ビクッ
ビクッ


はあ
はあ
はあ
入れて欲しい
はっ
TVに出たいんやろ


・・・私は
私はもう
グラビアの
舟口ミオじゃなくて
MIOなのっ
体で売りたく
ない!!
折角
百合川さんに
もらったチャンス
私は歌手として
やっていきたいのっ

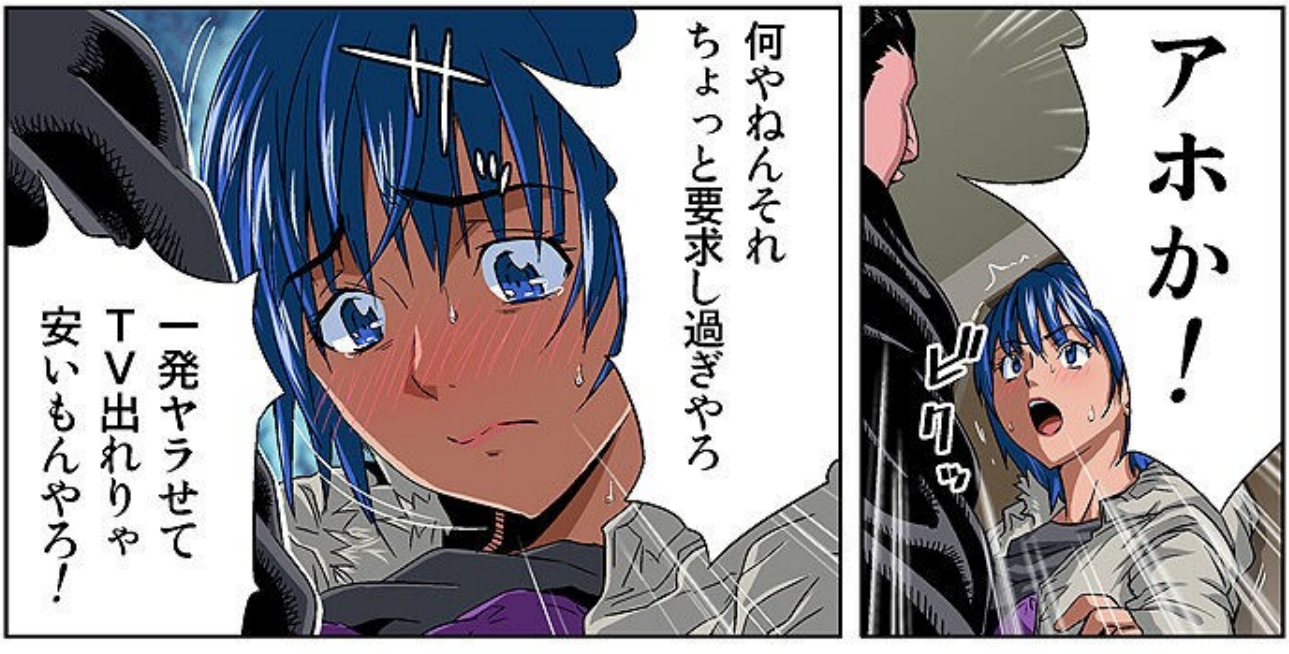

スルッ
ぬるっ
!!
なんや
ミオちゃんも
ビチャビチャやんかっ
は♡
ほれっ
入れて欲しいやろっ
なっ
ぬるっ
ぬちゅっ
ぴちゃ
ぴちゃ
ぴちゃ
あ♡
ヒクン
なあ
るろ
るろぉ
ヒクッ
あ♡
あ♡
はっ♡
ヒク
ヒクッ
あ♡
駄目っ！
ビクッ
うおっ
……
……
ち
ドキン
ドキン
……
……じゃあ

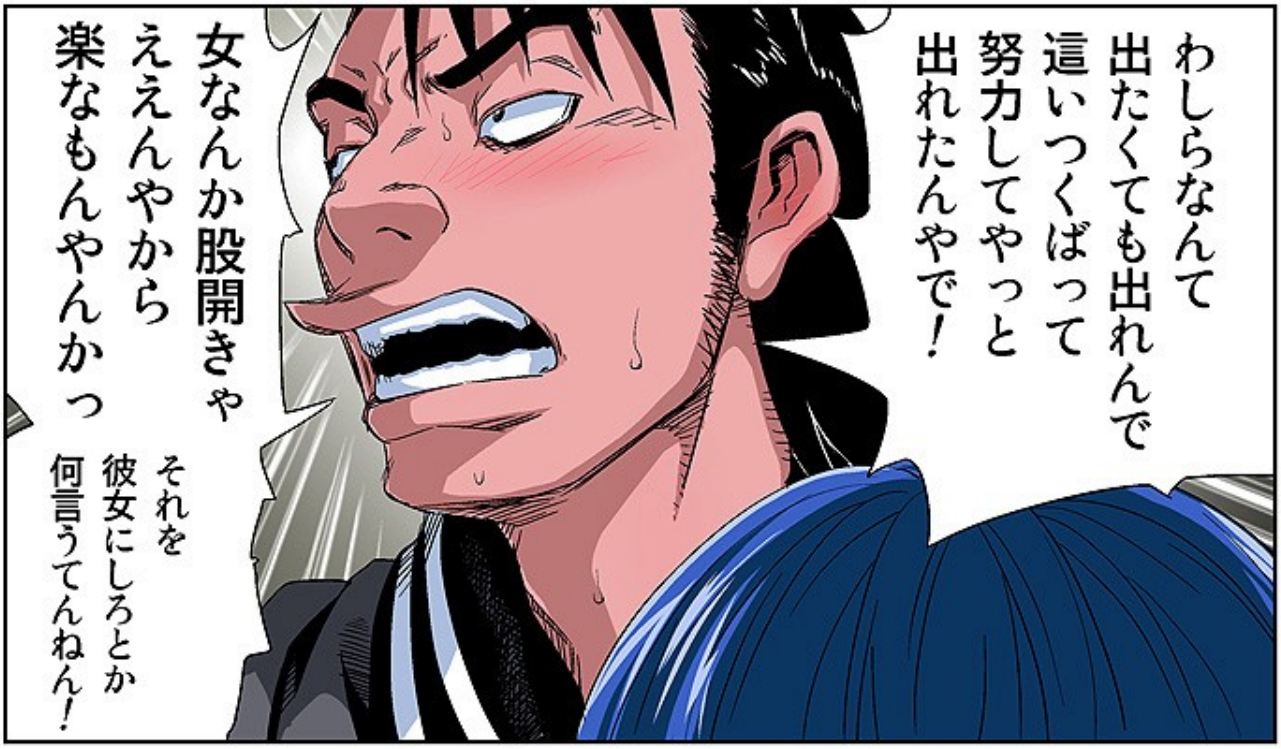

じゃあ
ちゃんと私と付き合ってくれる？
ドキッ


兄さんっ
これからもずっと女遊びしていきましょーねっ


彼女作ったり
結婚なんて
しないで下さいね
そーですよ
破天荒な兄さんが
格好いいし
僕達憧れてるんですっ
兄さんは
絶対決まった
彼女なんか作ったら
つまんなくなりますよぉ


そんなん
わかっとるわ!
俺は一生
落ち着かへんで!!
その前に
お前らは
その遊ぶ女
見つけてこんかい!
特にオコゼ
これでも
頑張ってるん
ですよ~~~
ハハハハハハハ
ペロペロ


アホか!
ビクッ
何やねんそれ
ちょっと要求し過ぎやろ
一発ヤラせて
TV出れりゃ
安いもんやろ!


わしらなんて
出たくても出れんで
這いつくばって
努力してやっと
出れたんやで！
女なんか股開きゃ
ええんやから
楽なもんやんかっ
それを
彼女にしろとか
何言うてんねん！

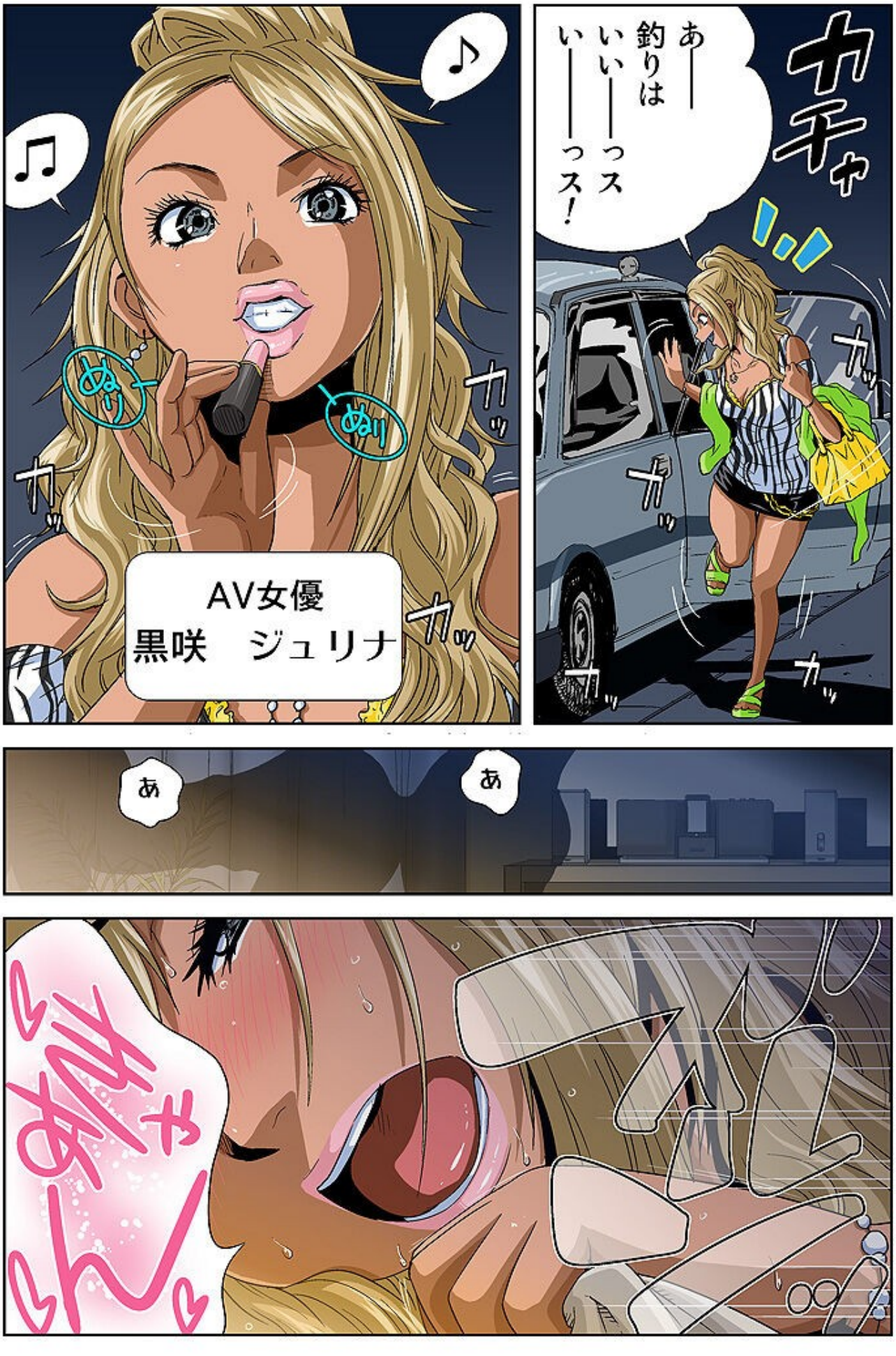

全くめんどくさい
女やでっ
ほれっ
帰れ帰れ！
ピピピ
おージュリナかー？
なにしとんの？
今から遊ばへんかー？

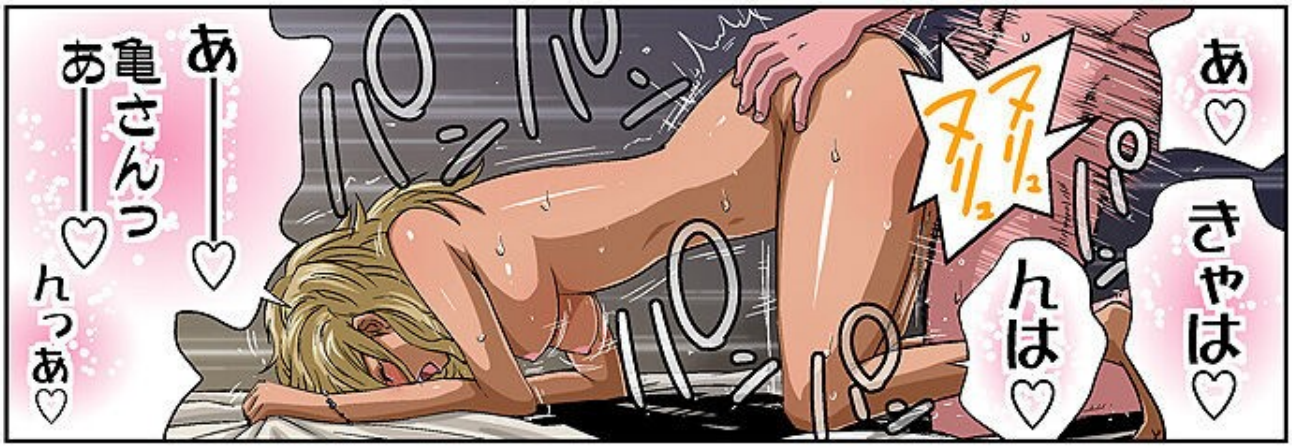

キシシシ
そーかそーか
じゃあ今から
来いや！
綺麗な下着
付けてくるん
やで――


キッ
ロロロ


コッ
コッ
コッ


コッ
コッ

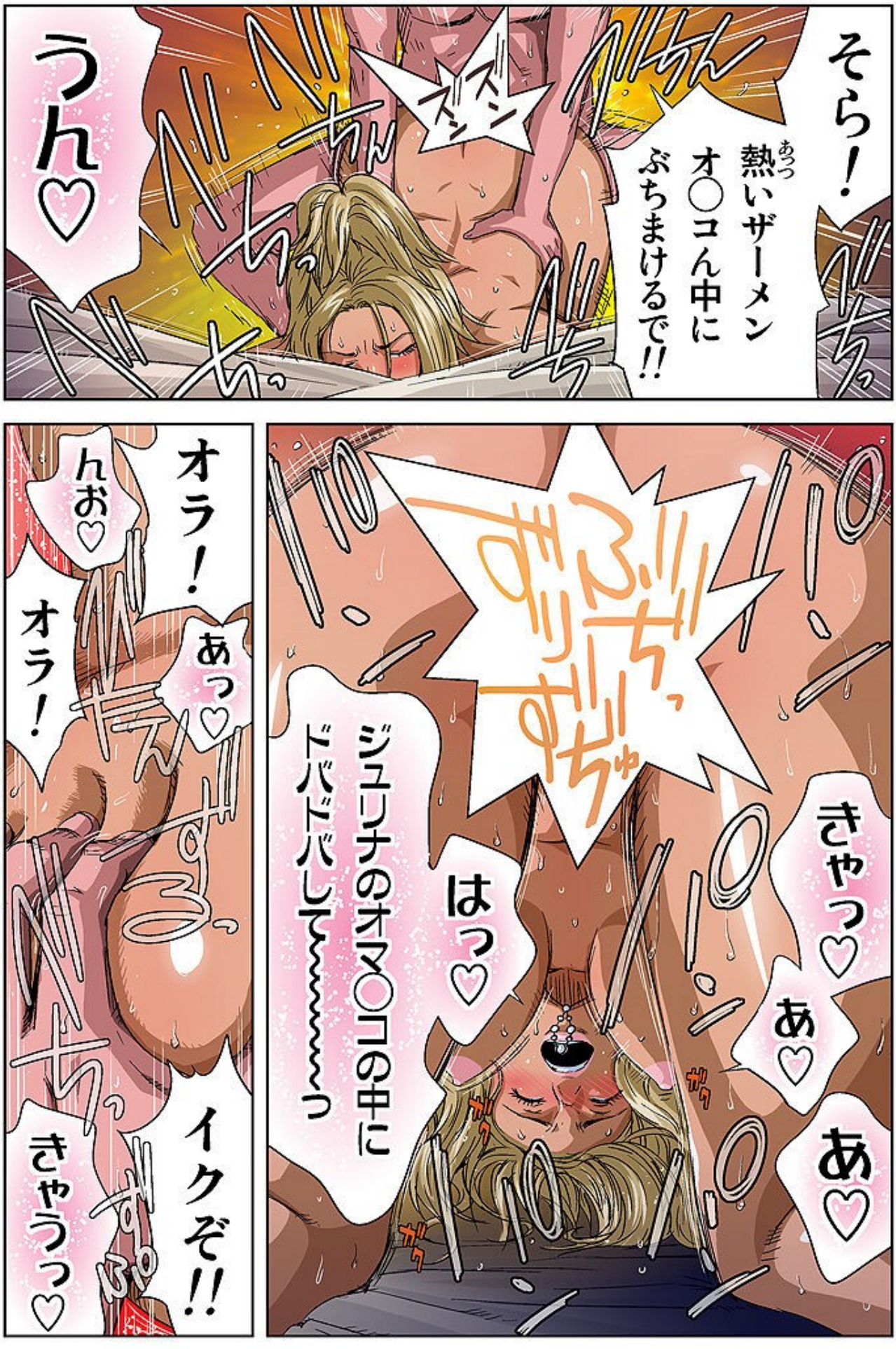

カチャ
あ――
釣りは
いい――っス
い――っス！
♪
♫
ぬり
ぬり
AV女優
黒咲　ジュリナ
あ
あ
AV女優

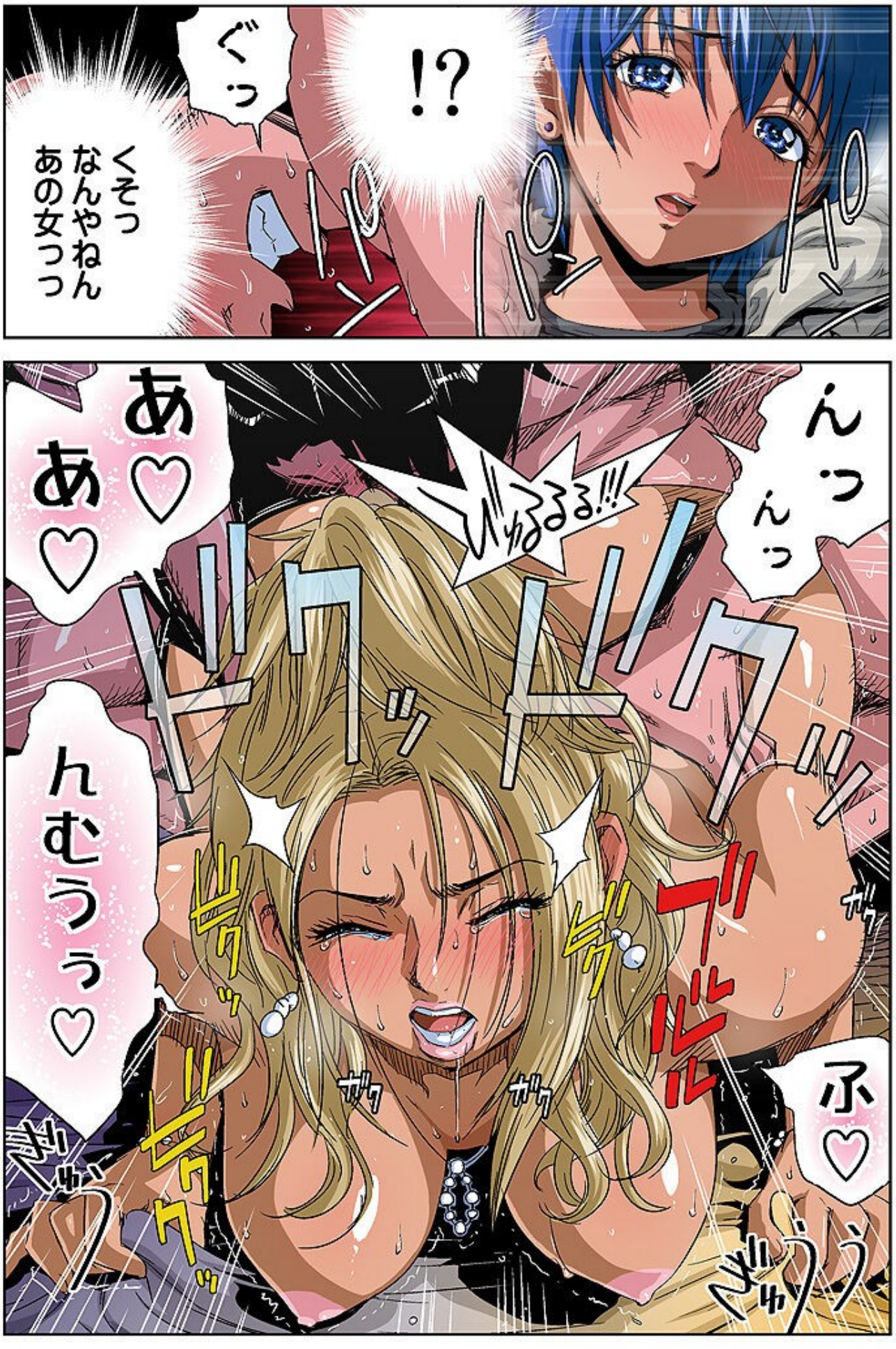

あ♡
きゃは♡
んは♡
あ――♡
亀さんっ
あ――♡
んっあ♡


はん♡
きゃん♡
あ♡
激しすぎる
よぉお♡
あ♡ヤバイ♡
気持ちいっ
過ぎるぅう♡


フ――
フ――
え？
くっそ頭来るわ
ジュリナッ
今日はこのまま
中にぶちまけるぞ
ええな


ん～
じゃあまた
VTRでいいから
使ってくれる？
おうっ


そら！
熱(あつ)いザーメン
オ○コん中に
ぶちまけるで!!
ズンズン
うん♡
あ♡
きゃっ♡
あ♡
はっ♡
ジュリナのオマ○コの中に
ドバドバして～～～っ
オラ！
あっ♡
んお♡
オラ！
イクぞ!!
きゃうっ♡


!?
ぐっ
くそっ
なんやねん
あの女っっ
んっ
んっ
ふ♡
ぶるるる!!!
ドクドクドク
あ♡
あ♡
んむうう♡




なんやねんっ
イラつくわあ





みはねに全部出して♡



ACT 62

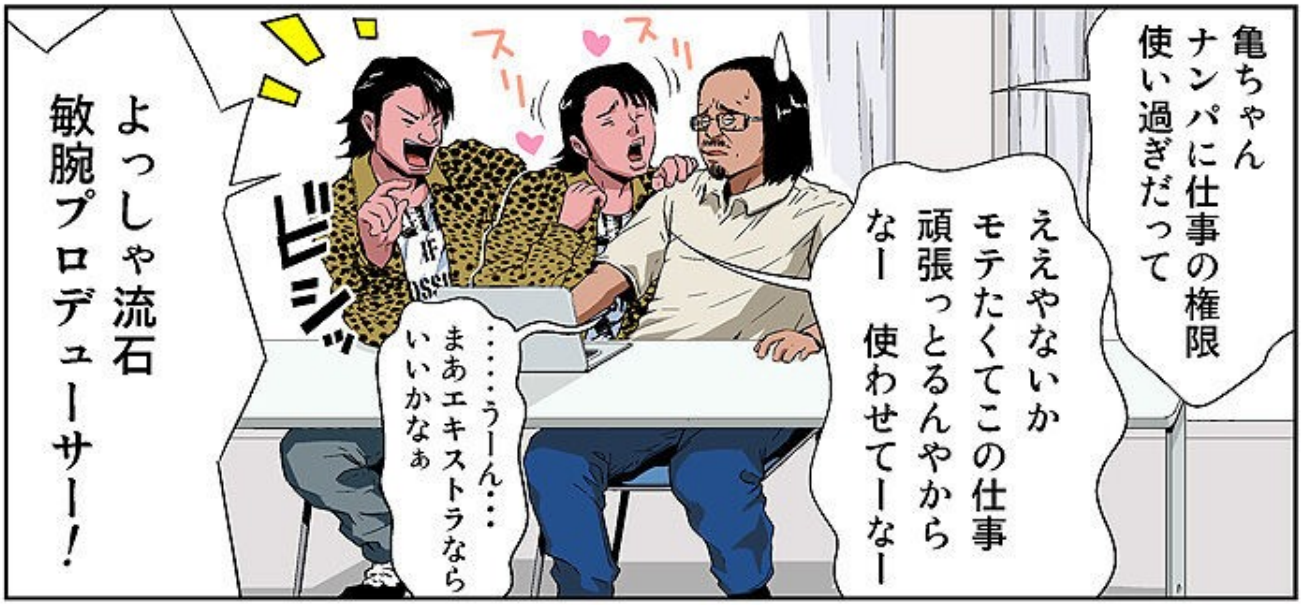
カマキリ


ACT62　隣の楽屋


えー
またあ？


ちょっと
AV女優（この）は深夜枠でも
使えないよ
GAL野外
黒咲ジュリナ
最近いろいろ
うるさいんだって


えー
やないか
ちょっとでいいから
使（つこ）うたってや　なっ！


亀ちゃん
ナンパに仕事の権限
使い過ぎだって
ええやないか
モテたくてこの仕事
頑張っとるんやから
なー　使わせてーなー
スリ
スリ
ビシッ
……うーん…
まあエキストラなら
いいかなぁ
よっしゃ流石
敏腕プロデューサー！


でーその敏腕プロデューサー
…実は　もう一人約束しちゃってなあ
ええええ？ちょっと亀ちゃん
なんやMIO(ミオ)っちゅう娘なんやけど
カチャカチャ
？
おっぱいもでかいしなんか使えへんかな？
ドッキリの刺客とか
……
……
……いやいやいや…
それか顔から上撮らんでええから後ろ座らせとけば客の目止まるやろ
いや　亀ちゃん…そんな風には使えないよ
この娘…MIOちゃん知ってるよ
確かに元グラビアアイドルだし正直ぱっとしなかったけど今はちゃんと歌手として売れてきてるんだよ
？
売れとる？

それに

MIOちゃん確か
百合川さんプロデュース
だったよな



なんで？
小さいステージで
歌ってたで！



百合川さんの戦略だよ！
ジャンル的にアイドルと違って
事務所がゴリ押ししても
コア層からダサいって
言われちゃうと
売れなくなっちゃうからね!!

しっかり
少数の客前での
パフォーマンスを
優先させて
地盤を作ってから
ドーンと売りだすん
じゃないかな？

涼石　百合川さん
抜かりが無いなぁぁ



面倒(じやま)くさいことしたわあ

亀太郎様

前福成みはねちゃんに手出した時

ふ～～～～～

噂広まっただけでレギュラー2本減らされたしなあ

トン

トン

もしまた百合川なんかに目付けられたら芸能界から消されかねんぞ

は～～～～～


ハハ
すー
ゴク ゴク
コン
ハァ
？
？
の
そ
・・・・・・
あ♡ぁ♡
あ♡あ♡
あぁん♡
あ♡
お？おおっ？
誰か隣で
ＡＶ観とんなあ
ギシッ
カタ
カタ
？
？
!?

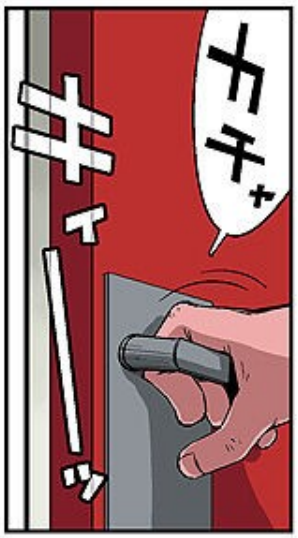

いや！違うでこりゃ…
誰か実際にヤっとる…
ドキ
ドキ
あぁ♡ぴちゃ
あ♡ あ♡
あぁあぁ♡
ぴちゃ
隣の楽屋…
番組関係者…
この声…
ぬちゃ
はぁあぁ♡
ん♡んっ
ぬちゃ

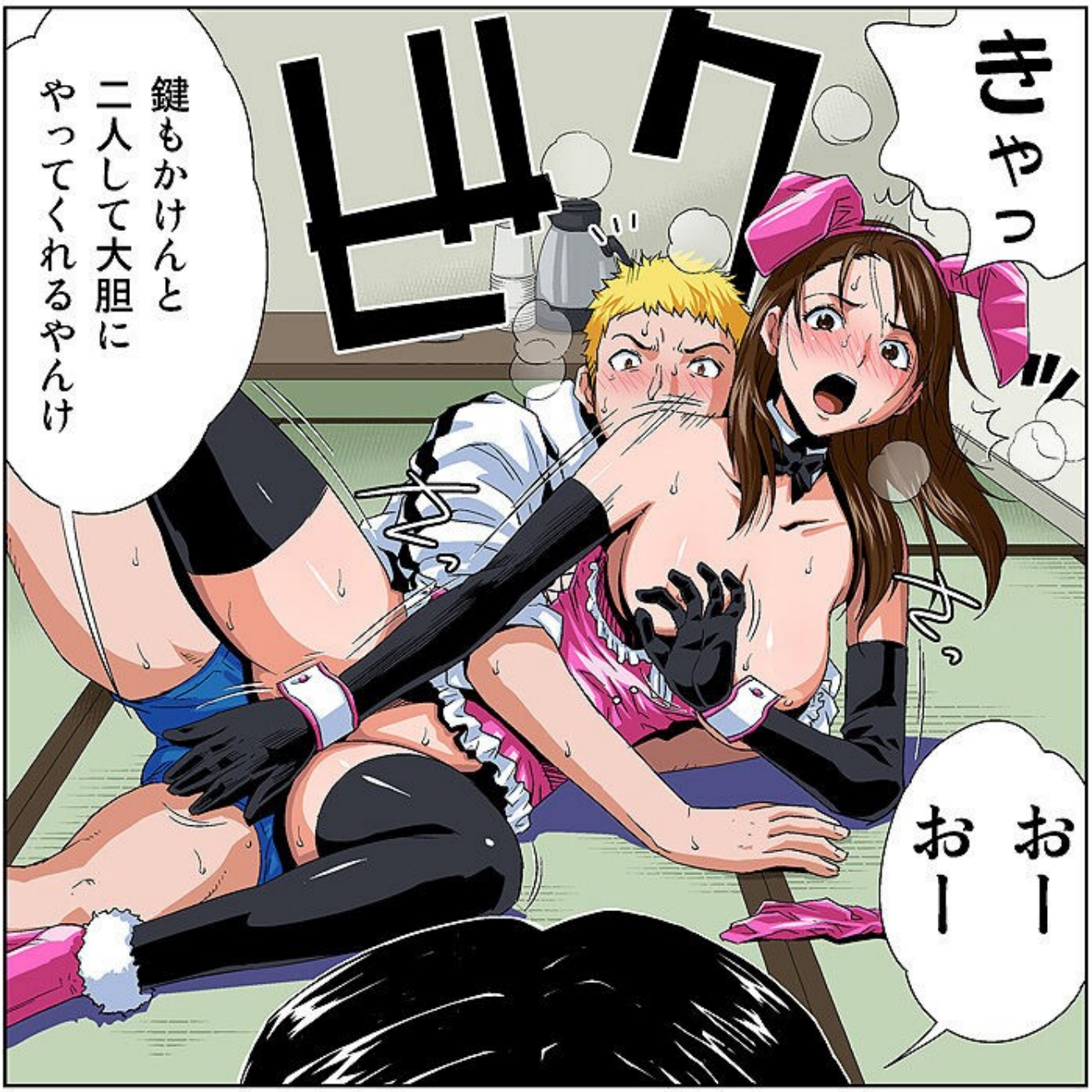

あずみか!!
あん♡
やぁん♡
あうぅぅ♡
にちゃ
ぬちゃ

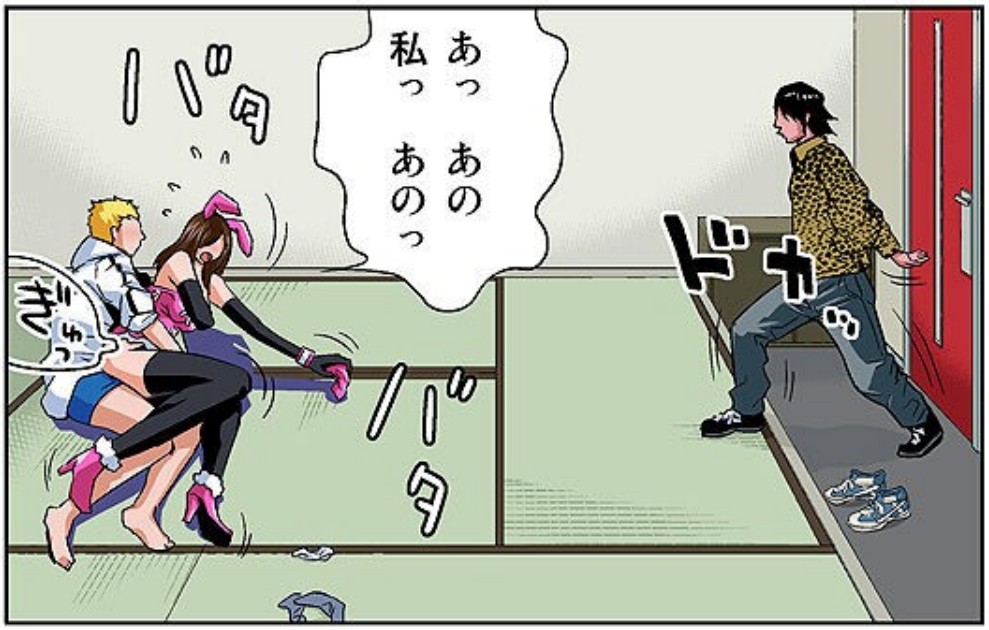

ほら どうだ？
あんな下品でつまらない奴より
僕の方がいいだろ？
ぬる、
ぬる
!!
相手は…
坂本っっ!!


うん♡
あんなの大きいだけで
ただ痛いだけだけで
あ♡ あ♡ んっ♡
ハァ
ハァ
坂本君の方が
優しくて 上手で…
あ♡ あ…
ハァ
気持ちいいよー♡

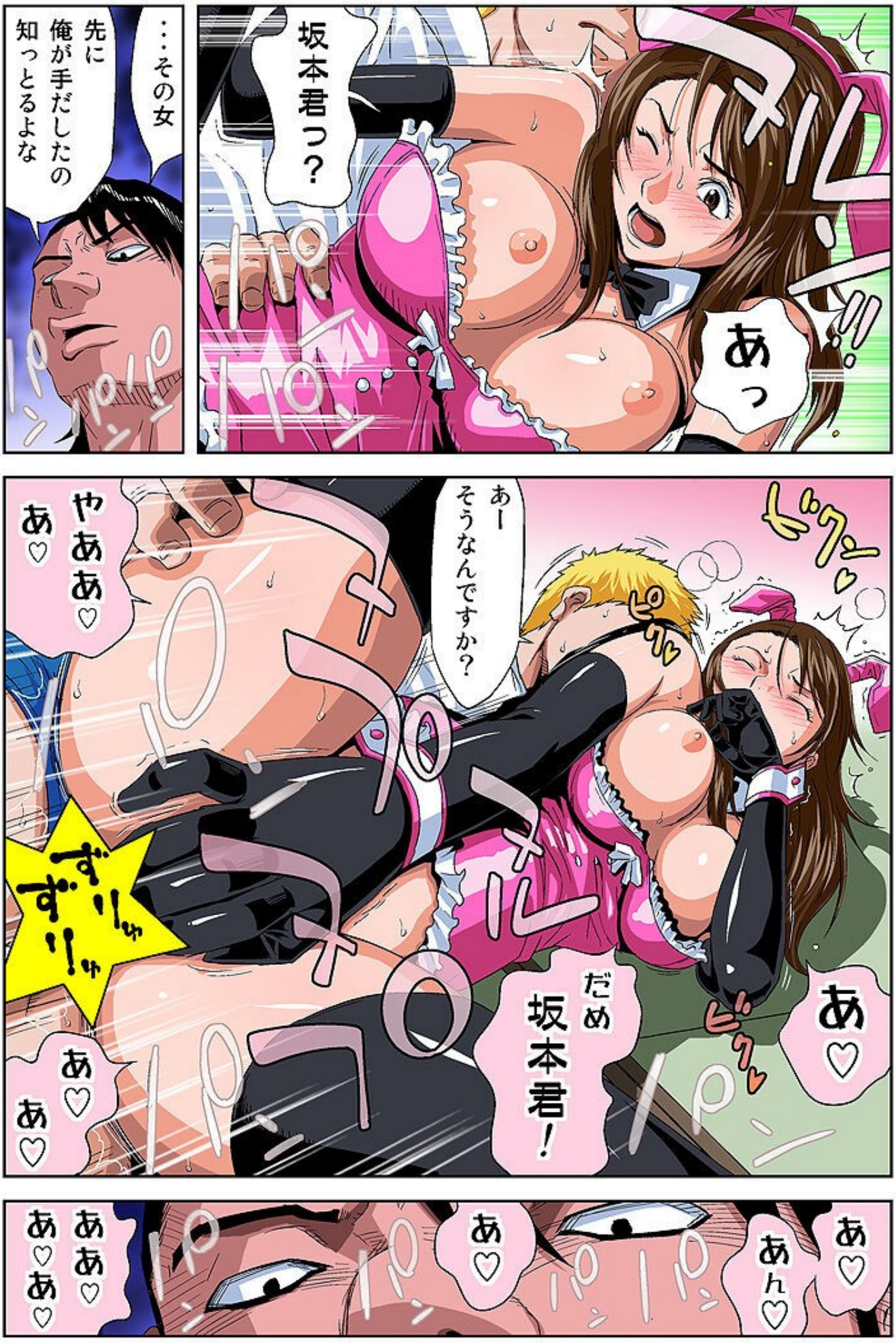


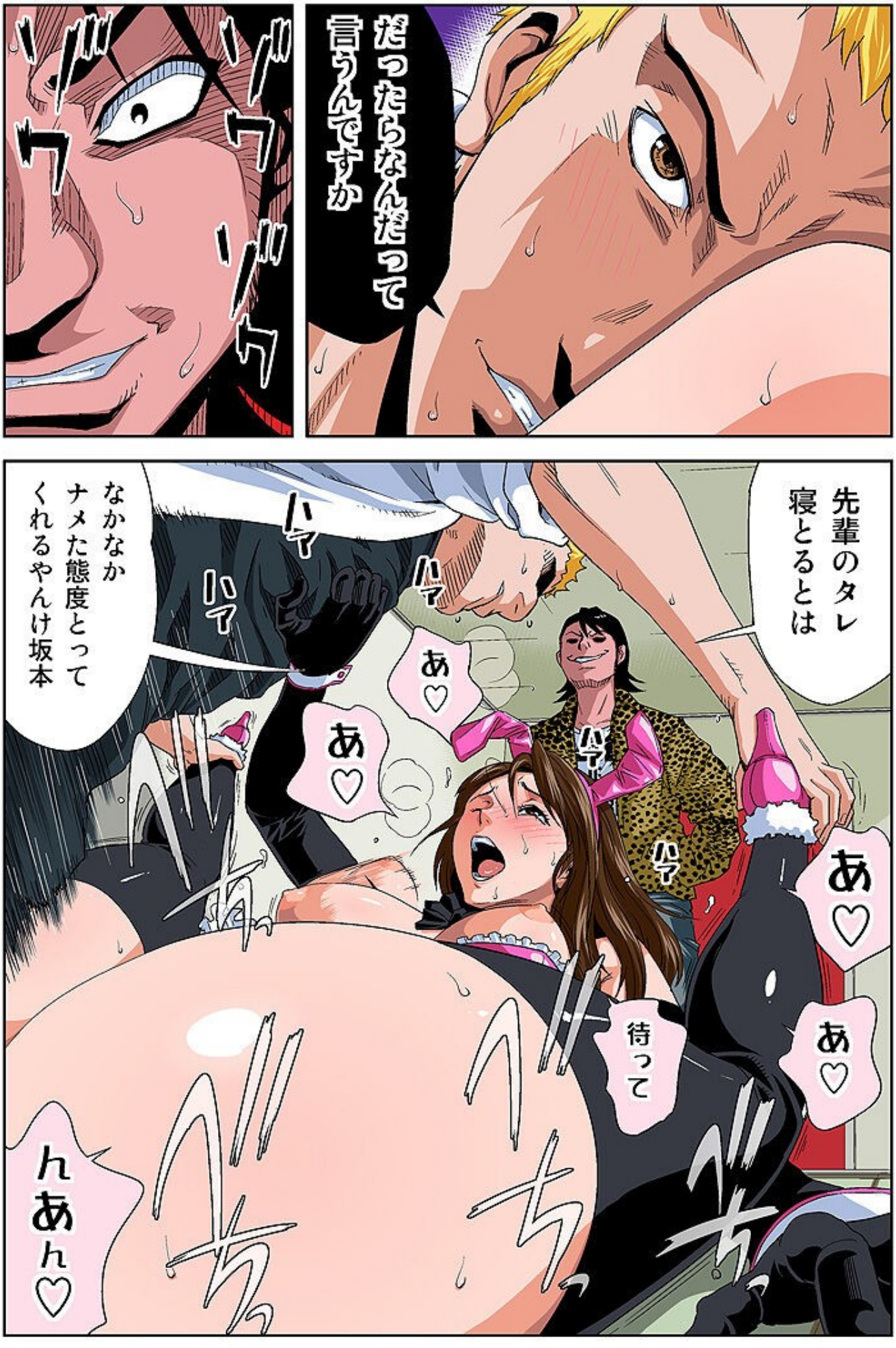

カチャ
キィーッ


きゃっ
ピク
おーおー
鍵もかけんと二人して大胆にやってくれるやんけ

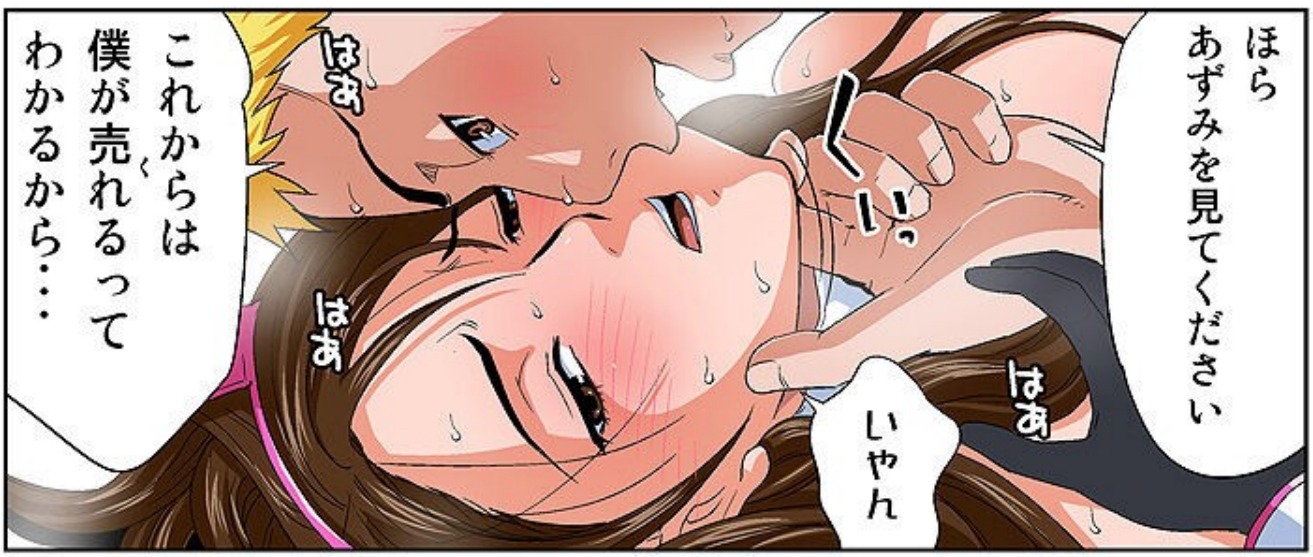

あっ あの私っ あのっ
バタ
バタ
ぎゅっ
ドカ

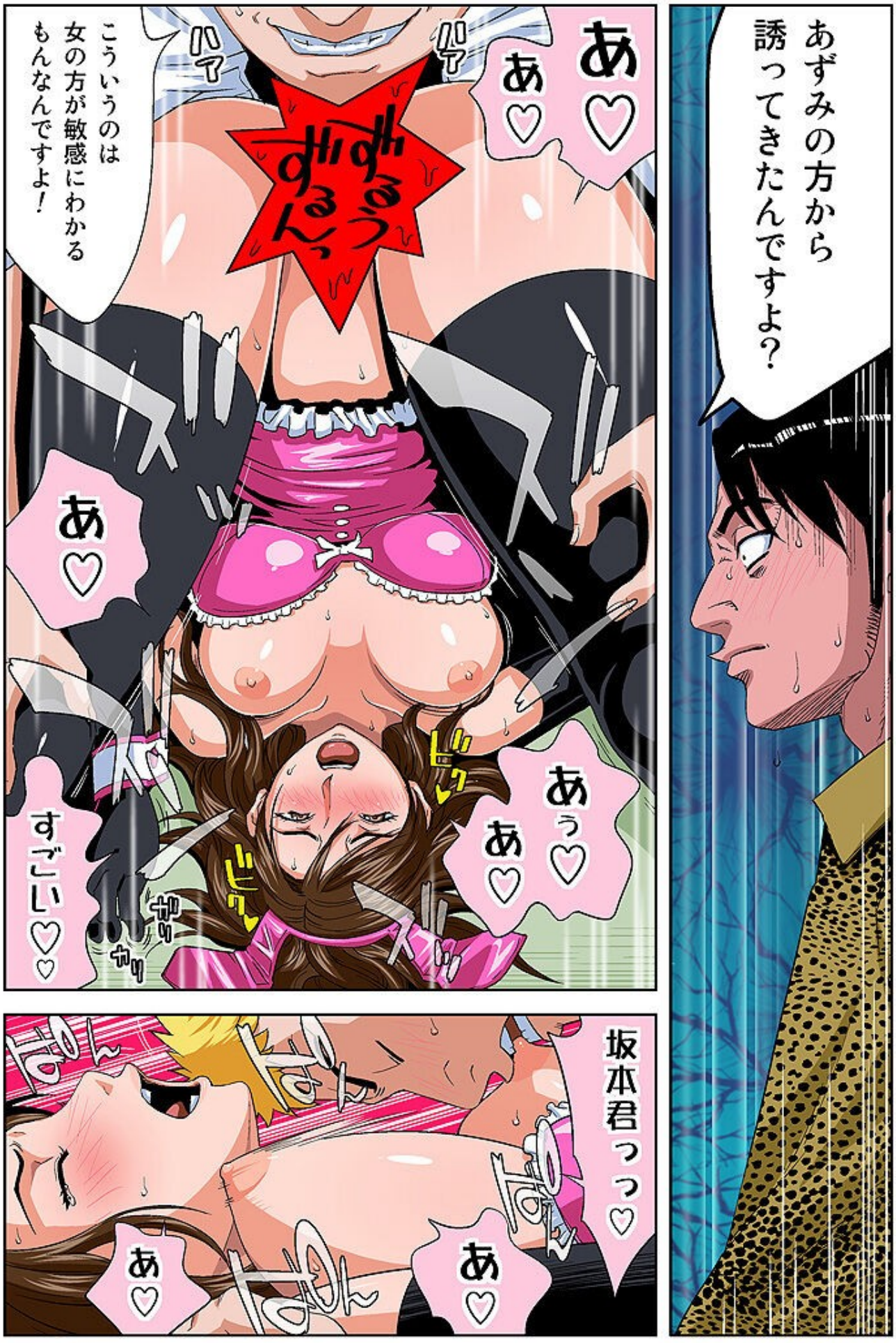

…

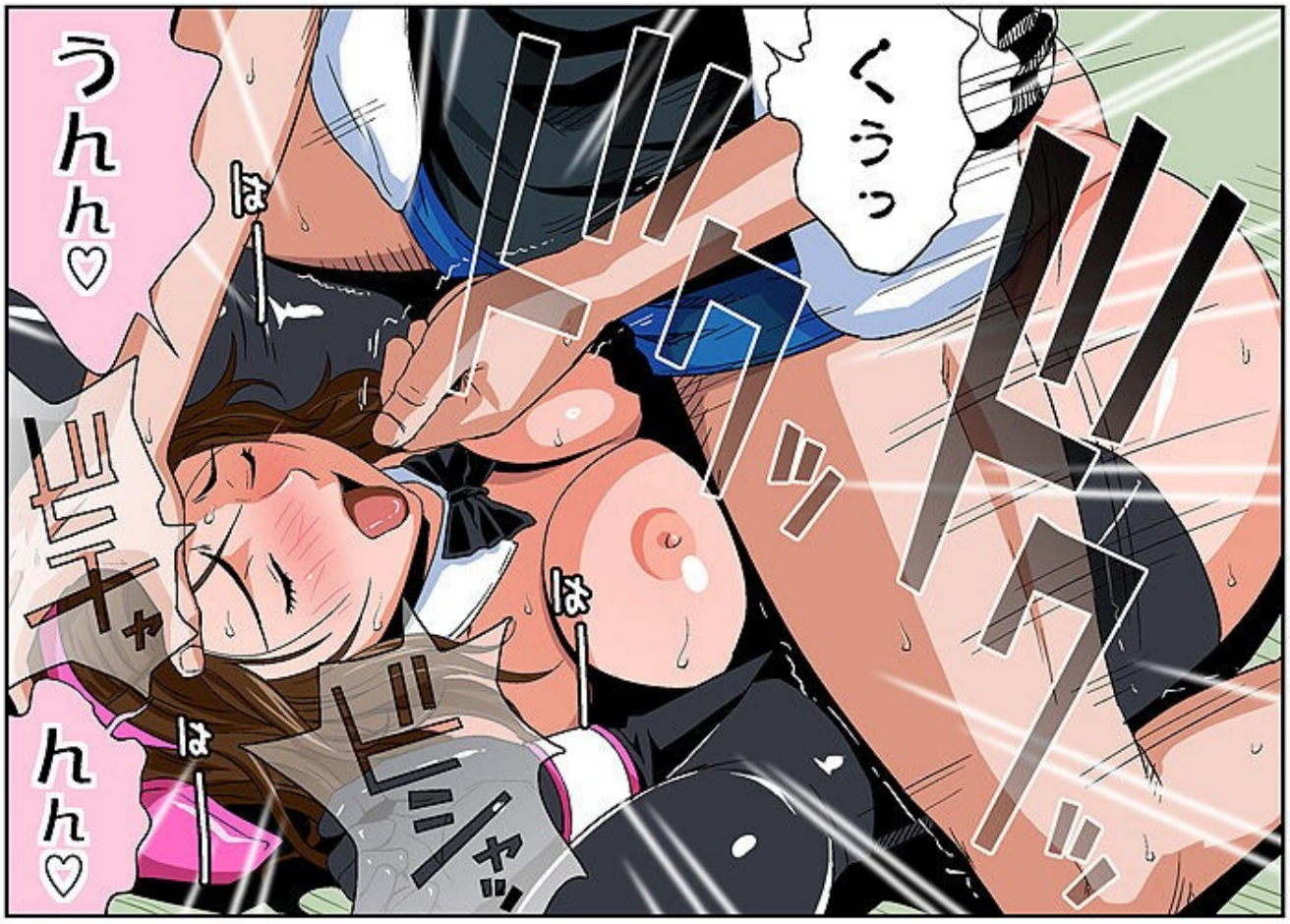

あっ
坂本君っ？
…その女
先に
俺が手だしたの
知っとるよな
あー
そうなんですか？
ずっ!!
ずっ!!
あ♡
だめ
坂本君！
あ♡
あ♡
あ♡
やあ♡
あ♡
あ♡
あん♡
あ♡
あ♡
あ♡


だったらなんだって言うんですか
ハヴハヴハヴ
先輩のタレ寝とるとは
なかなかナメた態度とってくれるやんけ坂本
ハァハァ
ハァハァ
あ♡
あ♡
ハァ
あ♡
あ♡
待って
んあん♡


お前が何か
腹に持っとるとは
思うとったが
宣戦布告かいな？
……
これからは
僕みたいに
格好良くて
もっ
だめ
坂本君
あー
あ♡
あ♡
ああああ♡
ビクン
ビクン
ビクン
清潔感があって
面白い奴が
売れるんですよ


ほら
あずみを見てください
はあ
いやん
はあ
はあ
これからは
僕が売れるって
わかるから・・・


あずみの方から
誘ってきたんですよ？
あ♡
あ♡
ハア
ハア
ずるう
ずるんっ
こういうのは
女の方が敏感にわかる
もんなんですよ！
あ♡
あう♡
あ♡
ビク
ビク
ガリ
ガリ
すごい♡
坂本君っ♡
あ♡
あ♡
はん
はん


くうっ
うんん♡
ビシャッ
ビチャ
んん♡


亀太郎さん
あなたのブームは
終わったんだっ

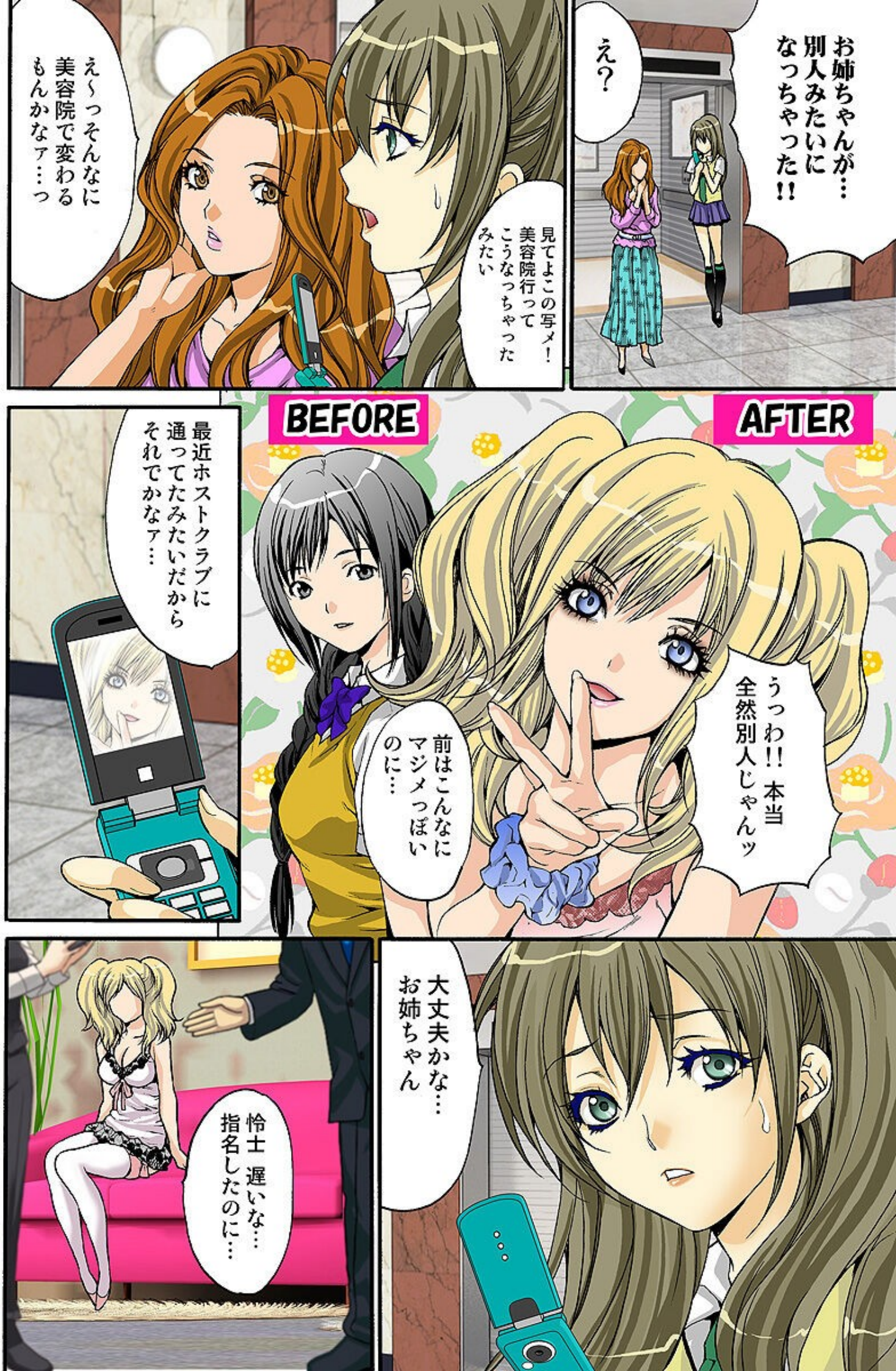

これからは僕が
若手を仕切ります！

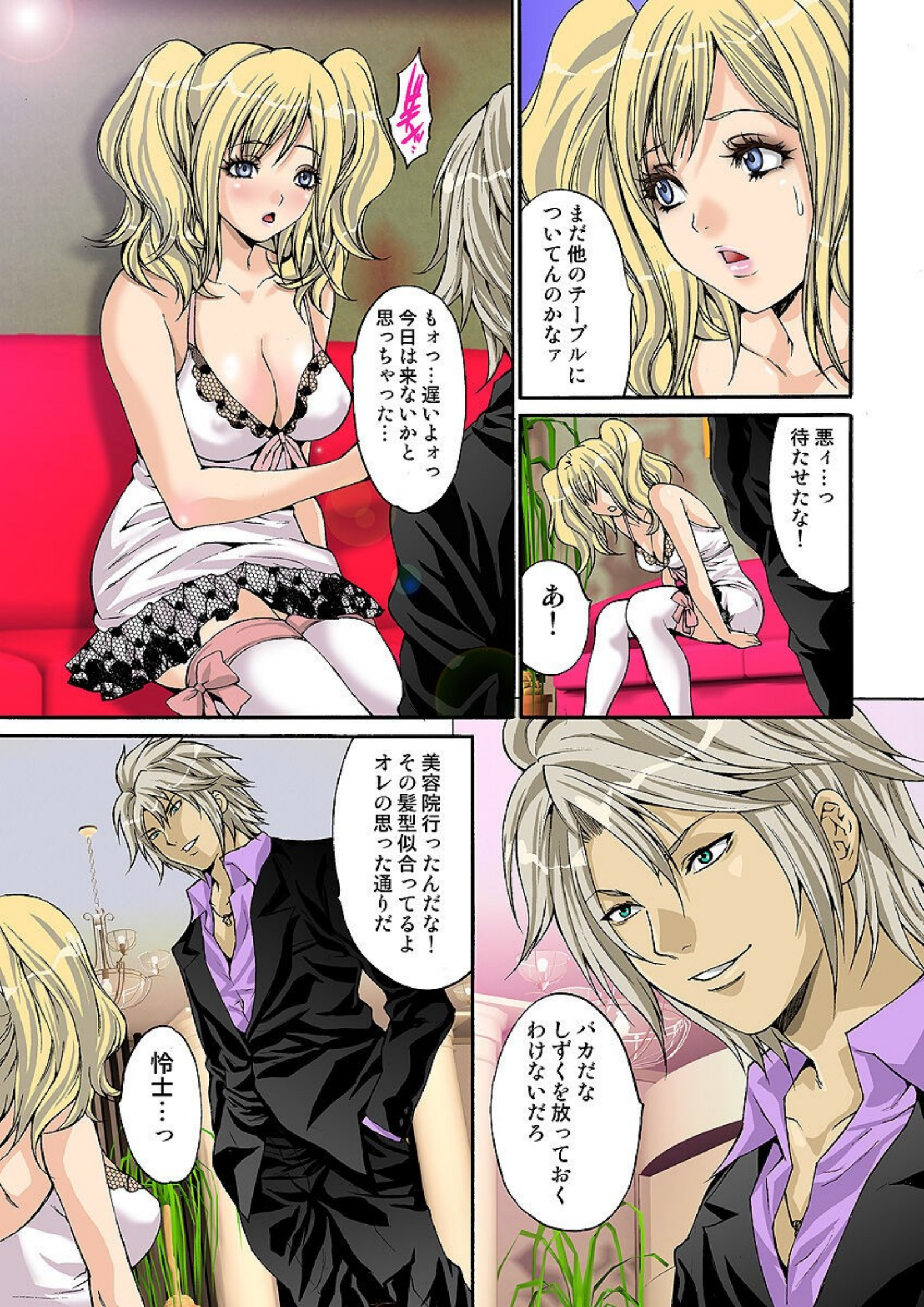
イケない初体験

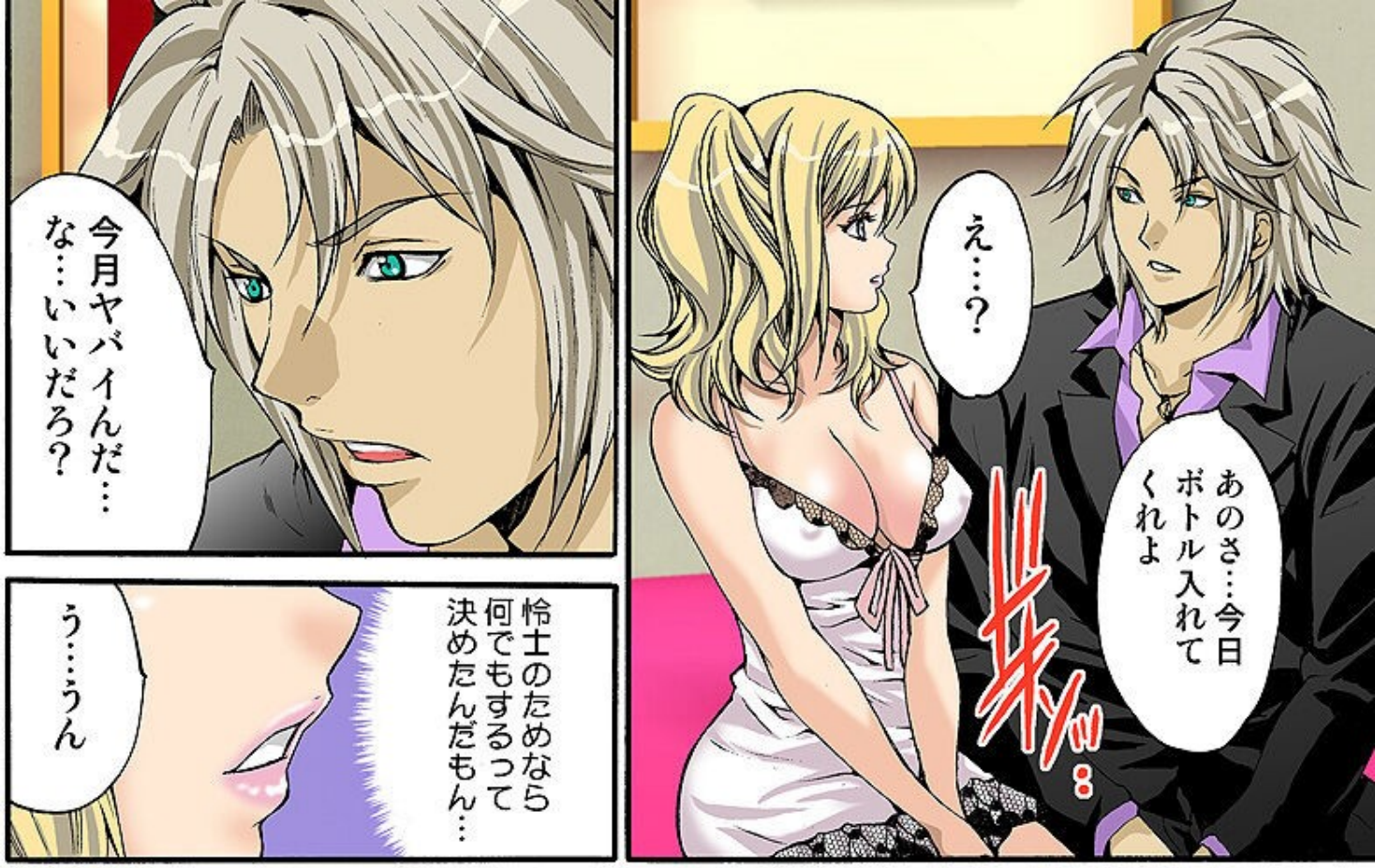


尾山泰永（おやまやすなが）

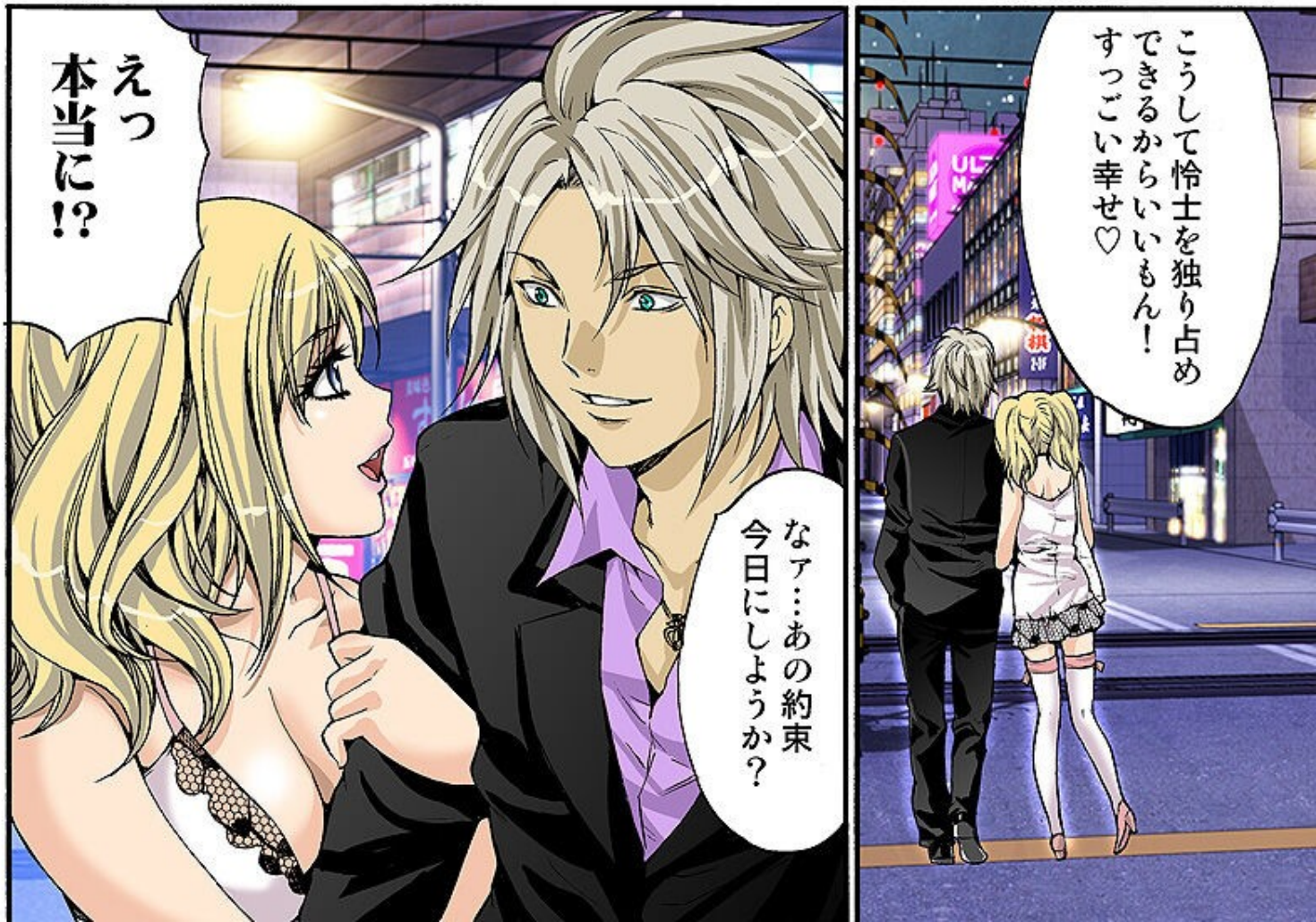
第39話

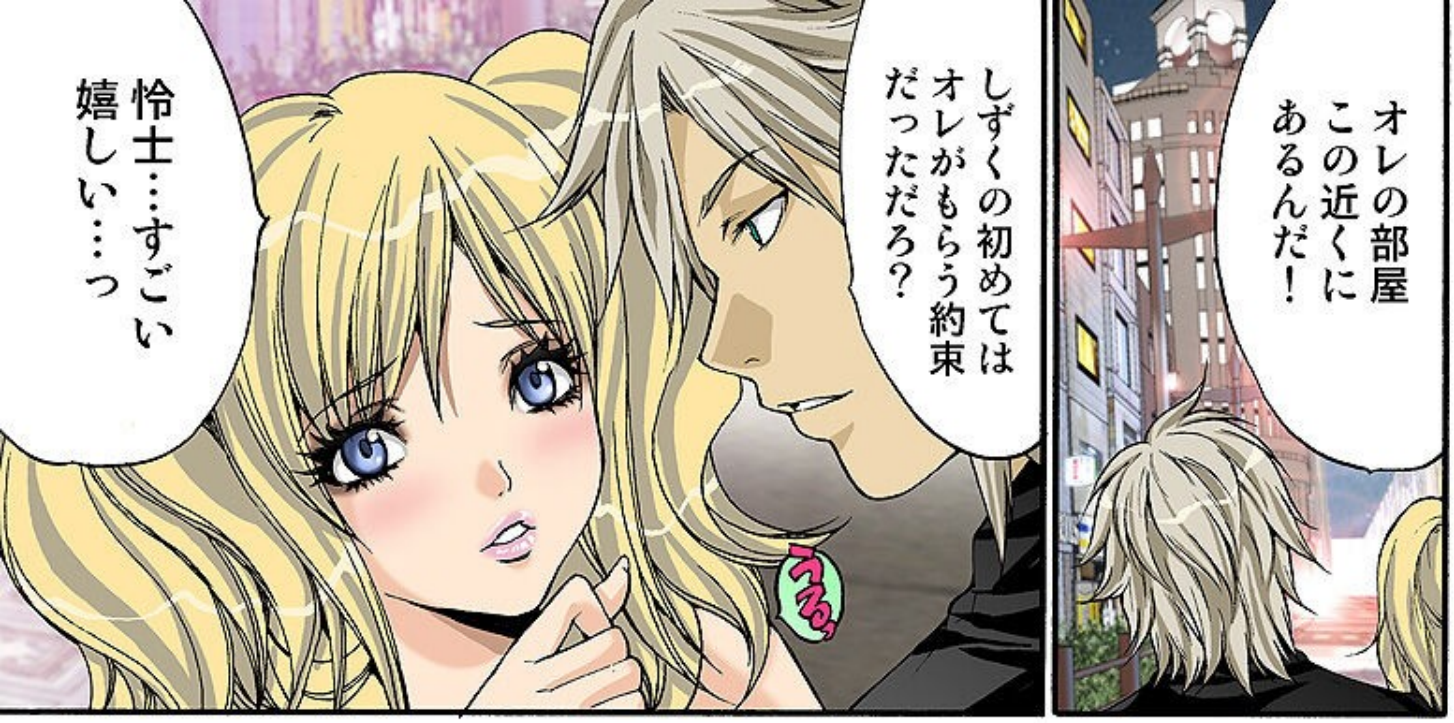

お姉ちゃんが…
別人みたいに
なっちゃった!!
え?
見てよこの写メ!
美容院行って
こうなっちゃった
みたい
え~っそんなに
美容院で変わる
もんかなァ…っ
BEFORE
AFTER
最近ホストクラブに
通ってたみたいだから
それでかなァ…
うっわ!! 本当
全然別人じゃんッ
前はこんなに
マジメっぽい
のに…
大丈夫かな…
お姉ちゃん
怜士 遅いな…
指名したのに…


まだ他のテーブルについてんのかなァ
悪ィ…っ待たせたな！
あ！
もォっ…遅いよォっ今日は来ないかと思っちゃった…
美容院行ったんだな！その髪型似合ってるよオレの思った通りだ
怜士…っ
バカだなしずくを放っておくわけないだろ

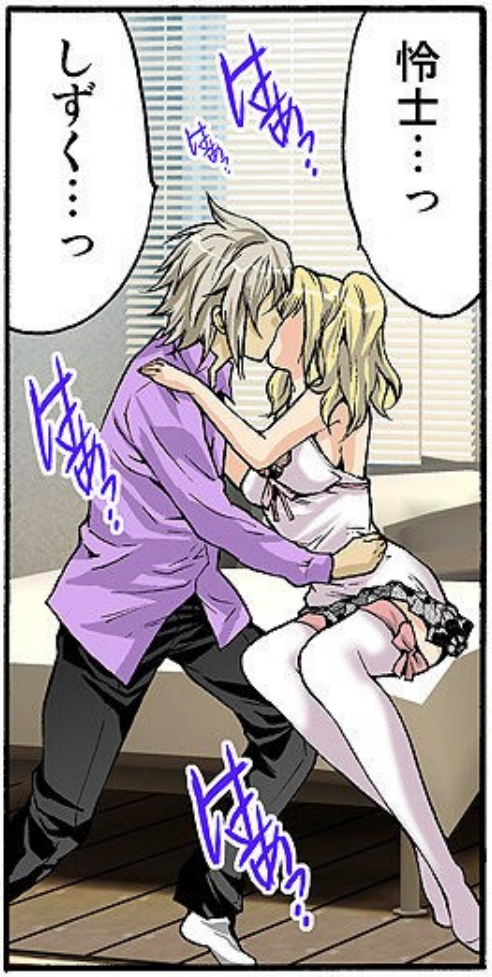

今月ヤバイんだ…
な…いいだろ？
あのさ…今日
ボトル入れて
くれよ
え…？
チュッ…
怜士のためなら
何でもするって
決めたんだもん…
う…うん


悪ィな…
あんな高い
ボトル入れて
もらってさ
ううん…


こうして怜士を独り占め
できるからいいもん！
すっごい幸せ♡
なァ…あの約束
今日にしようか？
えっ
本当に!?


オレの部屋この近くにあるんだ！
しずくの初めてはオレがもらう約束だっただろ？
うる
怜士…すごい嬉しい…っ

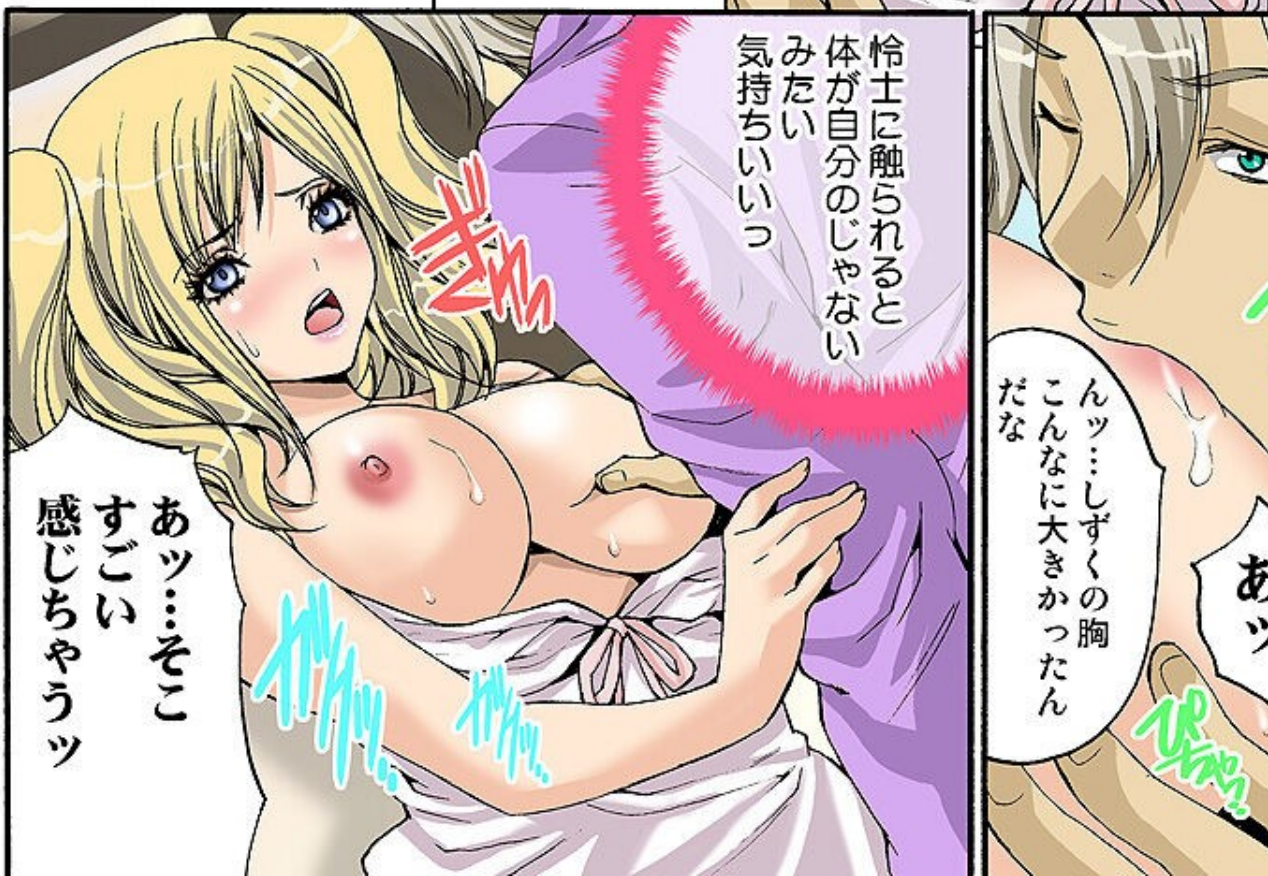

まさか怜士と本当にこんな事になるなんて…夢みたい…っ
はぁっ
はぁっ


怜士…っ
しずく…っ
はぁっ
はぁっ
はぁっ
はぁっ


ああ…怜士のキスとろけそう…
んッ…
ちゅぱっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ

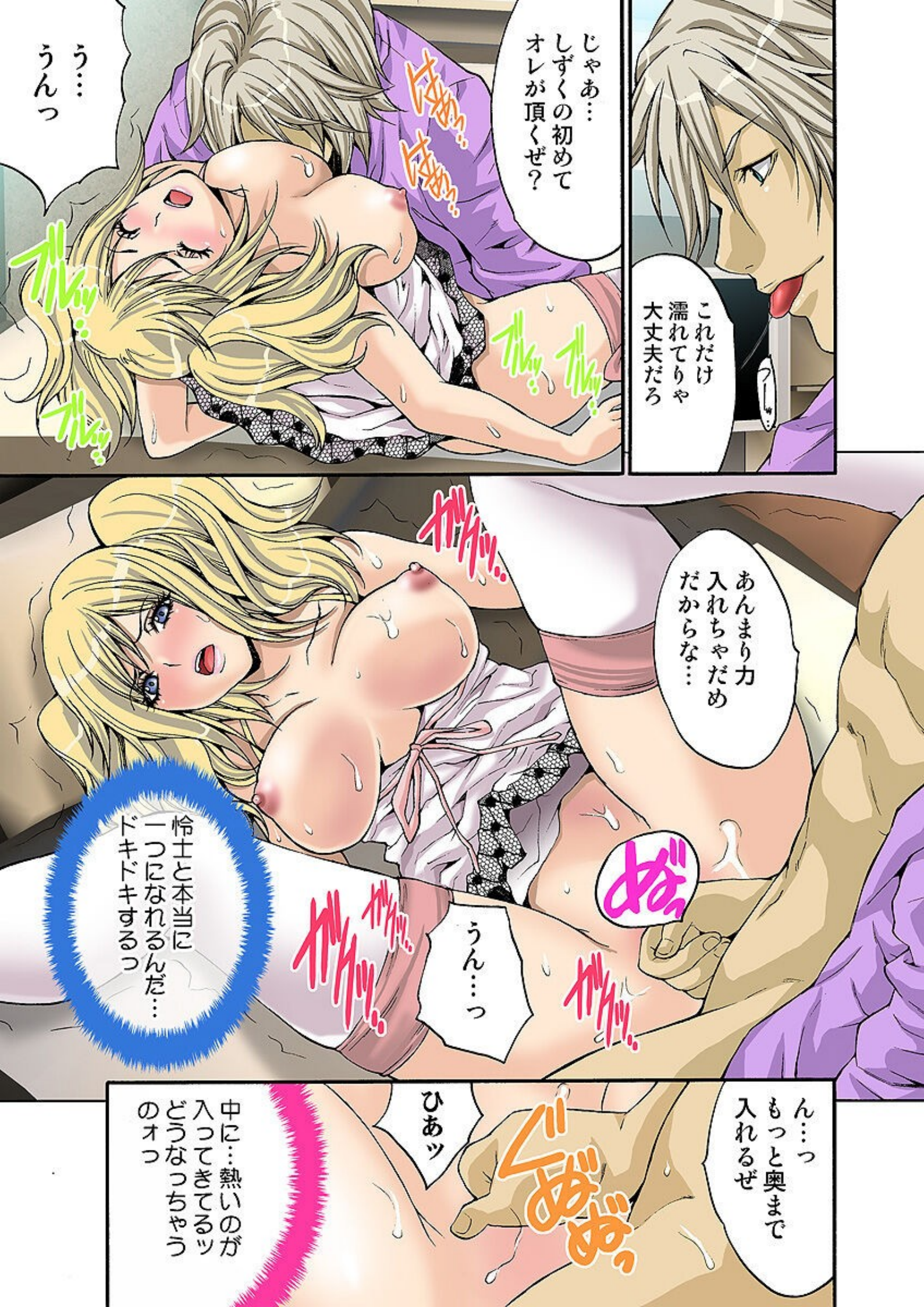

んあッ…はあッ
怜士ィッ…
大好きィッ
んッ…はあッ
はあっ
はあっ
はあっ
んッ
オレもだよ
しずく…っ
愛してるぜ


しずくの肌って
こんなにキレイ
だったんだな
ブルッ
ブルッ…
ブルッ…
えっ…もオッ!?
だめだよっ…まだ
シャワー浴びて
ないしっ
あッ
しずくの体なら
全然平気だよ
気にならないさ
ブルッ
ブルッ
ブルッ…

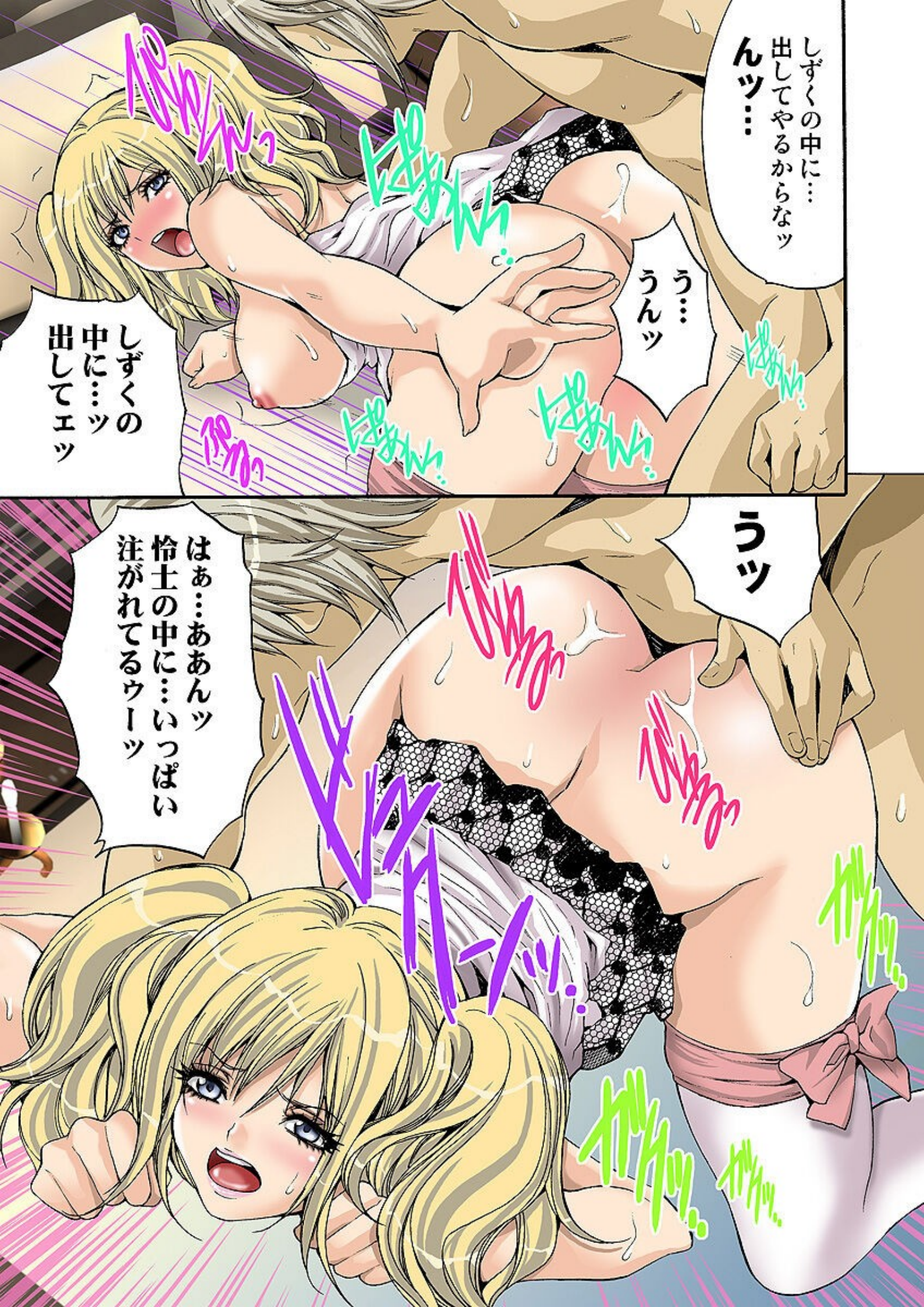

ぴちゃっ
ぴちゃっ
ぴちゃっ
あッ
んッ…しずくの胸
こんなに大きかったん
だな
ぎゅ
怜士に触られると
体が自分のじゃない
みたい
気持ちいいっ
あッ…そこ
すごい
感じちゃうッ


しずく…もう
こんなに
濡らしちゃって
感じやすいんだな
ひあッ
やだぁッ…
恥ずかしい
よぉっ
ひうッ
あッ
いやらしい音が
いっぱい出てる…
あッ
オレの指 しずくので
ヌルヌルになってるし
はあ…あん…っ
いやぁ…
あん…っ
怜士の…私ので
汚しちゃった…っ

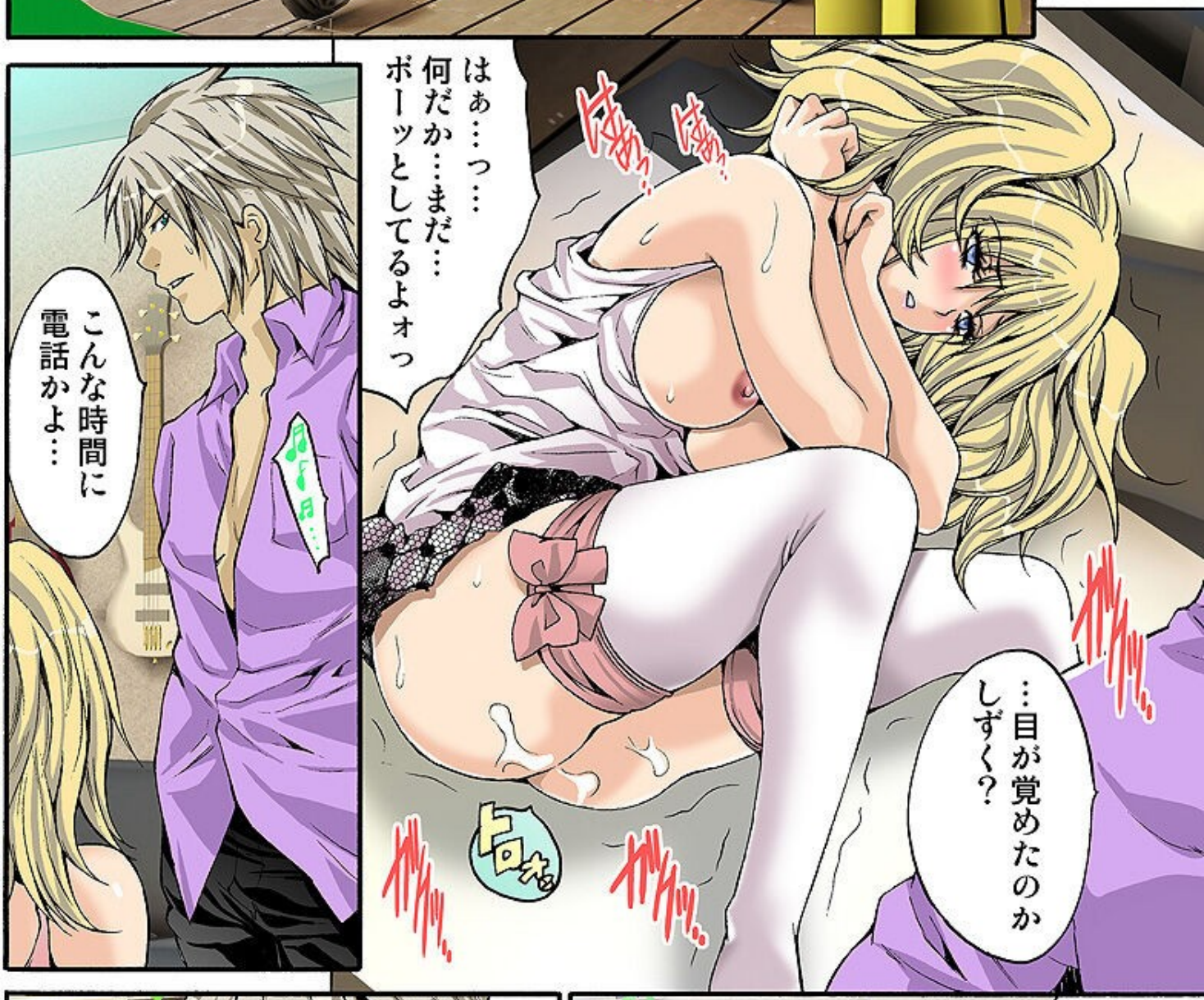

あッ…だめ
そこは…ッ
あぁッ
ブルッ
ブルッ
ブルッ
ひうッ
しずくが
望んだ事
なんだろ？
いっぱい
気持ち良く
してやるよ
あッ
ああッ怜士が
私の大事なトコを
舐めてるッ…
あッ
ぴちゃ
ぴちゃ
本当に反応が
いいんだな…
こんなに溢れて
きてるぜ…
これだけでこんなに
なってるのに…
これ以上されたら
どうなるのォッ
んッ…
んくッ
あはぁッ
ブギュルッ
ブギュルッ
ブギュルッ
あはぁッ…
ああッ
おかしく
なっちゃいそうォッ


これだけ濡れてりゃ大丈夫だろ
じゃあ…しずくの初めてオレが頂くぜ？
はぁっ…はぁっ…
ブルッ…ブルッ…
ブルッ…ブルッ…
う…うんっ
あんまり力入れちゃだめだからな…
ぐぐっ…
ぐぐっ…
ぐぐっ…
うん…っ
ぬぉっ
ぐぐっ…
ぐぐっ…
ぐぐっ…
玲士と本当に一つになれるんだ…ドキドキするっ
ん…っもっと奥まで入れるぜ
ぐぬぬっ
ひあッ
中に…熱いのが入ってきてるッどうなっちゃうのぉっ

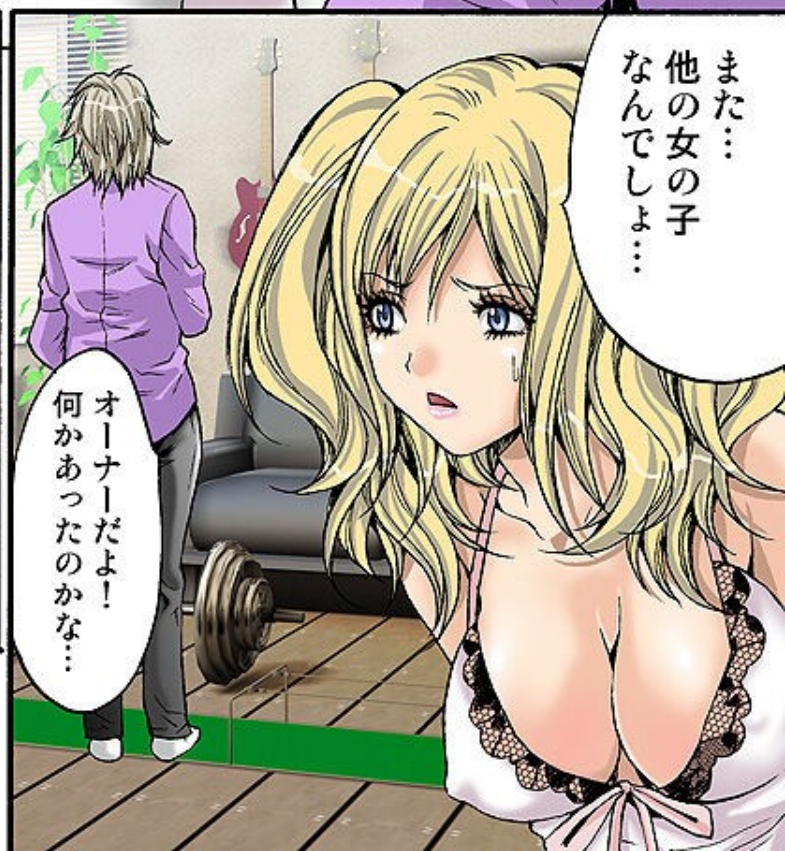

あッ…
はあんッ
奥まで…
怜士の入って
くるゥッ
あッ
ゆっくり動かす
からな…
はあんッ…
私の中で…
また大きく
なってるゥッ
あッ
あッ
私の中でッ
怜士を感じてるッ
んッ…しずくの中
すごい気持ちいいよ
んくッ
はぁん
あッ
ひあッ


しずくの中に…出してやるからなッんッ…
う…うんッ
しずくの中に…ッ出してェッ
うッ
はぁ…ああんッ怜士の中に…いっぱい注がれてるウーッ

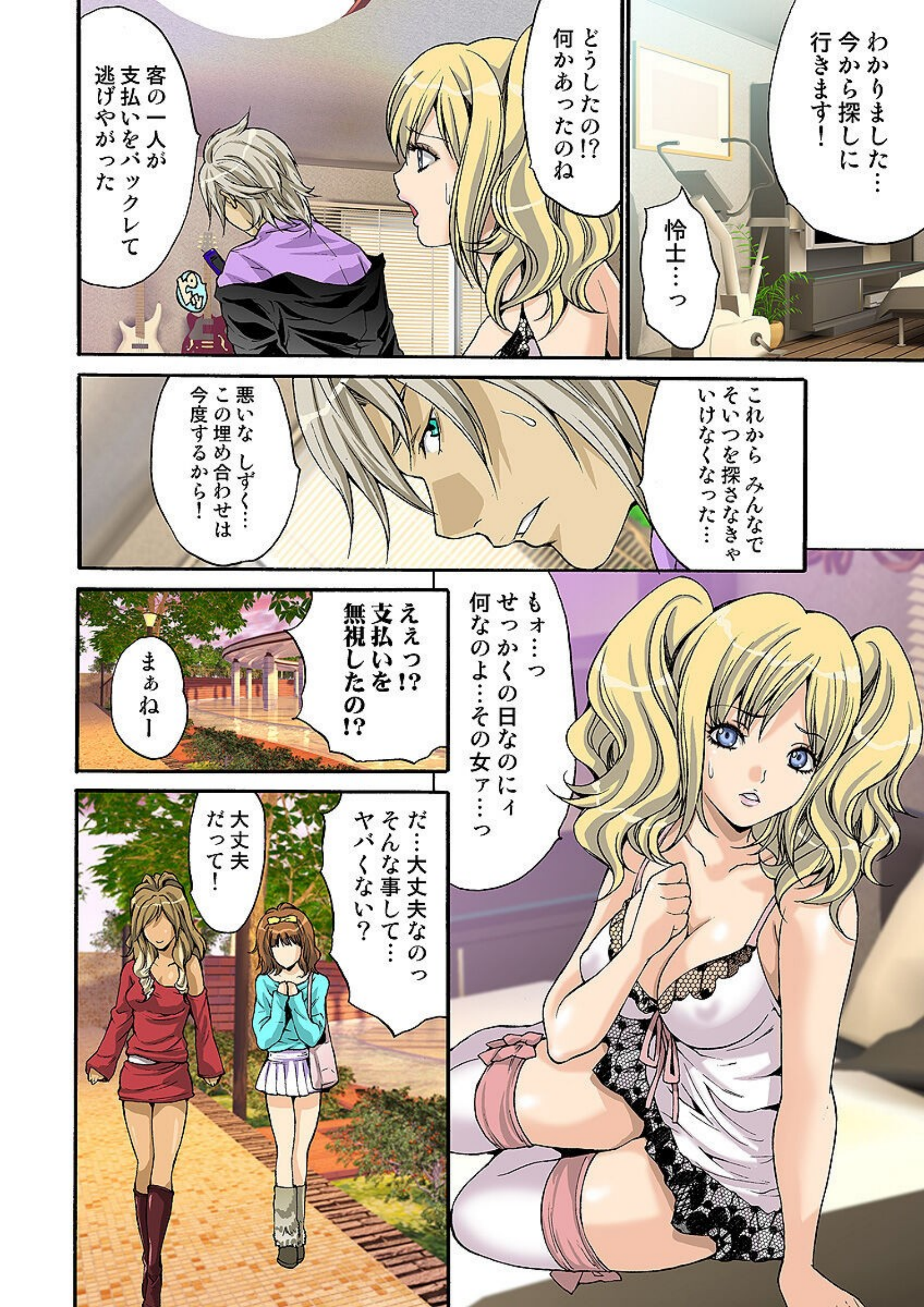

はぁ…
はぁ…

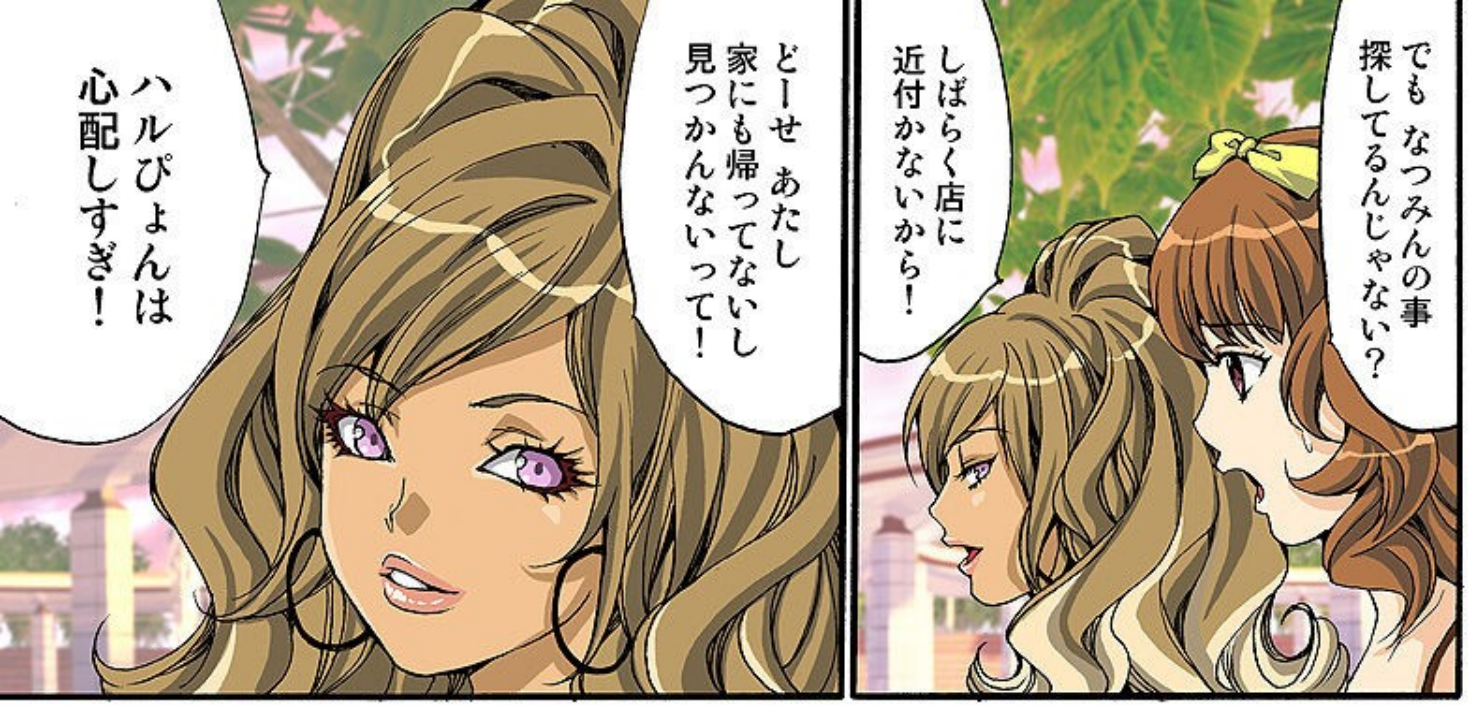

はぁ…
はぁ…
…目が覚めたのかしずく？
トロ…
はぁ…っ…
何だか…まだ…
ボーッとしてるよぉっ
こんな時間に電話かよ…

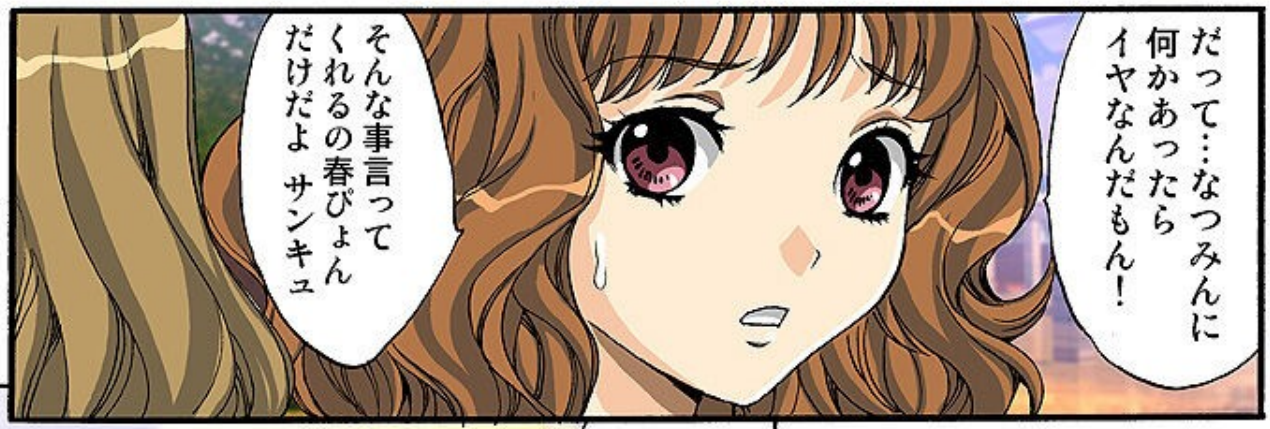

怜士です…
えっ…あの娘…
とんじゃったんですか!?

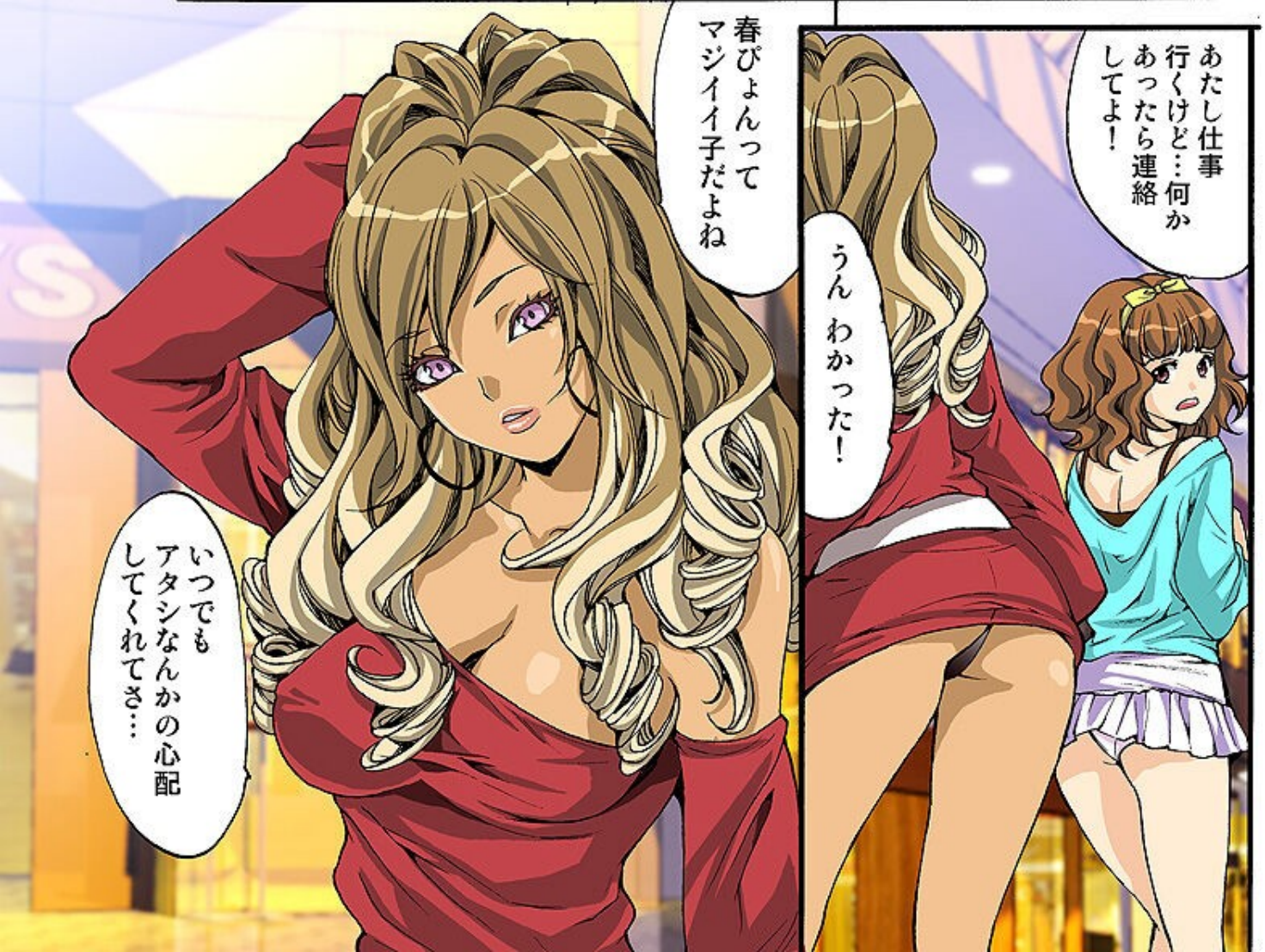

また…
他の女の子なんでしょ…
オーナーだよ！
何かあったのかな…

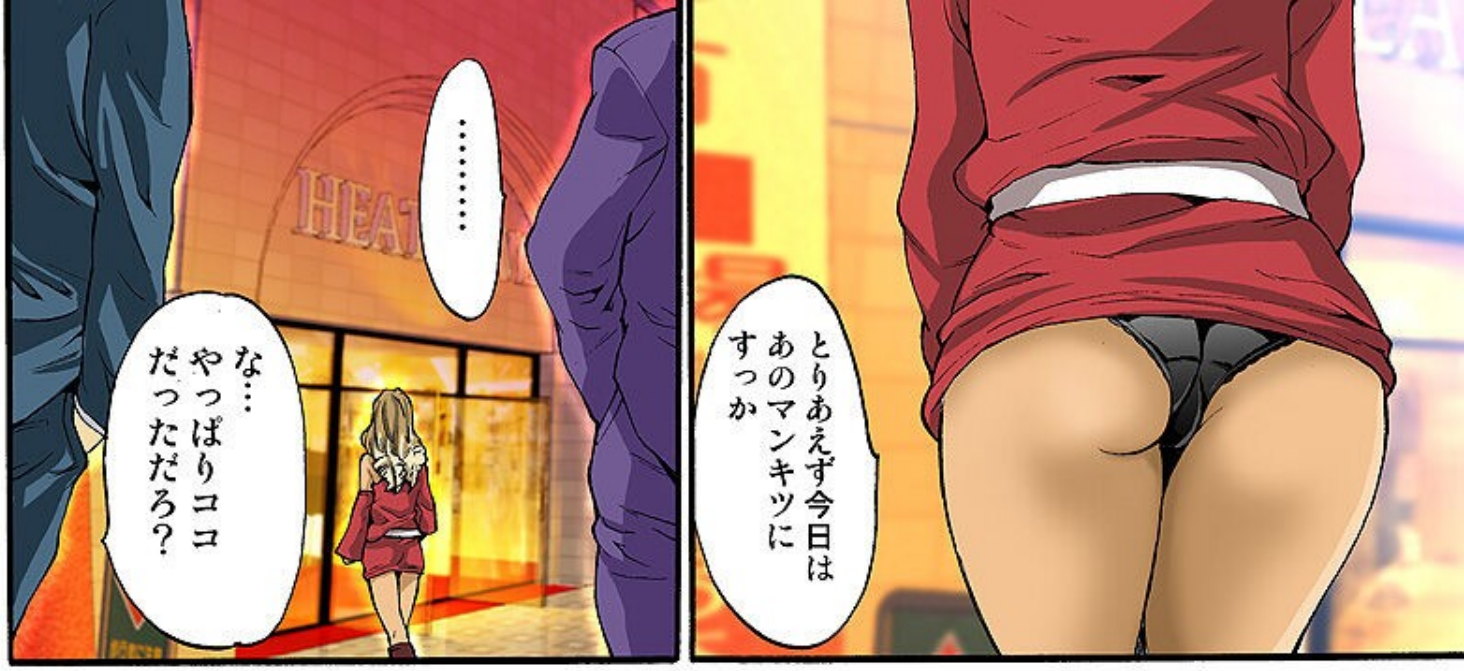

イケない初体験
第40話
尾山泰永
おやまやすなが


わかりました…
今から探しに
行きます！
怜士…っ
どうしたの!?
何かあったのね
客の一人が
支払いをバックレて
逃げやがった
これから みんなで
そいつを探さなきゃ
いけなくなった…
悪いな しずく…
この埋め合わせは
今度するから！
もォ…っ
せっかくの日なのにィ
何なのよ…その女ァ…っ
えぇっ!?
支払いを
無視したの!?
まぁねー
だ…大丈夫なのっ
そんな事して…
ヤバくない？
大丈夫
だって！


でも なつみんの事
探してるんじゃない？
しばらく店に
近付かないから！
どーせ あたし
家にも帰ってないし
見つかんないって！
ハルぴょんは
心配しすぎ！

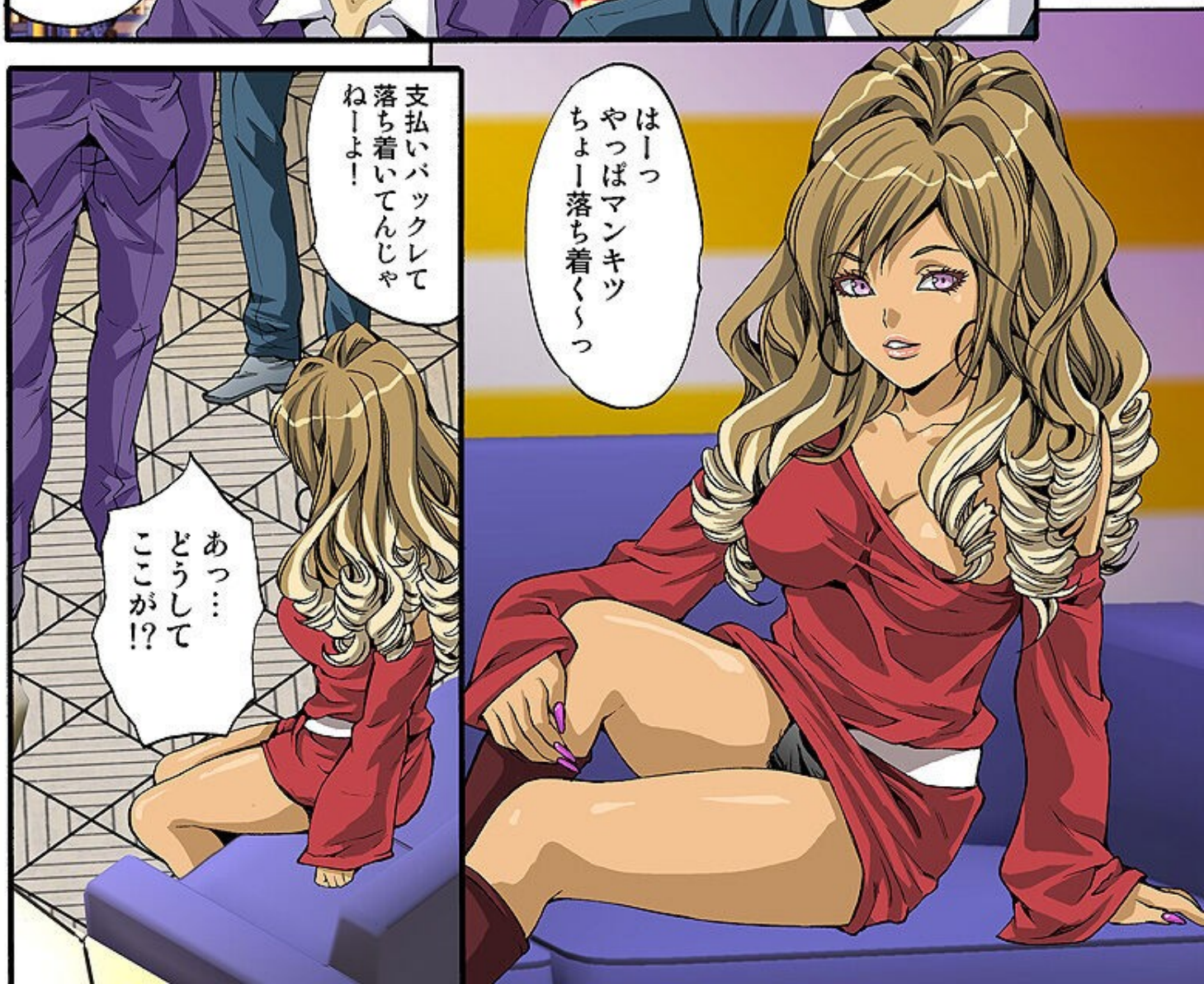

だって…なつみんに
何かあったら
イヤなんだもん！
そんな事言って
くれるの春ぴょん
だけだよ サンキュ


あたし仕事
行くけど…何か
あったら連絡
してよ！
うん わかった！
春ぴょんって
マジイイ子だよね
いつでも
アタシなんかの心配
してくれてさ…


とりあえず今日はあのマンキツにすっか

……
な…やっぱりココだっただろ？


さすがっスね！
まぁな！すぐ他の奴にも声かけろ！
あの女オレに泥かけようとしやがってただじゃおかねェ！


はーっやっぱマンキツちょー落ち着く～っ
支払いバックレて落ち着いてんじゃねーよ！
あっ…どうしてここが!?

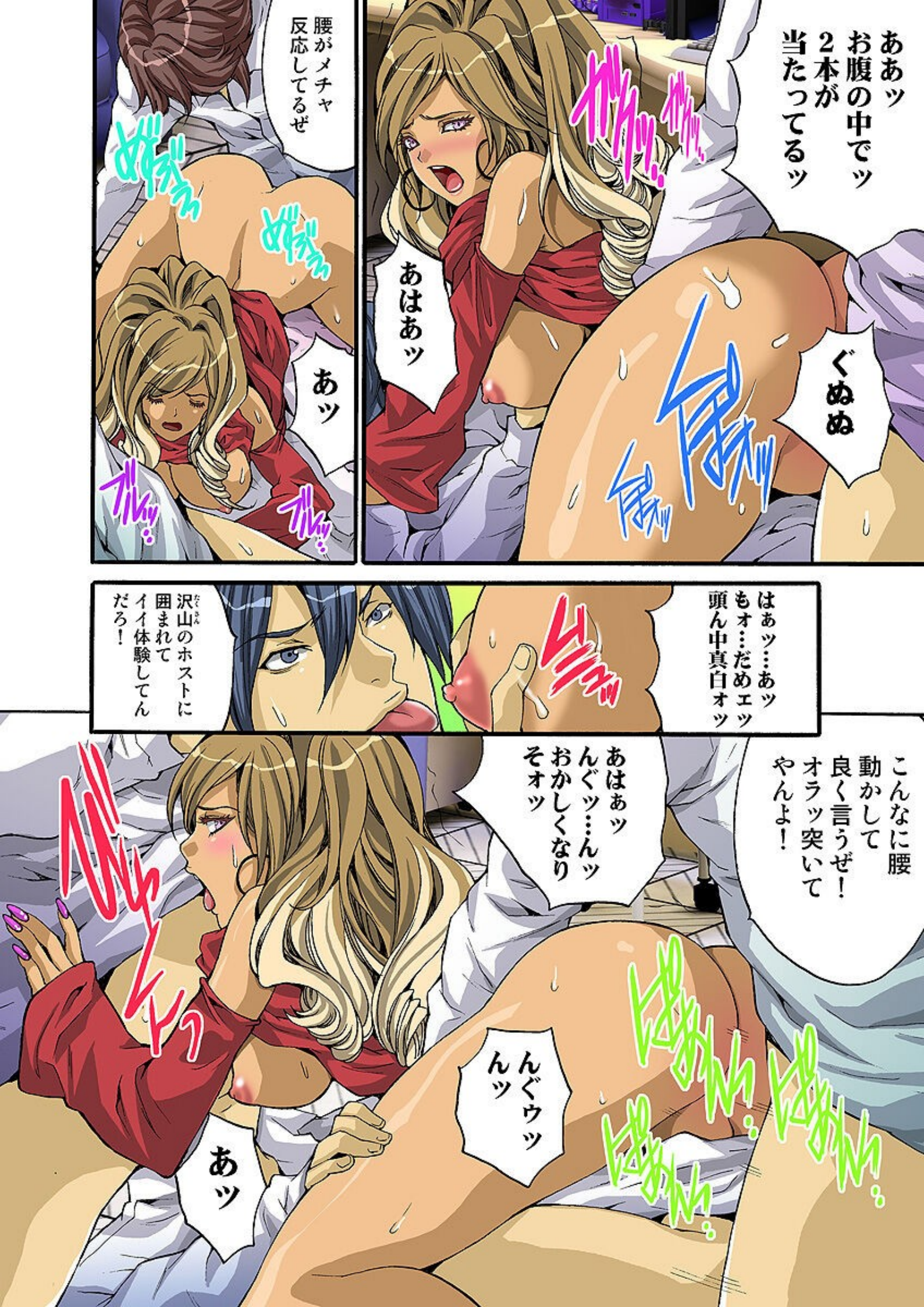

ただで済むなんて思ってねーよな？なつみんよォ？
ヤバイ…これじゃ逃げらんないっ
お金はちゃんと用意するからさ
親に頼んで必ず何とかしてもらうよマジだから！
ぷっ！
今さらそんな言い訳通用すると思ってんのかあぁっ!?
はめっ
はめっ
きゃあああッ
オレ達全員を相手にしたって全額返せっこねーんだよ！
ぬぐっ
ブルッ
ブルッ
あああッ


お…大声出して人を呼ぶからッ
もう店員に金を握らせてあんだよッ!!
んくッ…
んあッ
あはぁッ
ひぅッ
ああんッだめェッ
そんなに強く吸っちゃやぁあッ
んッ…何だお前まだそんなに経験ないんだな
あッ
んッ
んくッ
すげェ感度いい体してんじゃねェか！楽しめそうだぜ
あ…ああッだめェ感じすぎだよォッ…

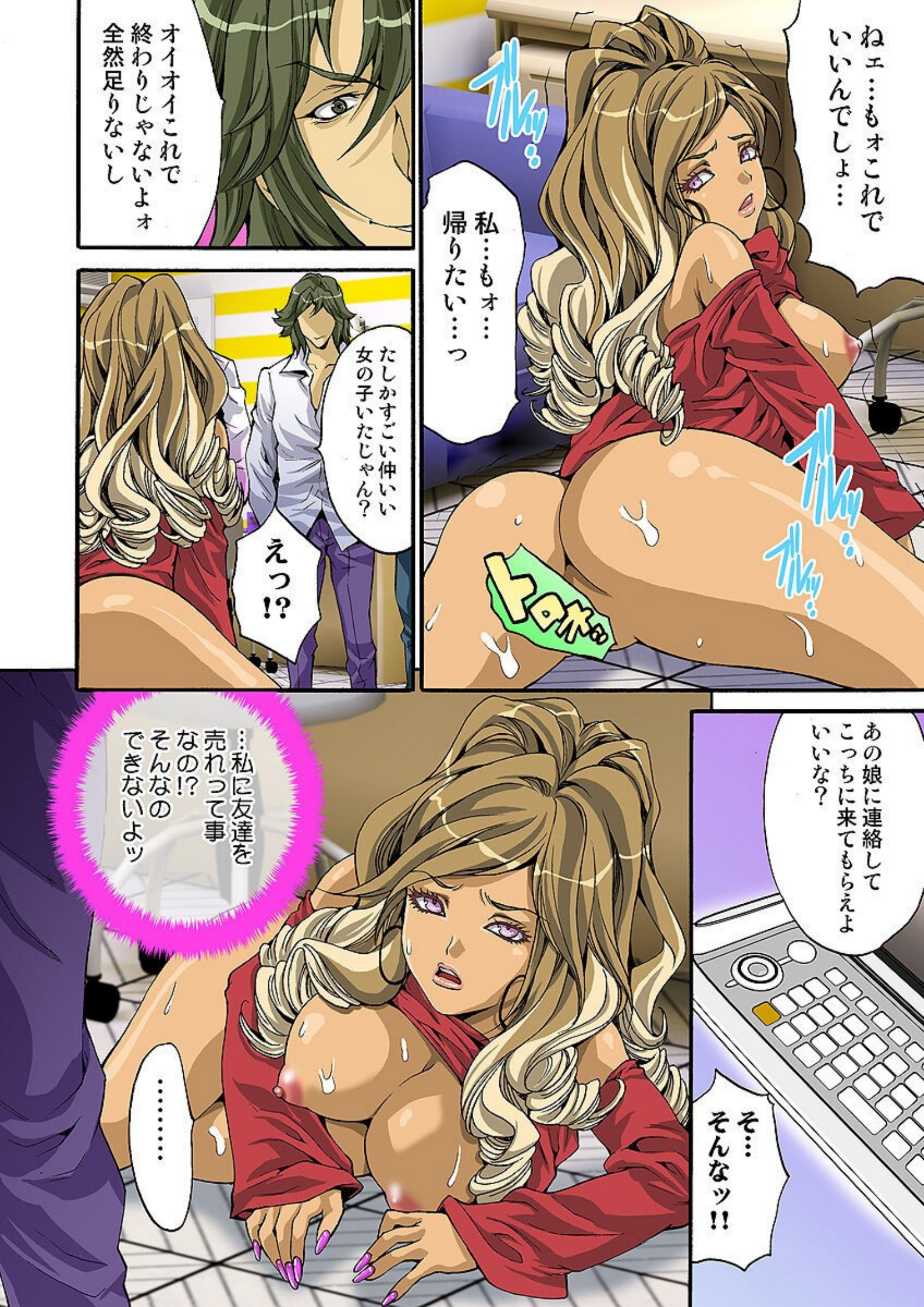

ホストの指マンはマジパネェから！よッ！
ひあッ
あはぁッ…あッ激しすぎィッ…やぁ…あああッ
気持ち良くしてもらってんだからお前も口でしな！
んむッ
クク…すげェ体中痙攣させてやがるぜ！
んあッ息できないッ
ぷはぁッ…んんッあはぁあああッヘンになるウッ


すっげメチャ濡れ！
すぐ入っちゃうなァ
ぐぽぉッ
んむウッ…
んッ…らめェッ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
奥までオレので
突きまくって
やるからな！
やあ…あッ
あんまり激しく
しないでエッ
めぐぢゅっ
めぐぢゅっ
めぐぢゅっ
はあ…あッ…あッ
何コレェッ…すごい
大きすぎィッ…あッ
お前の狭いなァ
全部入らないぜ
んッ…
あはぁッ…
めぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ


オレ達
全員の相手して
もらうからな！
ぬるぬる
ぬるぬる
ぬるぬる
ひぁッ
んッ…
だめだよ
そんなに危ない事
ばっかしちゃ！
春ぴょんの
言う事聞いてれば
良かったな…
あッ…ああッ
奥に響くウッ
あはぁあッ…あッ
壊れちゃうぅッ
ぶるんっ
ブギュルッ
ブギュルッ
ひあッ
中の感度すげェ
イイのな…メチャ
締めつけるし
ばんっ
ばんっ
ばんっ
なァ
お前も一緒に
入れよ！
はい！
ケツにも入れて
2本挿入だぜ！
ずぬぬ
ひあぁッ
そんなの
無理イッ


ああッ
お腹の中でッ
2本が
当たってるッ
ぐぬぬ
あはあッ
腰がメチャ
反応してるぜ
あッ
はぁッ…あッ
もォ…だめエッ
頭ん中真白ォッ
沢山のホストに
囲まれて
イイ体験してん
だろ！
こんなに腰
動かして
良く言うぜ！
オラッ突いて
やんよ！
あはぁッ
んぐッ…んッ
おかしくなり
そォッ
んぐウッ
んッ
あッ


オレ達の熱いので
体中ヌッルヌルに
してやっからよォ
はぁあああッ
ヤバイよォッ
もォだめへエッ
はぁあああんッ
もォだめへエッ…
ヤバすぎ
イッ


ねェ…もォこれでいいんでしょ…
ブルッ
私…もォ…帰りたい…っ
ブルッ
ブルッ
トロ…
オイオイこれで終わりじゃないよォ全然足りないし
たしかすごい仲いい女の子いたじゃん?
えっ!?
あの娘に連絡してこっちに来てもらえよいいな?
そ…そんなッ!!
…私に友達を売れって事なの!?そんなのできないよッ
……

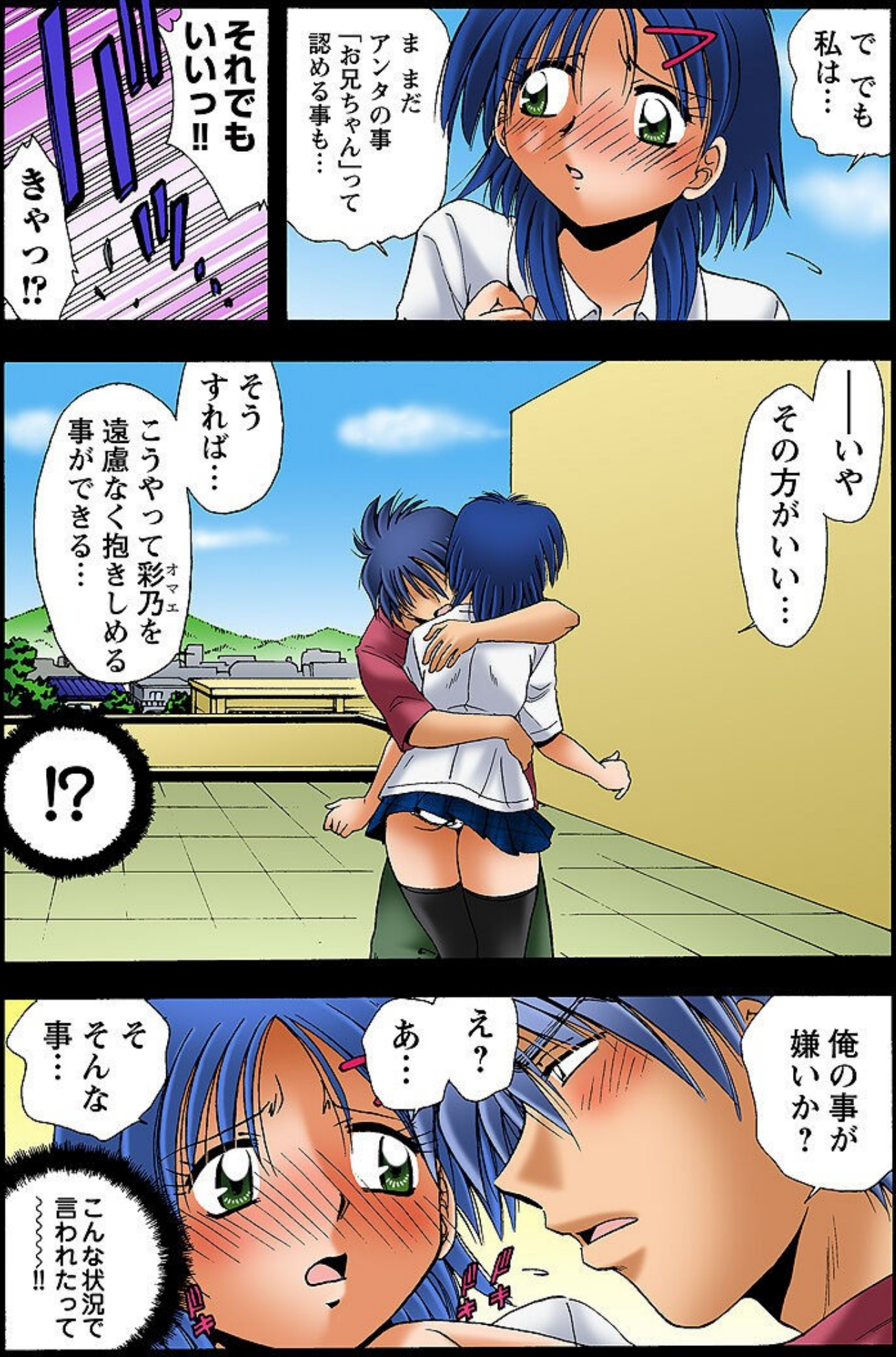
女子校に男一人!?



第61話

さかぐちしずか


な何？
そんな真剣な顔して…？
正直に言おう
実は最初に会った時から…
俺は
お前の事が…
え!?

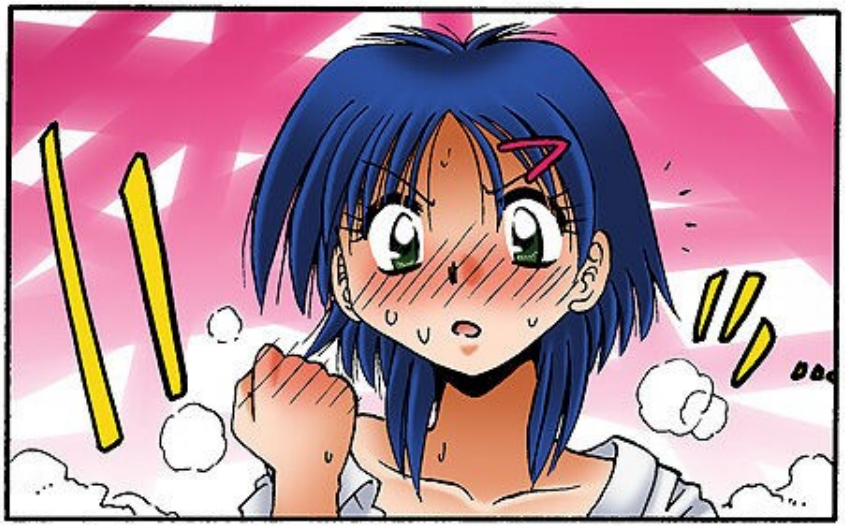

でも
私は…
まだ
アンタの事
「お兄ちゃん」って
認める事も…
それでも
いいっ!!
きゃっ!?
——いや
その方がいい…
そう
すれば…
こうやって彩乃(オマエ)を
遠慮なく抱きしめる
事ができる…
!?
俺の事が
嫌いか?
え?
あ…
そ
そんな
事…
こんな状況で
言われたって
〰〰!!


!?
すっ
あっ!?
ブルッ
ヤダ…
首感じるっ……
あっ…
胸!?
あっ…
イケないっこんな事…
彩乃(あやの)…
……
!?
やっ…!?
あ…
ダ…め…
ああっ
あ…
ビクッ


あ…
ずる…
スゴイ…
彩乃…
もう
こんなに
濡れて…
……
え？
我慢
出来ない…
入れるぞ
や
ちょっ…
私達
兄妹で…
待っ…ウソっ!?
ダメ～～～ッ!!

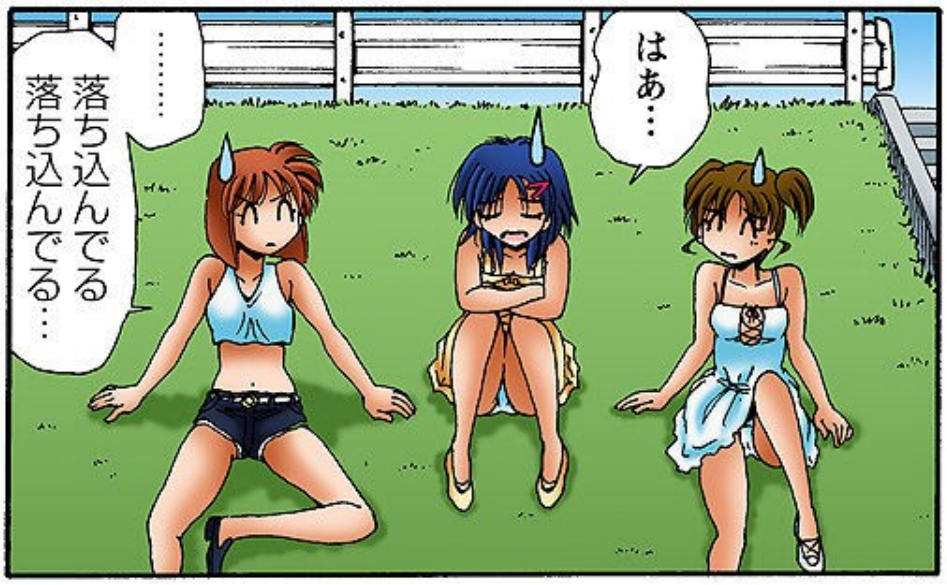

な…
何が
……？
ドカーン
ビクッ
痛っ…
ヤダ
落ちちゃっ…
た…
つ！…

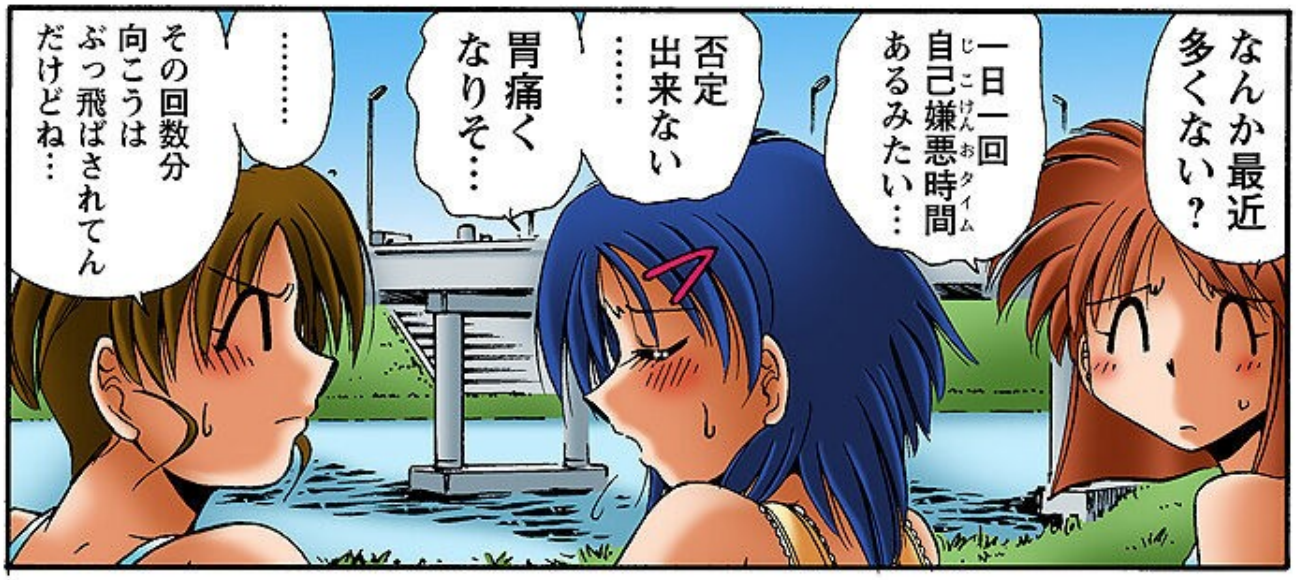

何 見てんのよォ
〜〜〜っ!!
俺のせい〜?




いけないっ
またやっちゃった…
求めてない二度寝…

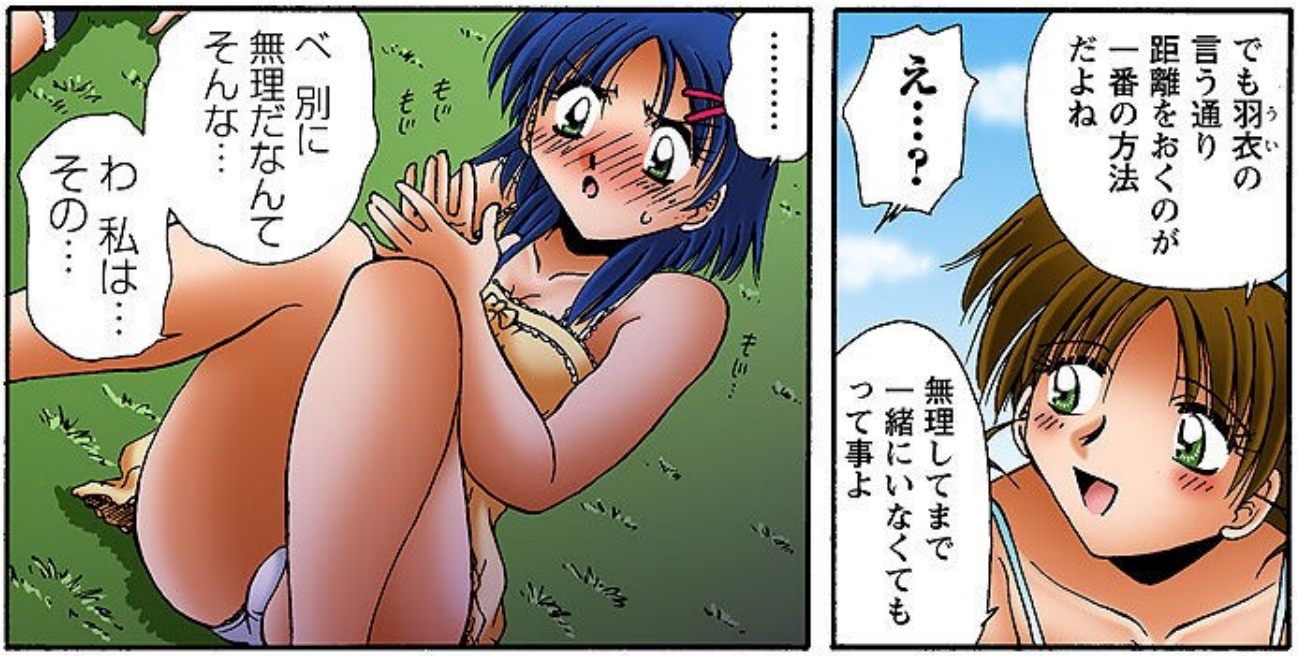


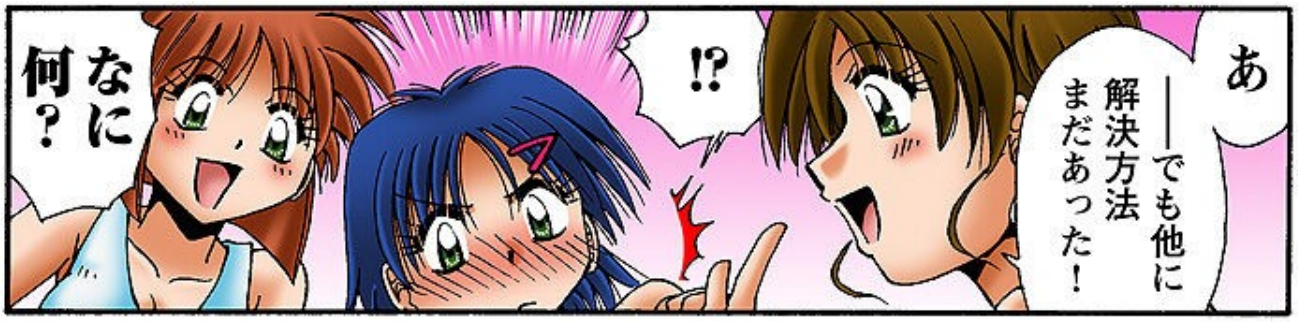

はあ…
……
落ち込んでる
落ち込んでる…


なんか最近多くない？
一日一回自己嫌悪時間あるみたい…
否定出来ない……
胃痛くなりそ…
……
その回数分向こうはぶっ飛ばされてんだけどね…

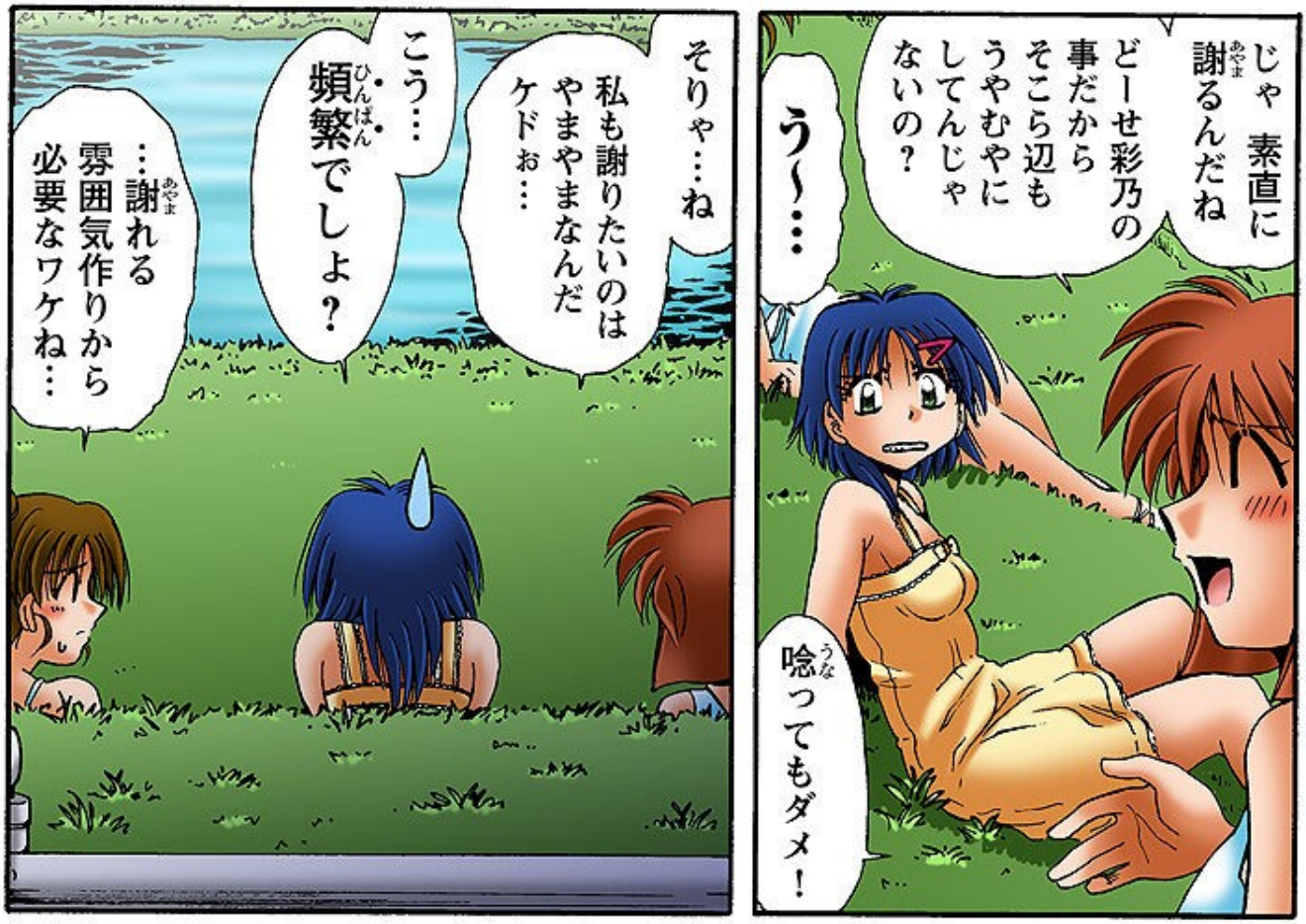

もう一緒に住むのやめれば？
なんでそーなるのよ？
そーすれば殴らなくて済むじゃん


大丈夫！
用務員さんの一人寝の相手は私がしっかりしてあげるから♡
あっ
あ♡
こーして体力使えば夜もぐっすり…
それ羽衣(アンタ)が悦(よろこ)ぶだけの事だよね？


でも羽衣の言う通り距離をおくのが一番の方法だよね
え…？
無理してまで一緒にいなくてもって事よ
……
べ 別に無理だなんてそんな…
わ 私は…その…


あ
――でも他に解決方法まだあった！
!?
なに何？


変えるのよ！
その怒れる拳を快感に♡
そーすれば灰色からバラ色の人生に…!!
いやいやいやいや
無いからね私そんな趣味っ!!
ポしゅラララ…


じゃ 素直に謝るんだね
どーせ彩乃の事だからそこら辺もうやむやにしてんじゃないの？
う～…
唸ってもダメ！
そりゃ…ね
私も謝りたいのはやまやまなんだケドぉ…
こう…頻繁でしょ？
…謝れる雰囲気作りから必要なワケね…


!?
――ならバッチリの場所があるよ
場所？
ホラ明日から…


花火大会？
そっか もうそんな時期か？

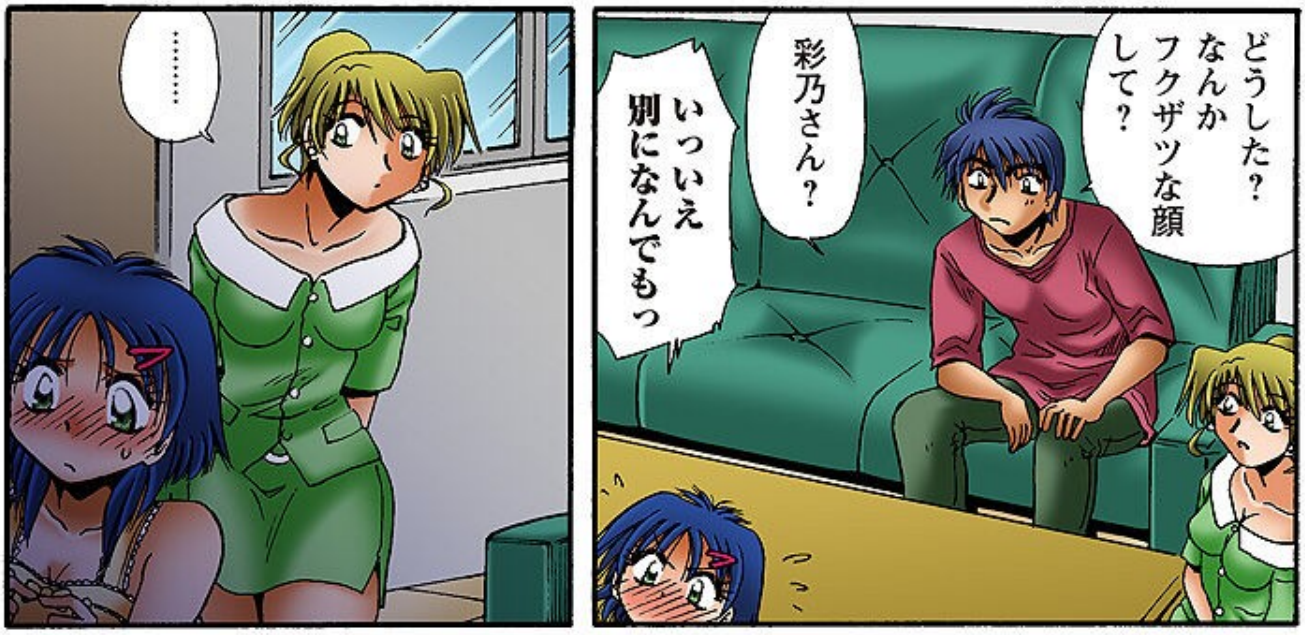

な〜んか
ほとんど学校から
出ないから
俺 時間
止まってんな…
明日
羽衣達と
約束して
てさ
現場の部屋より
ちょっとは謝り
やすいんじゃ
ない？
私達と
一緒なら
誘い
やすいで
しょ？
ね
一緒に行かない？
明日か…
う〜ん…
え？
何？
なんか都合
あんの？
おじゃま
しまーす
ガチャ…
——って
あら
水いらず？
莉子
井上先生
あら
偶然♡
今日は私も
その件の確認で
ここに来たの♡

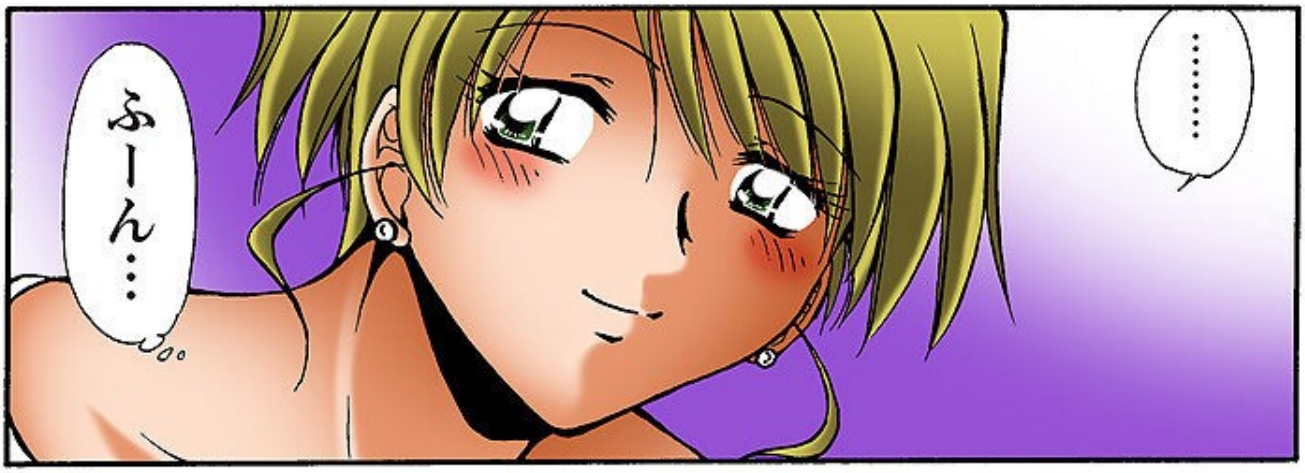

以前話してた見廻り予定通り行う事になったから……
そうか
そのための留守番だったのか
え？留守番？？？
見廻りって？？？？

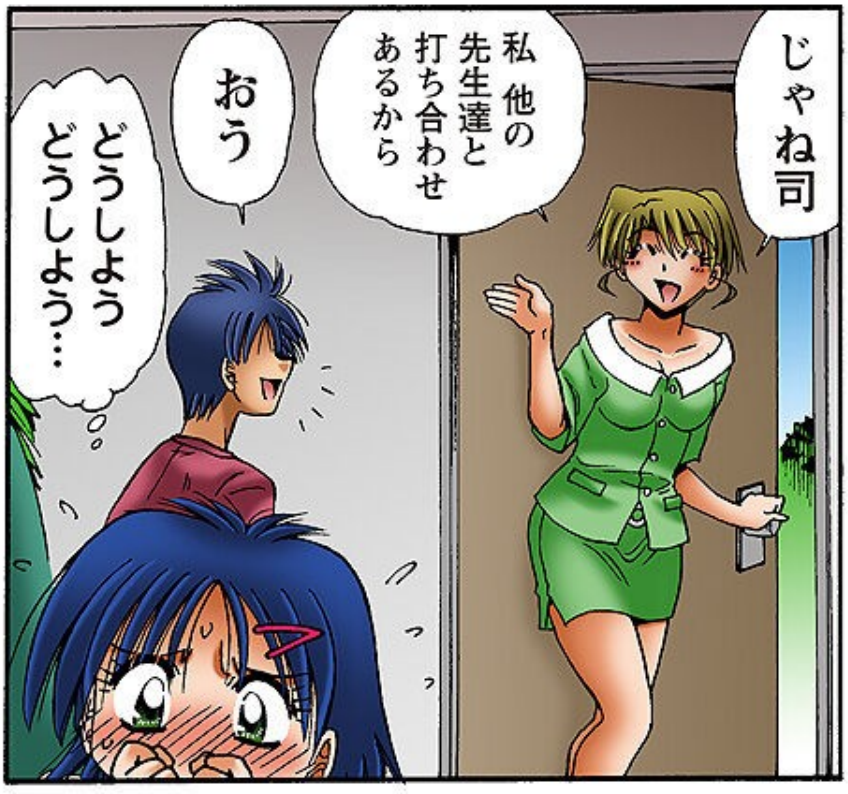

花火大会のよ
一応 会場場所が校区に重なってるからね
大会始まるまでは学校の教員が見廻りする事になったの
!?


補導次第では学校使うかも知れないから司に留守番お願いしててね
——という訳だスマン！
ええ～っ!?


ちょ…ちょっと待って…
それじゃあ私…
どうやって謝る機会作るのよォ～～～…!?


どうした？
なんか
フクザツな顔
して？
彩乃さん？
いっいえ
別になんでもっ
……


……
ふーん…


じゃね司
私 他の
先生達と
打ち合わせ
あるから
おう
どうしよう
どうしよう…


その頃…
彩乃
大丈夫かな？
江美（あんた） 面白（おもしろ）
がってるよね？

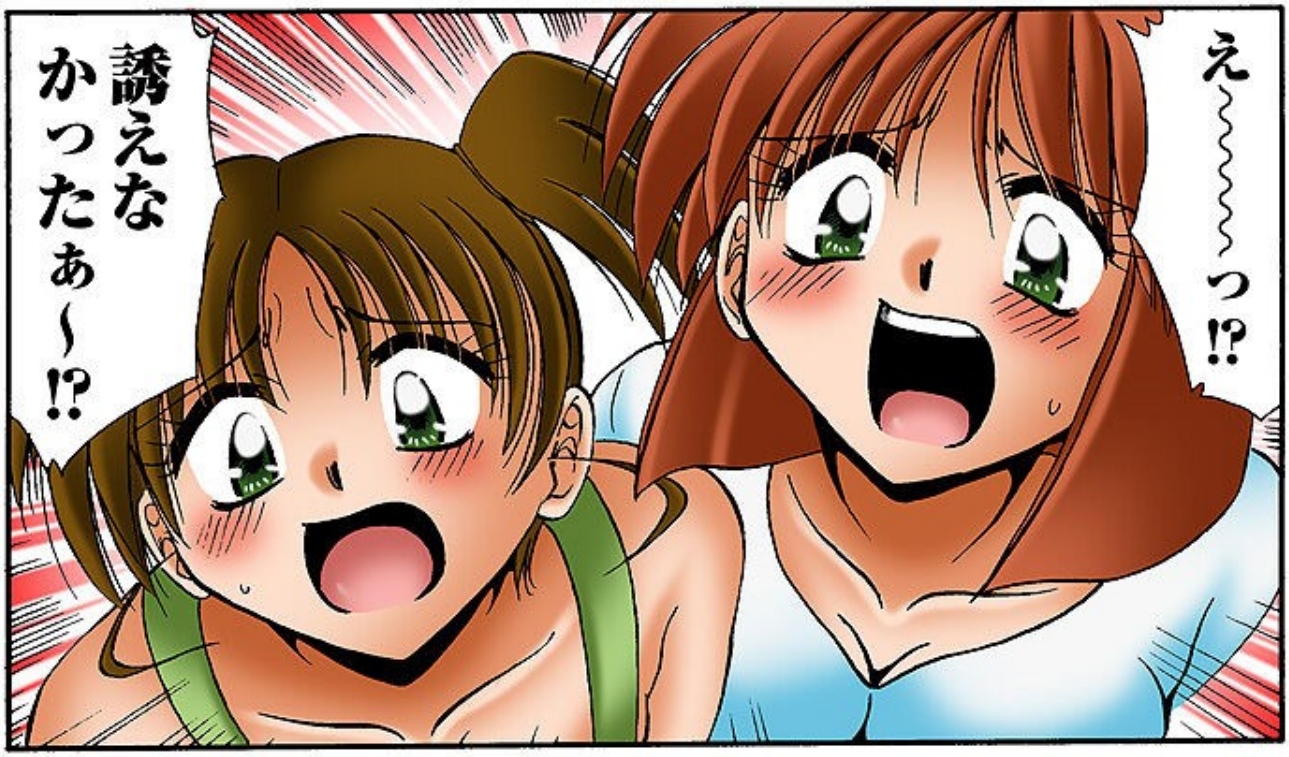
女子校に男一人!?

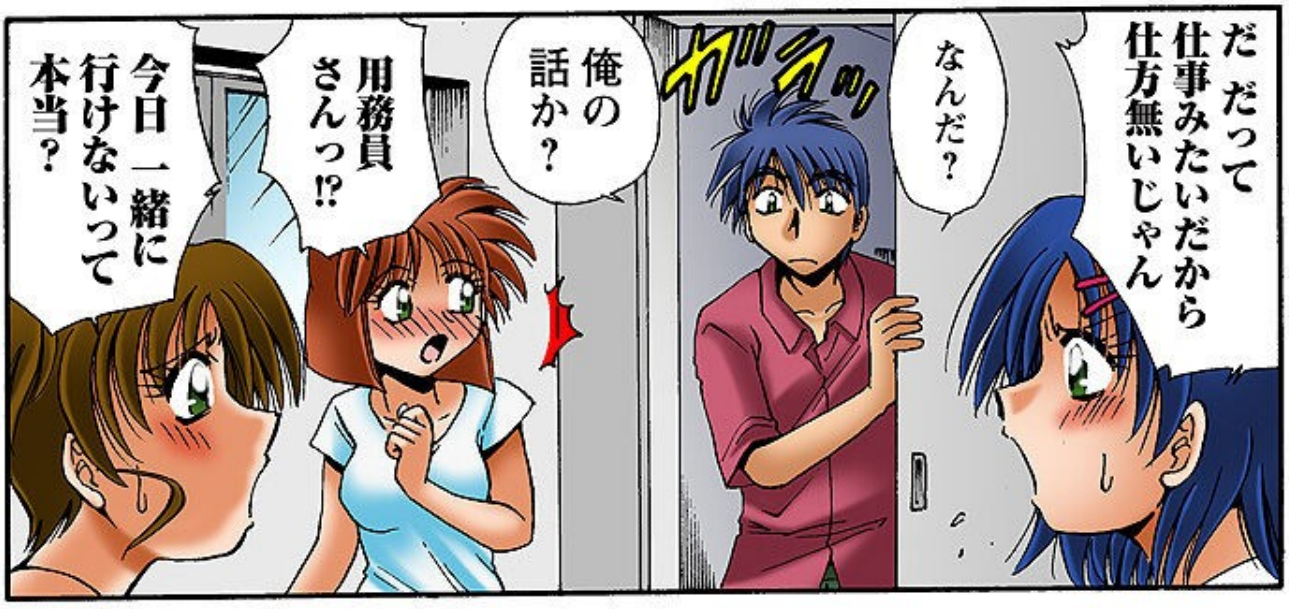


第62話

さかぐちしずか


今日は
花火大会
日頃の
ついつい司に
手をあげる事を
謝れない彩乃…
思いきって
謝るためにも
雰囲気から
変えようと考え
この日に誘ってみた
彩乃だったが…


え～～～っ!?
誘えな
かったぁ～!?

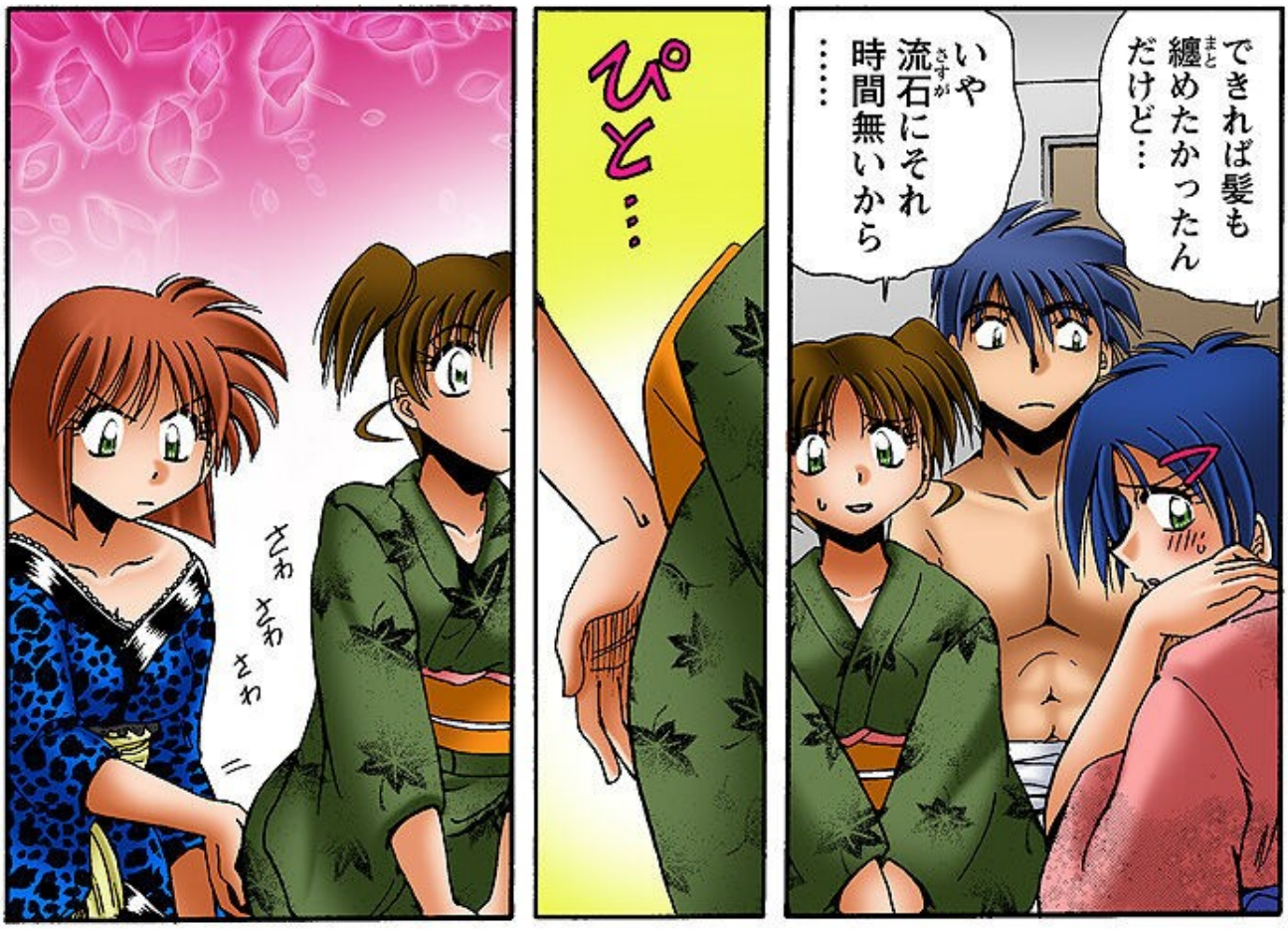

だ だって
仕事みたいだから
仕方無いじゃん
なんだ？
ガラ
俺の
話か？
用務員
さんっ!?
今日 一緒に
行けないって
本当？


本当だよ
先生達に頼まれて何かあった時のために学校で大人しくお留守番だ
せっかくの両手に花が残念だよ
え～～～…
夜店で何か奢ってもらおーと思ってたのにぃ…
それが本音かっ
せっかくみんなの浴衣も用意してきたのにね…
用務員さんのもあるんだよ♡
ヘェ…
着てみる？
カサ…
褌

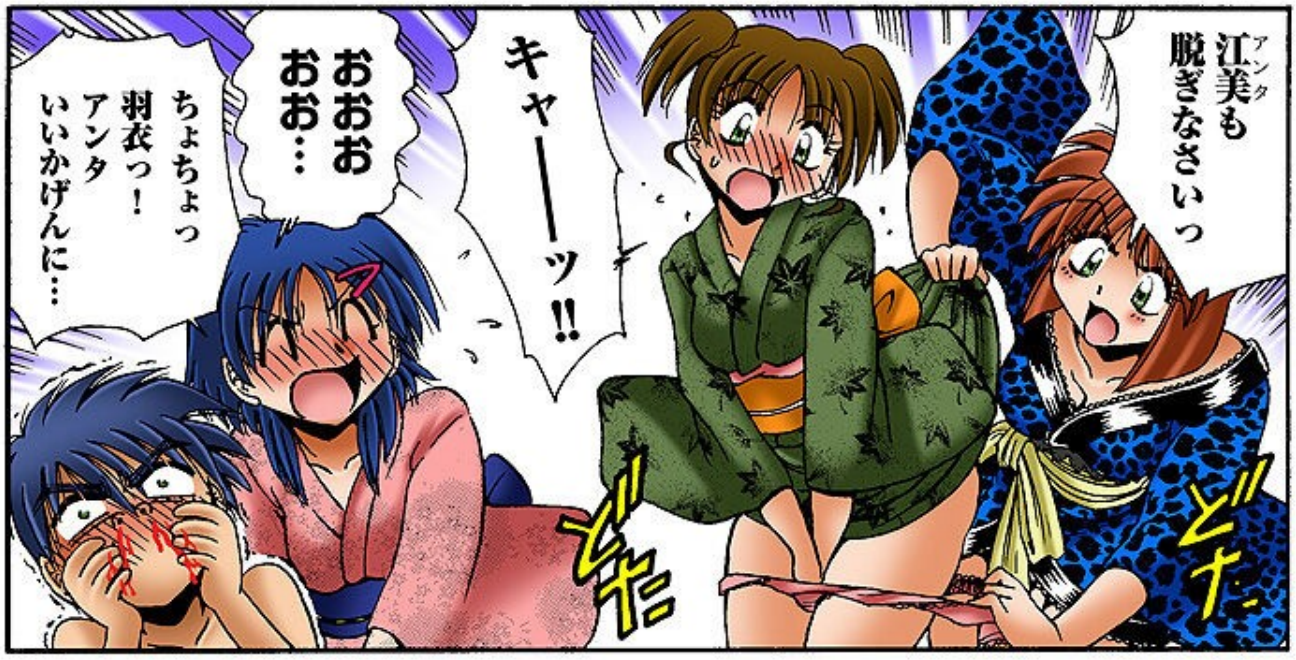

ここここ…
これは何かな？
男らしさを
演出して
みました♡
祭りでもないのに
この姿(カッコ)で行ったら
捕まるって！
そもそも
この地域に
このテの祭りも
存在せんしっ!!


わ 私も
着てみました♡
ビキビキ
ビキビキ
ぷりんっ
浴衣は
どこいった？
浴衣はっ!?
意外と快適♡
外に出る
なぁ～っ!!
ラわあああ
慌しい大爆発…

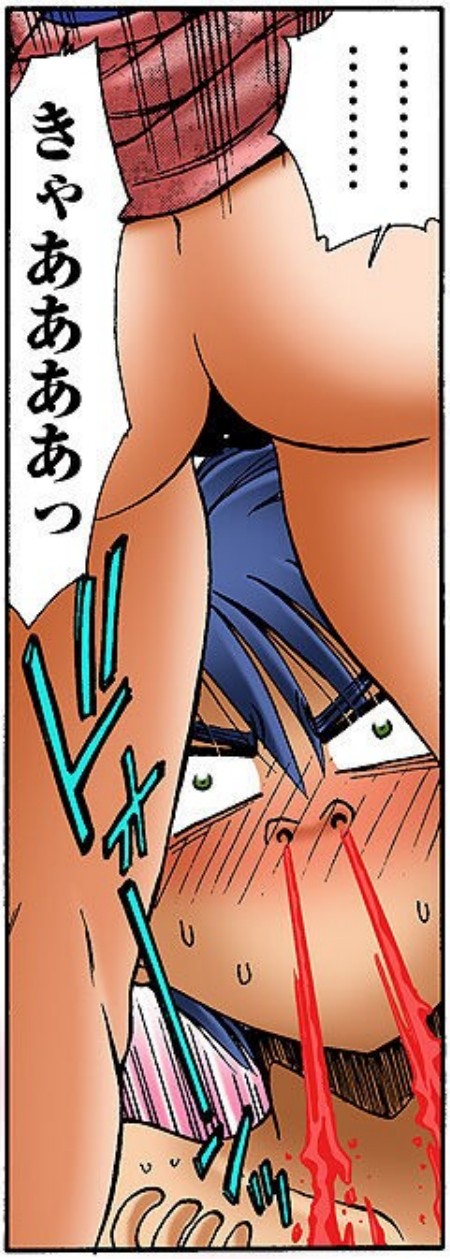

着てきたよ？
おお
いいじゃんっ
ちょこん
でも少し丈短くないか？
ミニ浴衣だし
ちょっと恥ずかしいかな？
恥ずかしいかな…コレ選んだの…
エミのは普通だよね？
お母さんのおさがりだけど…
どれじゃ私も…
着てきた!!
さらに短っ!!
あるんだ…そーいうの!?


できれば髪も纏めたかったんだけど…
いや流石にそれ時間無いから……
ぴと…
さわ さわ さわ


きゃあああっ
羽衣っ
イキナリ何を…？
江美 パンツはいてるっ！
着物の下にそんなの邪道よっ!!
私なんかホラッ♡
ひらり…

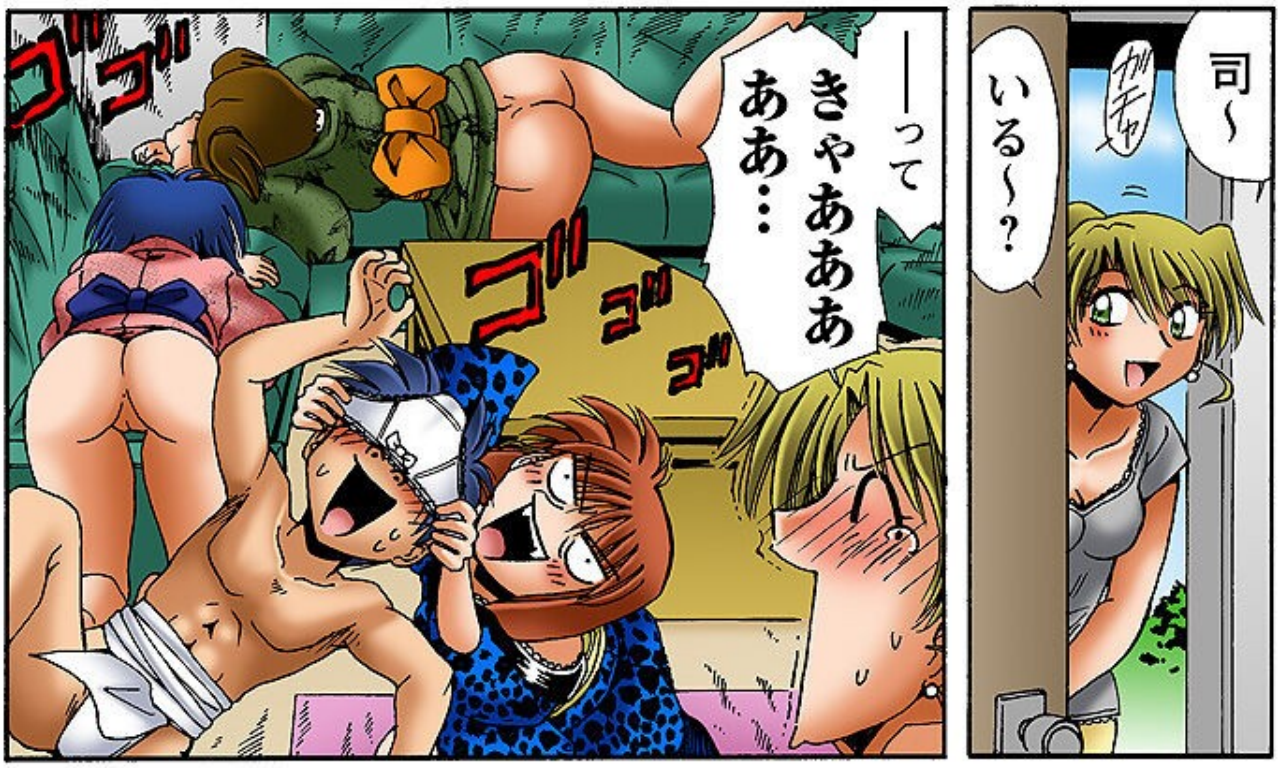

江美(アンク)も
脱ぎなさいっ
キャーッ!!
おおお
おお…
ちょちょっ
羽衣っ!
アンタ
いいかげんに…
どナー

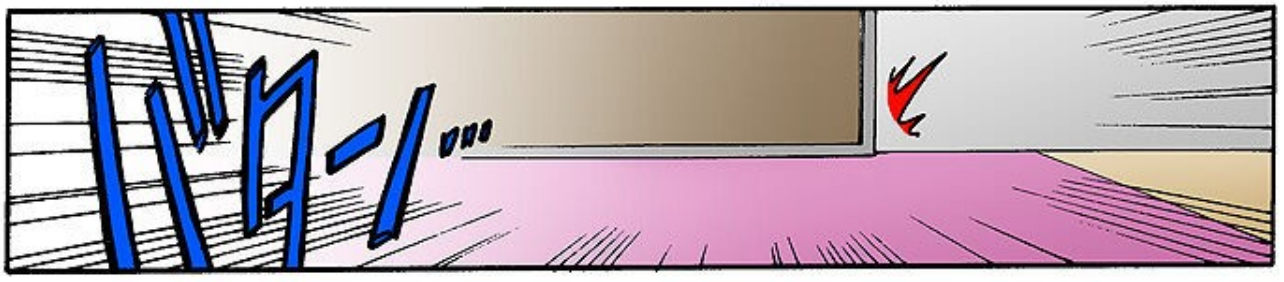

彩乃も
脱ぐっ!
すーん

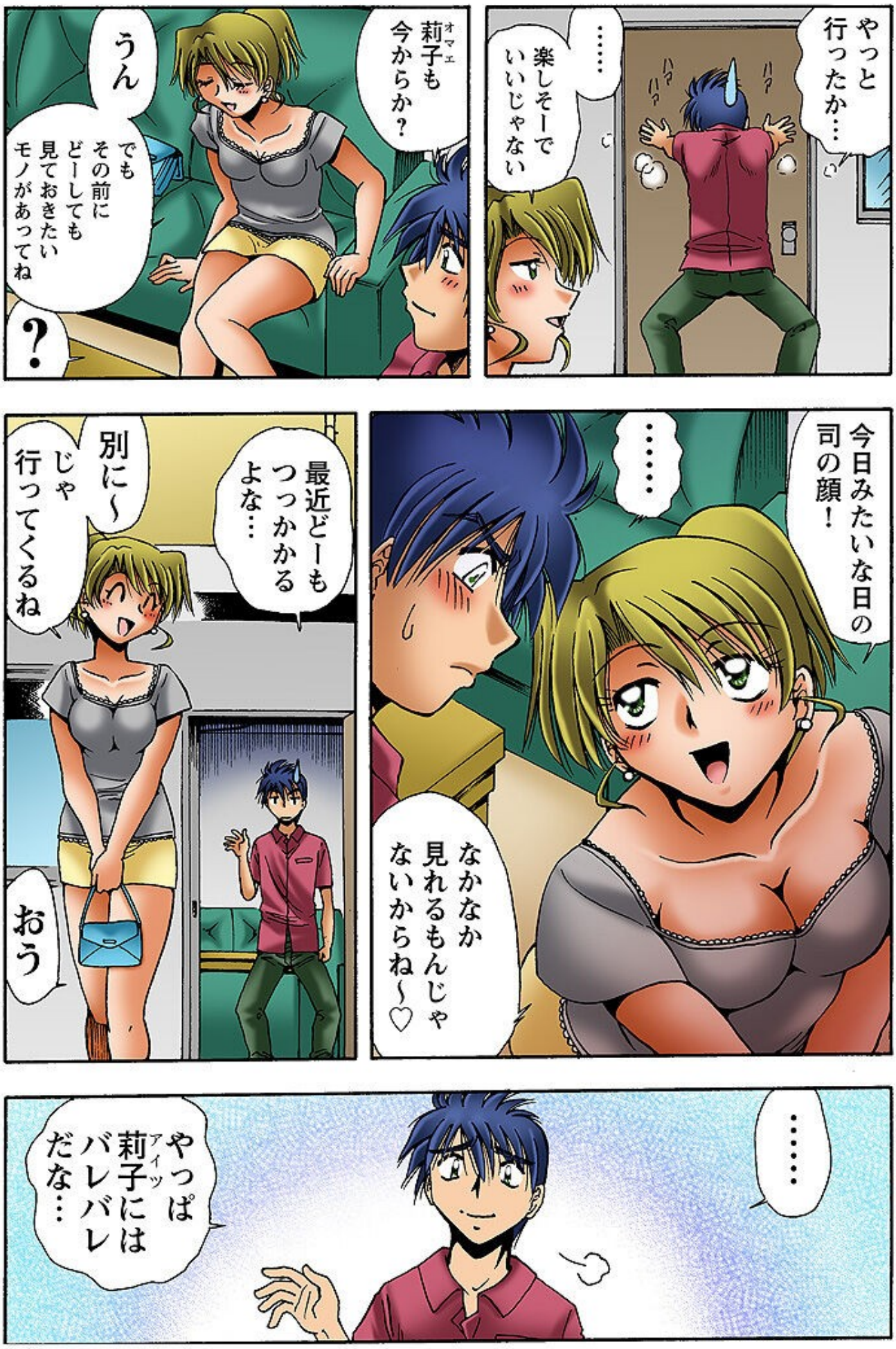

……
……
きゃあああああっ
レオーン

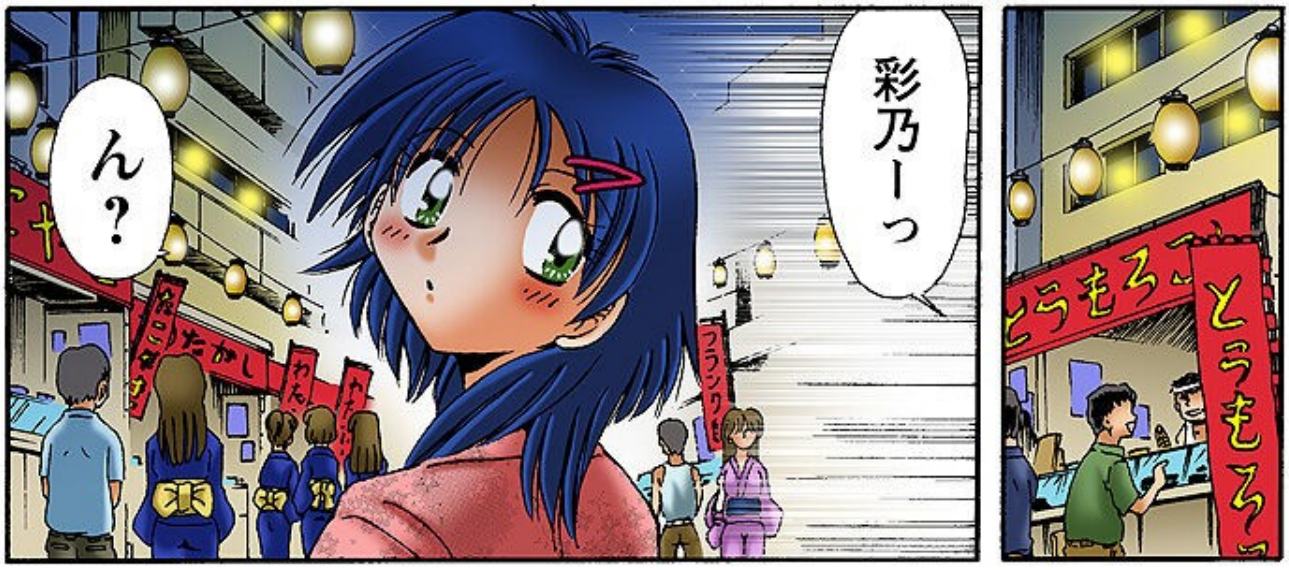

ああ…
楽しい…♡
なんか
今になって
男の子が
スカート捲り
するのが
解った気が
する…♡
度は
超えてる
ケド♡


いやあ
ああぁ…
パンツはどこじゃあ
いかんっ
もう事態が
とんでもない
方向に
向っている…

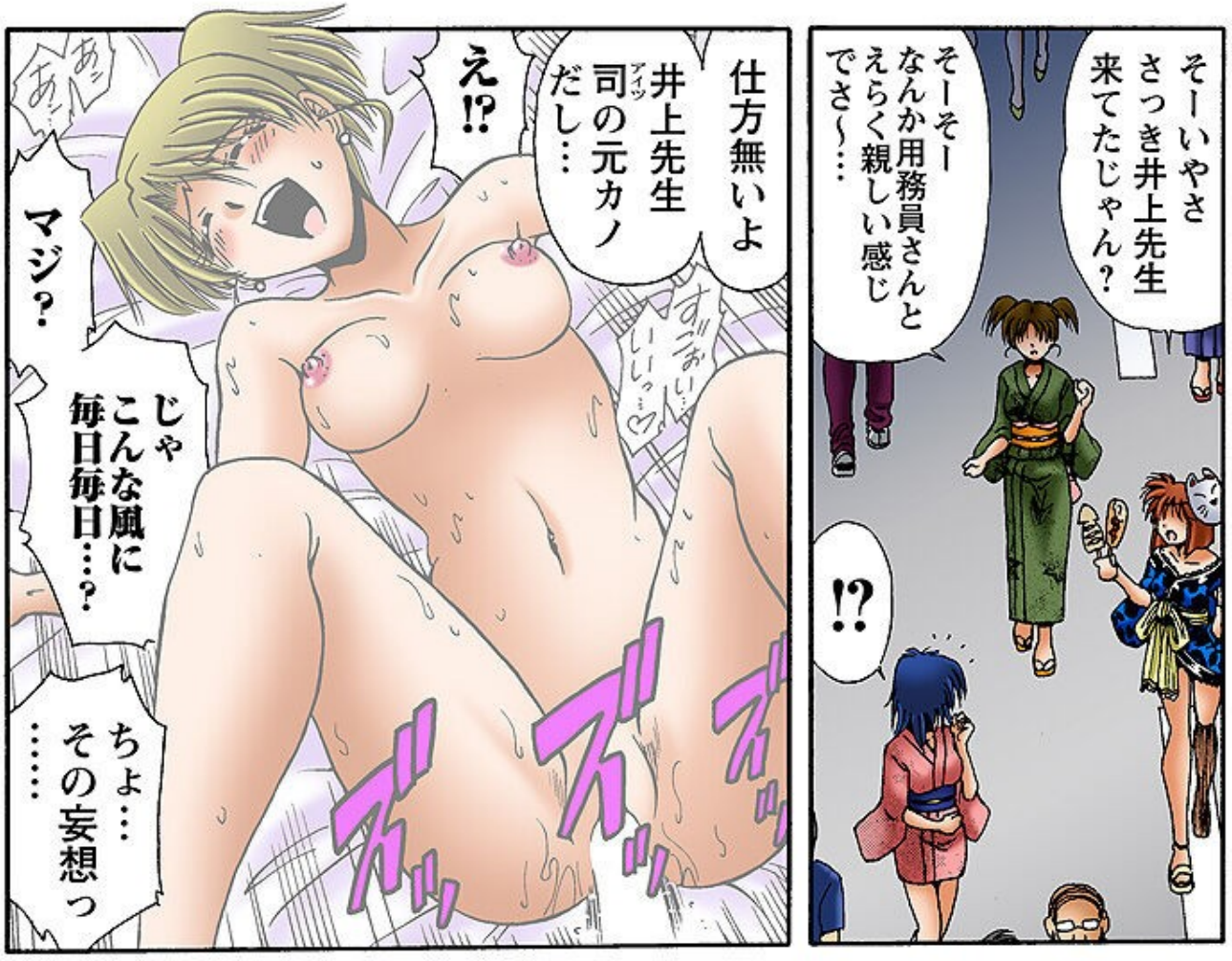

司～
いる～？
カチャ
ゴゴ
ゴゴ
ゴゴ
――って
きゃあああ
ああ…


バターン

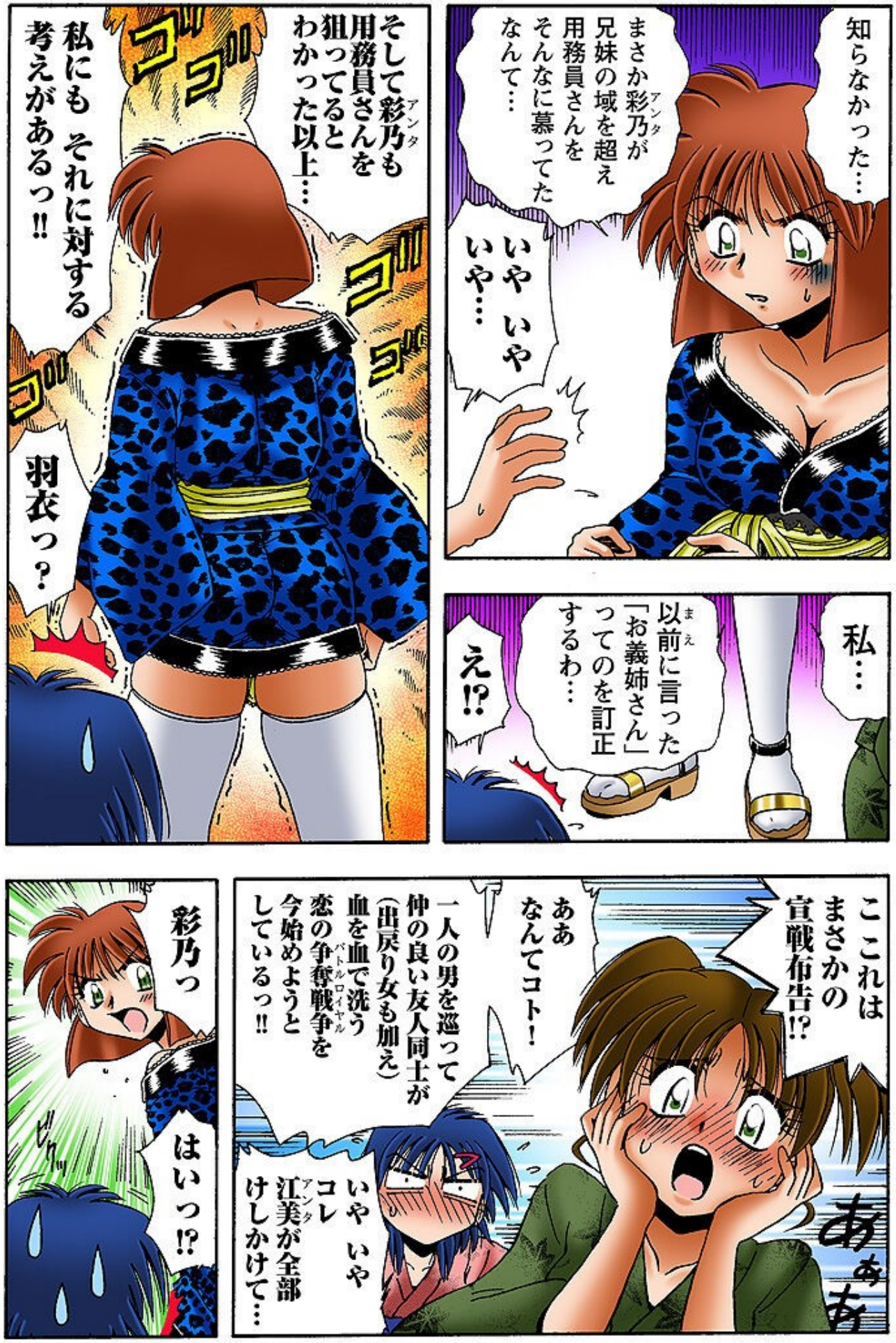

やっと行ったか…
ハァハァハァ
……
楽しそーでいいじゃない
莉子(オマエ)も今からか？
うん
でもその前にどーしても見ておきたいモノがあってね
？
今日みたいな日の司の顔！
……
なかなか見れるもんじゃないからね～♡
最近どーもつっかかるよな…
別に～じゃ行ってくるね
おう
……
やっぱ莉子(アイツ)にはバレバレだな…

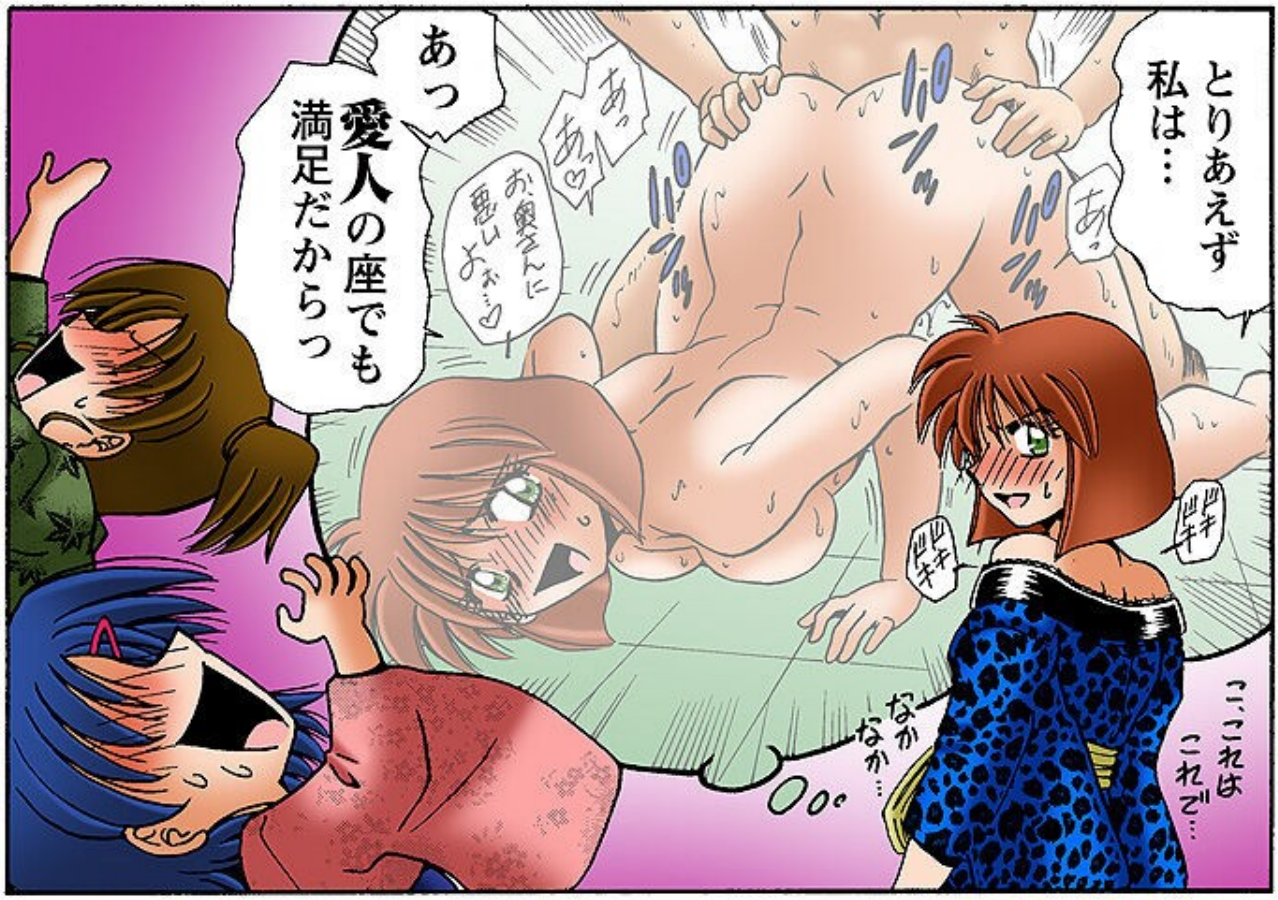

彩乃ーっ
ん？
とうもろこし
たこやき
フランクもし


待ってよ
早いって
彩乃っ
たこやき
うわっ
アイツこれ
買わされそーに
なってたんだ…


そーいやさ
さっき井上先生
来てたじゃん？
そーそー
なんか用務員さんと
えらく親しい感じ
でさ～…
!?
仕方無いよ
井上先生
司(アイツ)の元カノ
だし…
え!?
マジ？
じゃ
こんな風に
毎日毎日…？
ちょ…
その妄想っ
……


態度からしてってきり用務員さんの事狙ってたと思ってたんだケド…
うん私もっ絶対アレまだ全然脈あるよね〜〜〜
そそーなの？
ハタから見てるとあれはアリでしょー
丸わかりだよね
アレ？
——って事は井上先生彩乃にとっても恋仇(こいがたき)って事になるんだ!?
!?
!?
え？何!? じゃあ彩乃も用務員さん狙ってるの？
ちょ…ンな訳…
ハタから見てると丸わかりだよね
ちょっとエミっふざけたコト言わないでよ
ふざけてるかな〜


知らなかった…
まさか彩乃(アンタ)が兄妹の域を超え用務員さんをそんなに慕ってたなんて…
いや いや いや…
私…
以前(まえ)に言った「お義姉さん」ってのを訂正するわ…
え!?
そして彩乃(アンタ)も用務員さんを狙ってるとわかった以上…
私にも それに対する考えがあるっ!!
羽衣っ?
ここれはまさかの宣戦布告!?
ああ なんてコト!
一人の男を巡って仲の良い友人同士が(出戻り女も加え)血を血で洗う恋の争奪戦(バトルロイヤル)を今始めようとしているっ!!
いや いや
コレ 江美(アンタ)が全部けしかけて…
彩乃っ
はいっ!?


とりあえず
私は…
あっ
お奥さんに悪いよぉ…
あっ
愛人の座でも
満足だからっ
ここ、これは
これで…
なかなか…


傍にいられるなら
他の女が
横にいたって
全く気にならない
女だから私…
うわあ
ああ…
う～ん…
これは
根っから無邪気に
恋仲混ぜ返す女
だよね…


花火
何時から
だっけ？
あと
30分程
かな？
……

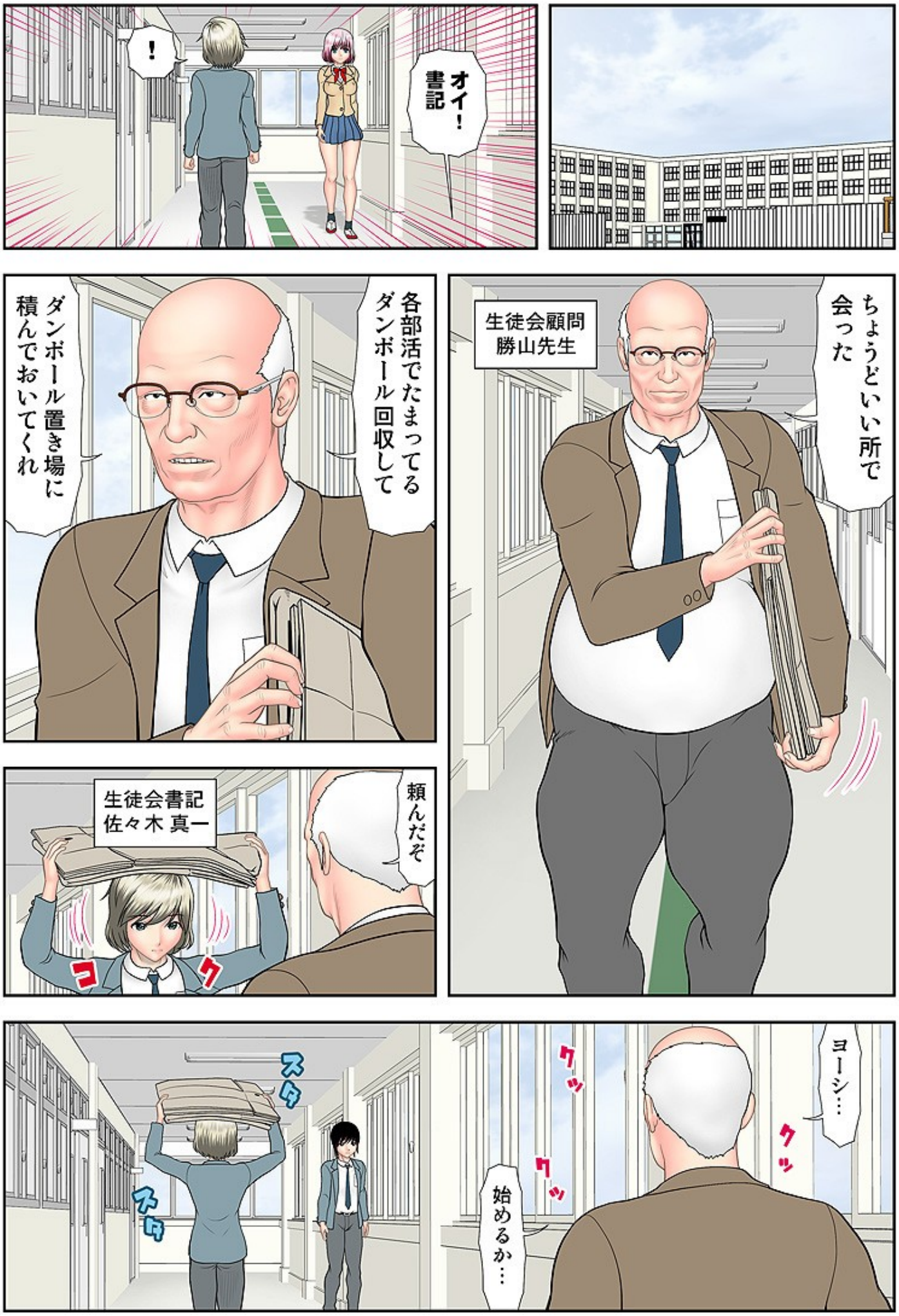

私が
司の事を好き…？
……
まさか…ね

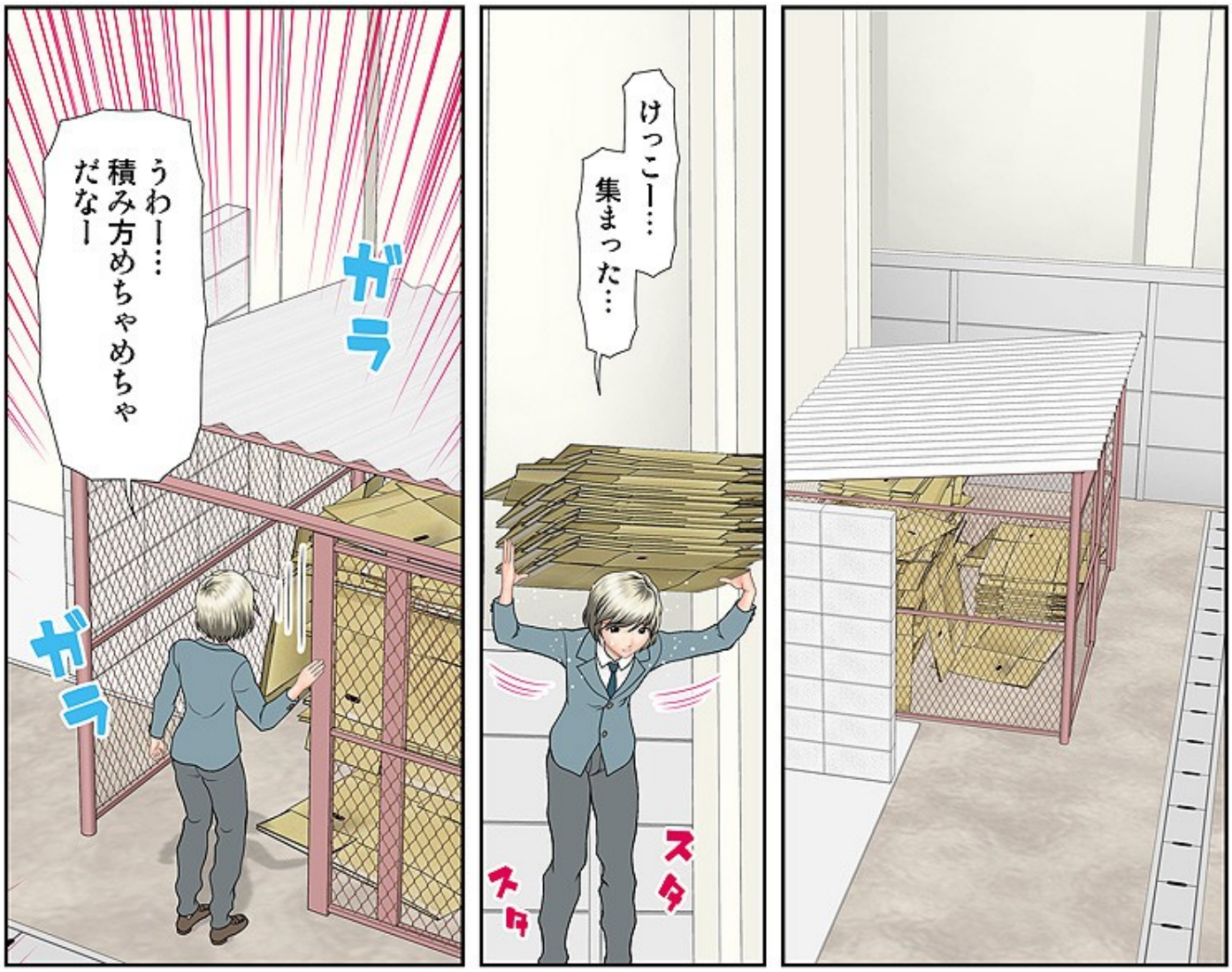
ヴァージンあげちゃう

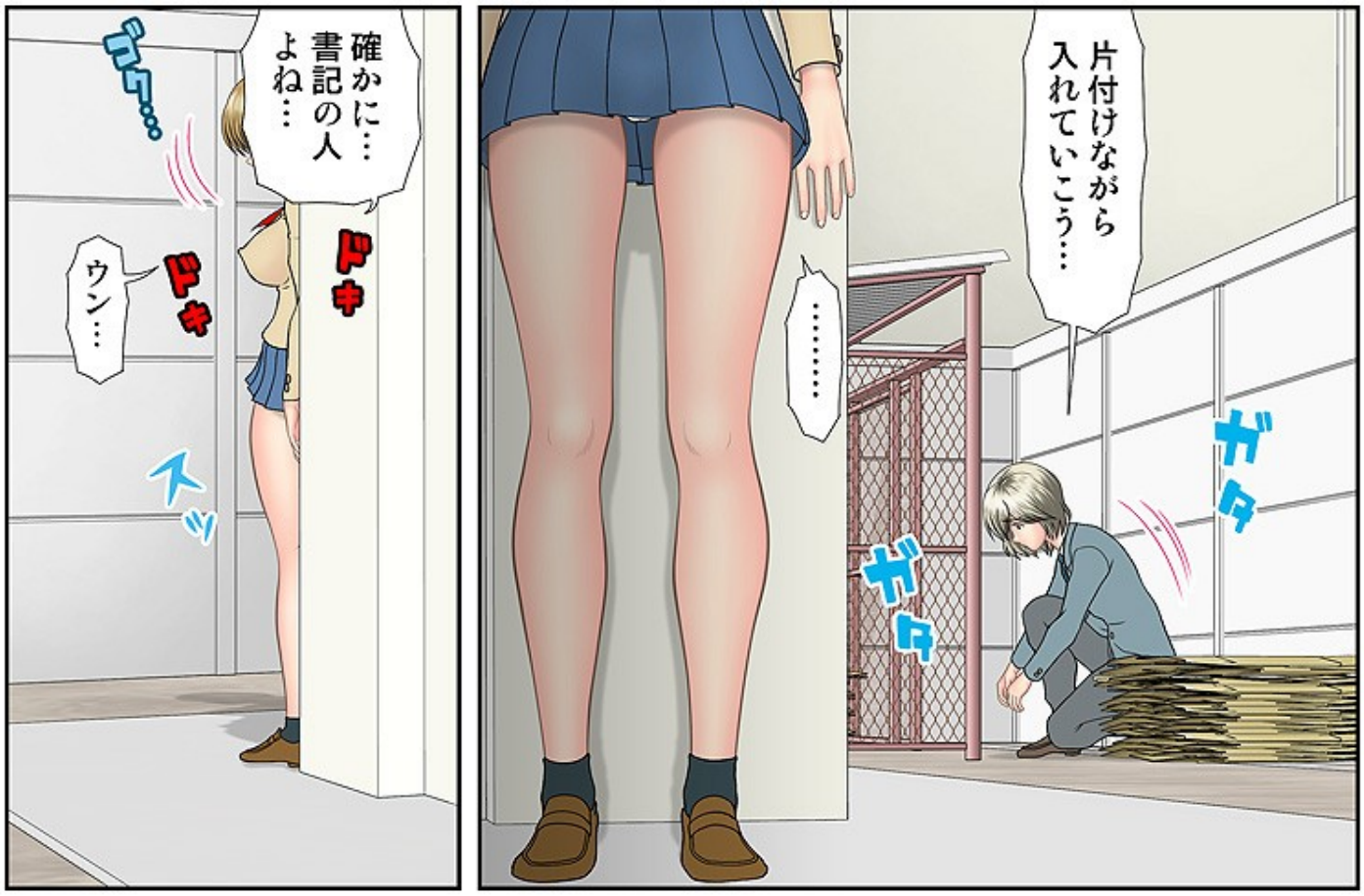
第36話

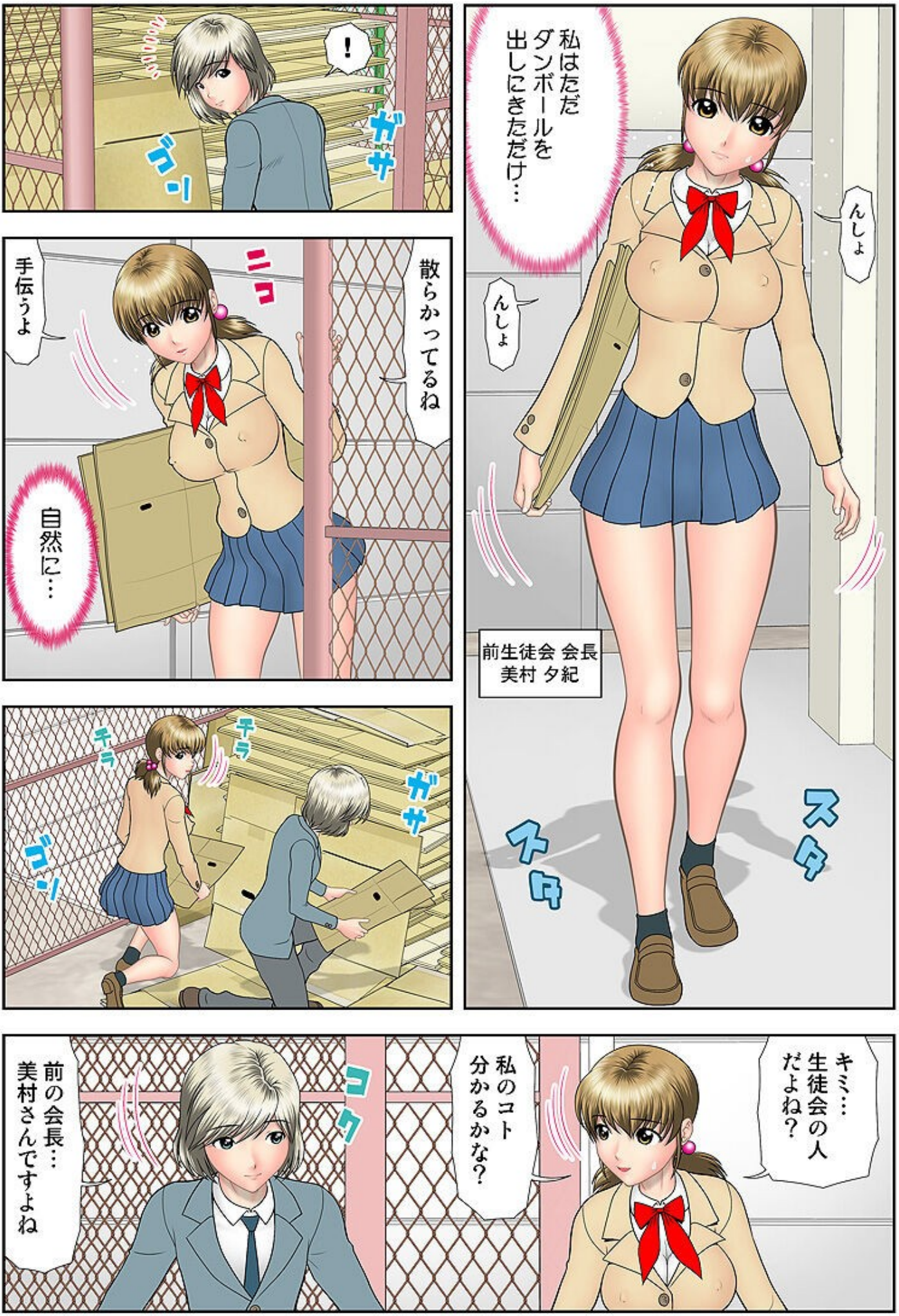
栗本重治



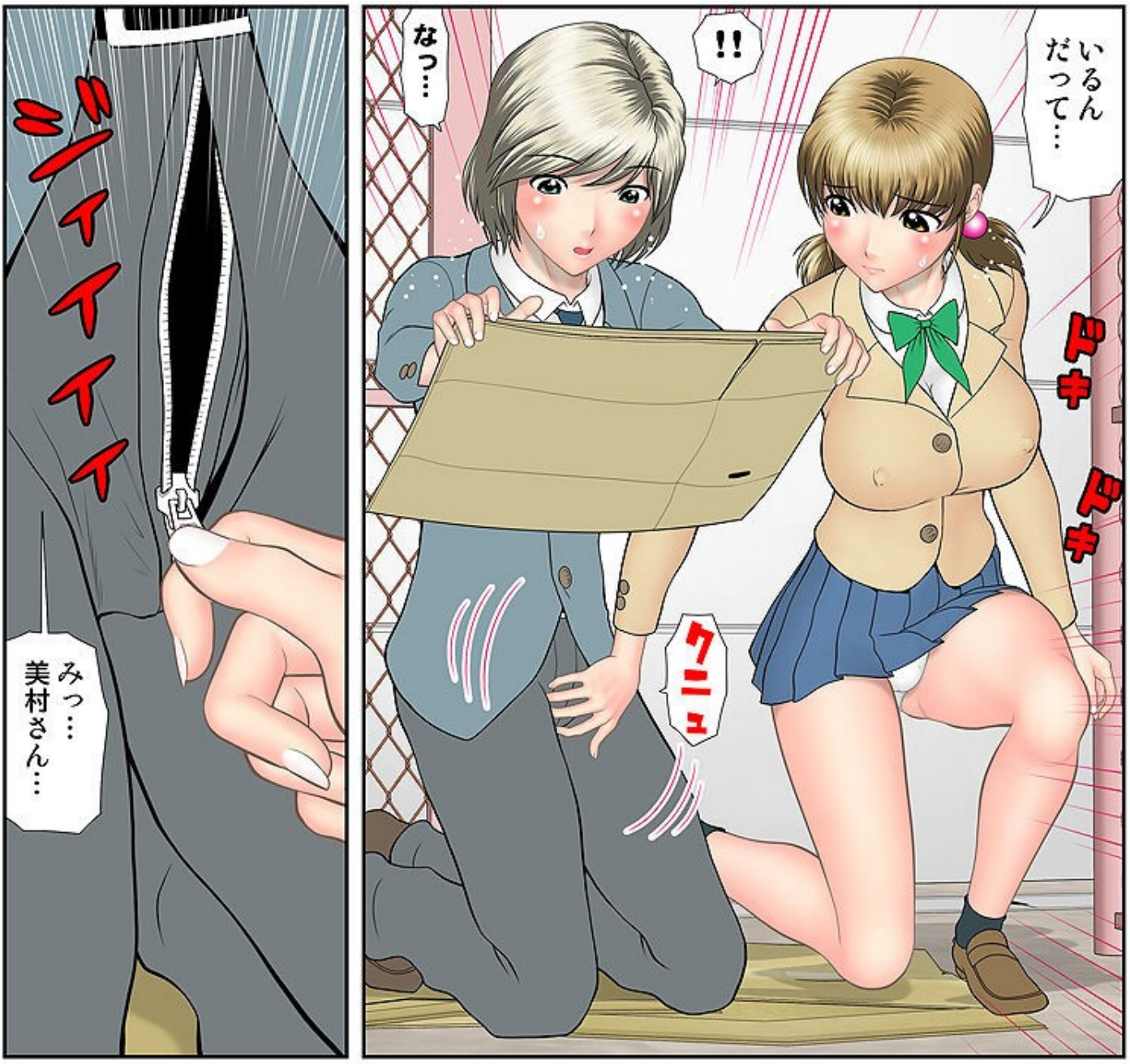

オイ！書記
！
ちょうどいい所で会った
生徒会顧問
勝山先生
各部活でたまってるダンボール回収して
ダンボール置き場に積んでおいてくれ
生徒会書記
佐々木 真一
頼んだぞ
コク
ヨーシ…
クッ
クッ
クッ
始めるか…
スタ
スタ


けっこー…
集まった…
スタ
スタ
うわー…
積み方めちゃめちゃだなー
ガラ
ガラ


片付けながら入れていこう…
……
ガタ
ガタ
確かに…書記の人よね…
ドキ
ドキ
ウン…
ゴク…
スッ


私はただ
ダンボールを
出しにきただけ…
んしょ
んしょ
スタ
スタ
前生徒会 会長
美村 夕紀
！
ガサ
ゴソ
散らかってるね
手伝うよ
ニコ
自然に…
チラ
チラ
ガサ
ゴソ
キミ…
生徒会の人
だよね？
私のコト
分かるかな？
コク
前の会長…
美村さんですよね

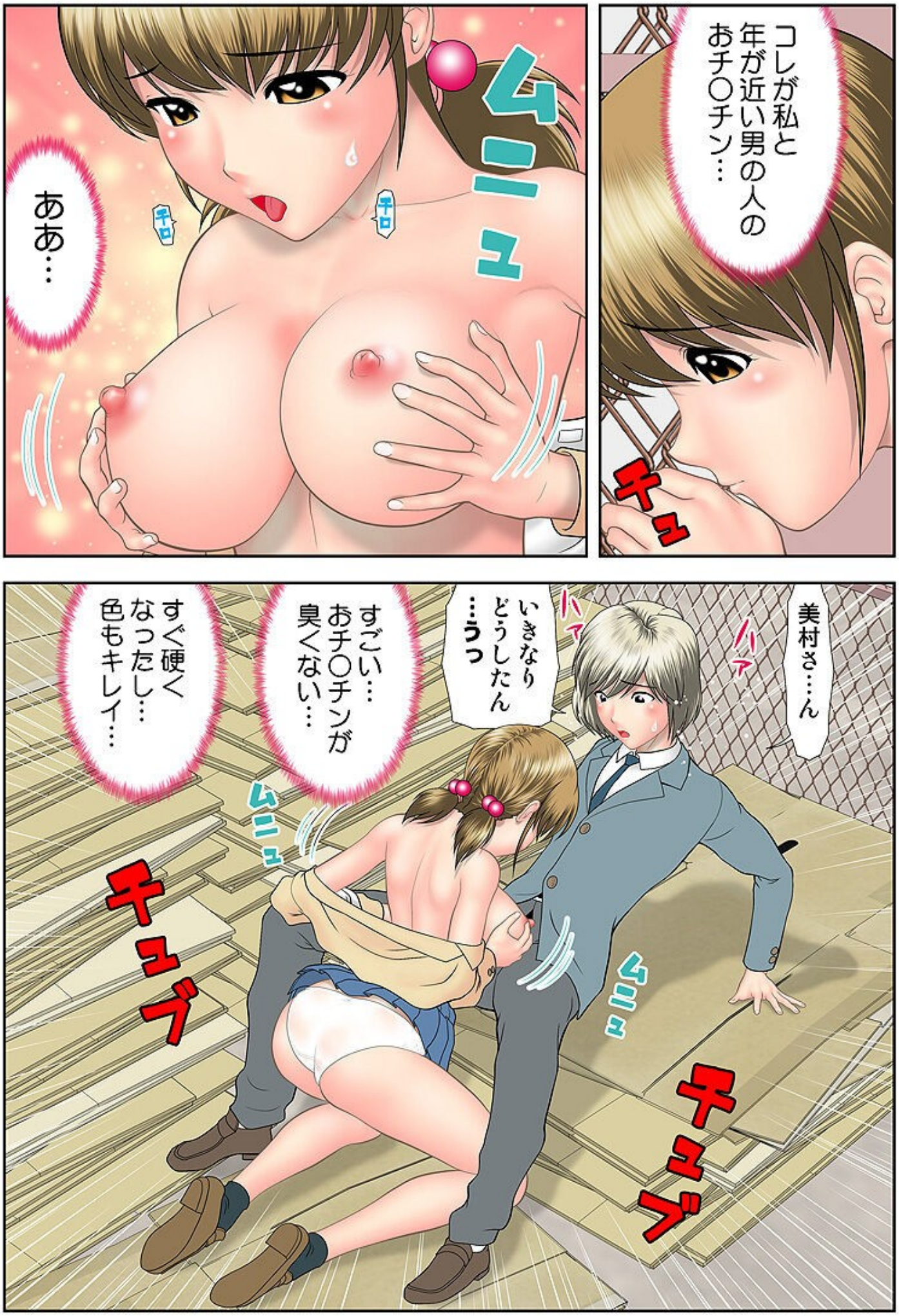

生徒会の仕事大変でしょ？
ボク裏方ですし…
美村さんの方がキツかったのでは？
ニコ
わっ…私はいいのよ
私は…あっ…
あはは…
ドキ
そっ…そんな無理です…
一般の生徒と…その…セックスなんて…
難しい話だとは思うがな…
フー
飽きただけだけど
やってくれるならお前との関係終わりにしてもいいぞ
!?…
この関係が終われるの!?……
ドキン
私が生徒会長やってる時からここのダンボール置き場って変な噂があって…
先生と手を切るためよ…
ドキ
ドキ
ダンボールをベッド代わりに…その…エッチな事…しちゃう人達が…


いるんだって…
!!
なっ…
ドキ
ドキ
クニュ
ジィイイイイ
みっ…美村さん…


おっ…
大きい…
ドキ
ドキ
ドクン
ドクン


そういえば…私…
勝山先生以外の見るの…初めてなんだ…
ドキ
ドキ
プル
プル


ハァ
ハァ

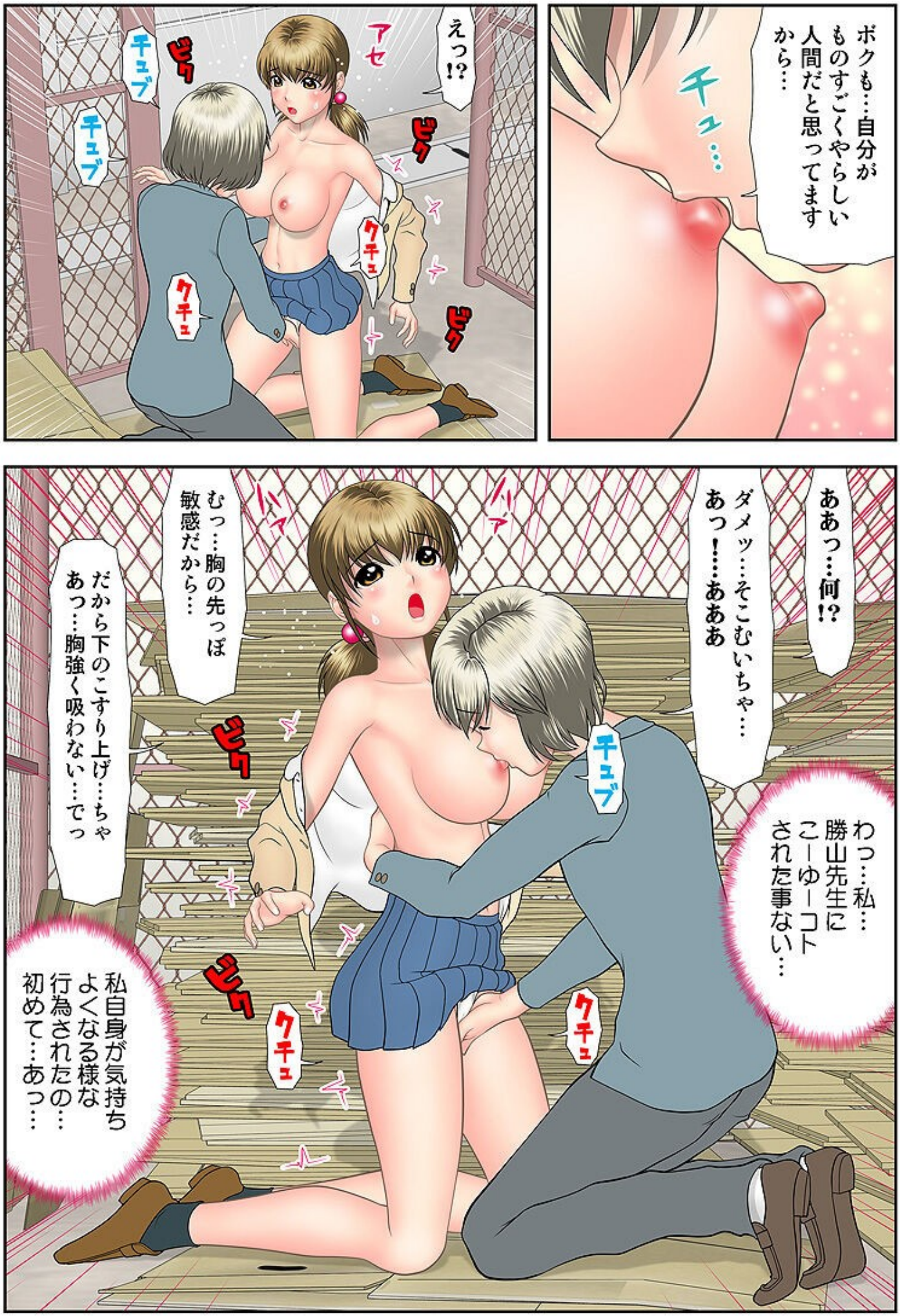

コレが私と年が近い男の人のおチ○チン…
チュ
ああ…
ムニュ
チロ
チロ
美村さ…ん
ハァ
ハァ
いきなりどうしたん…うっ
すごい…おチ○チンが臭くない…
すぐ硬くなったし…色もキレイ…
ムニュ
チュブ
ムニュ
チュブ

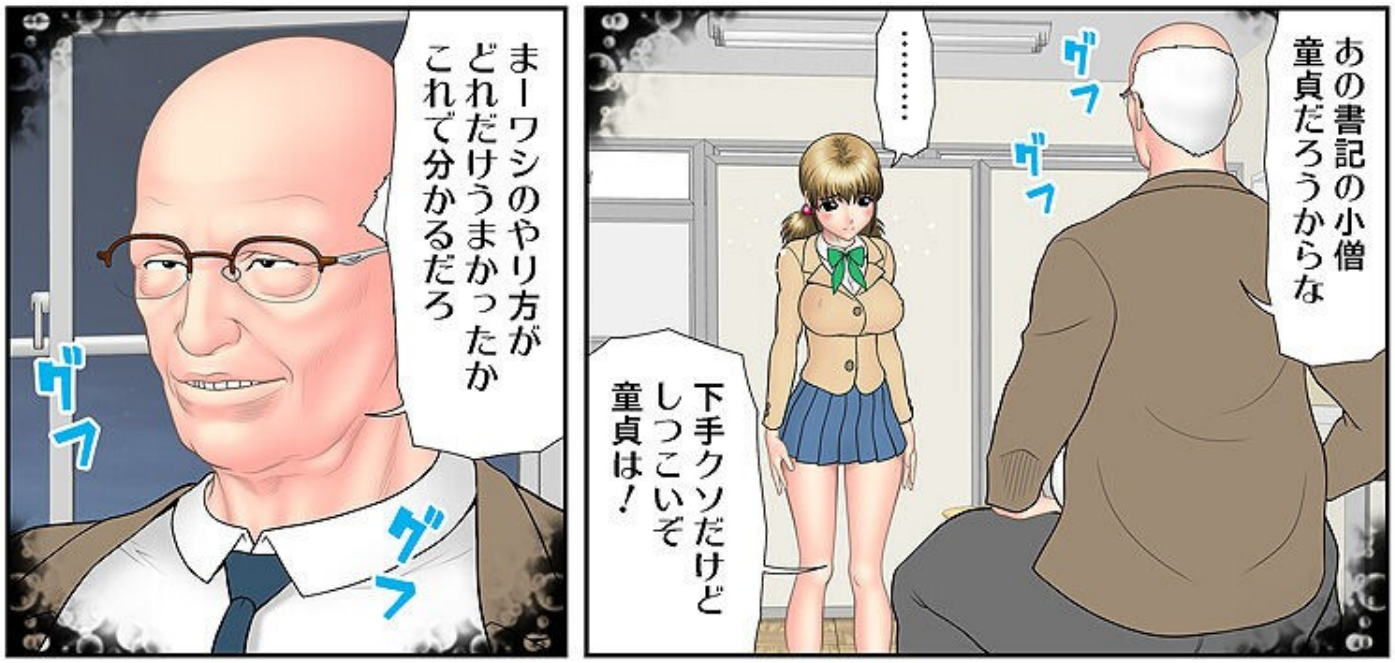

何だろう…
勝山先生との関係
終われるからかな？…
チュブ
チュブ
何かちょっと
楽しい…今


出っ…
出ちゃい
ます…
美村
さん…
クッ…
チュブ
チュブ
チュポ
いいよ…
飲むから
このまま口に…
ハァ
ハァ

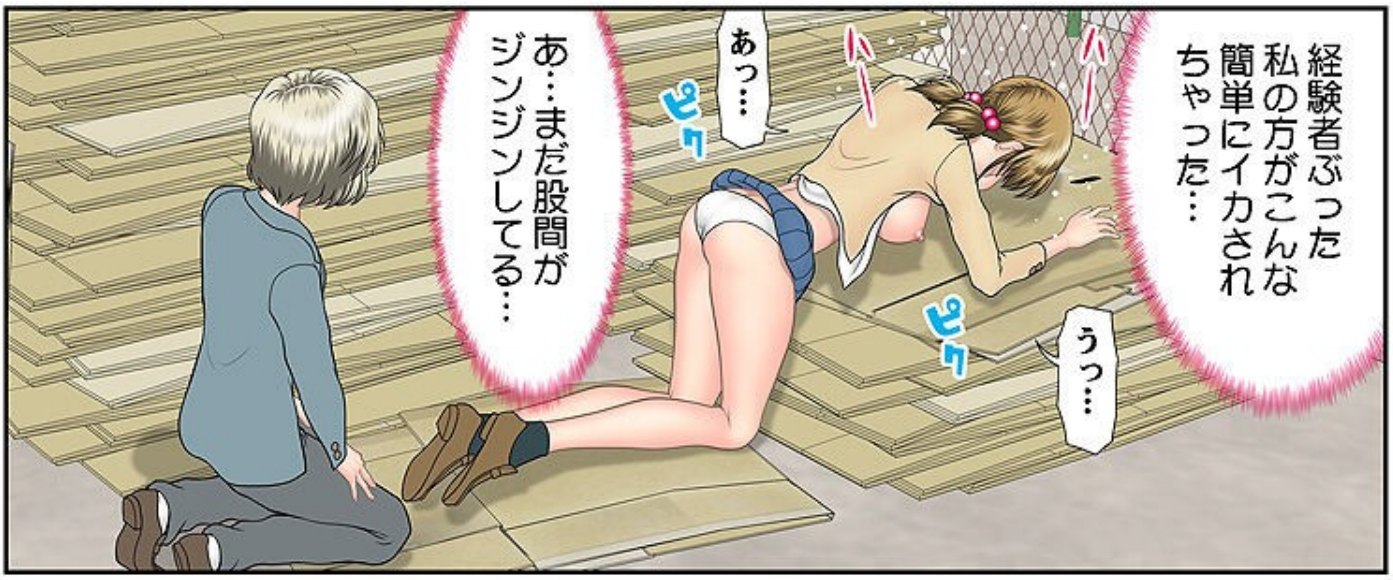

うあっ
！
ドクン
ビュク
ビュク
ビュク

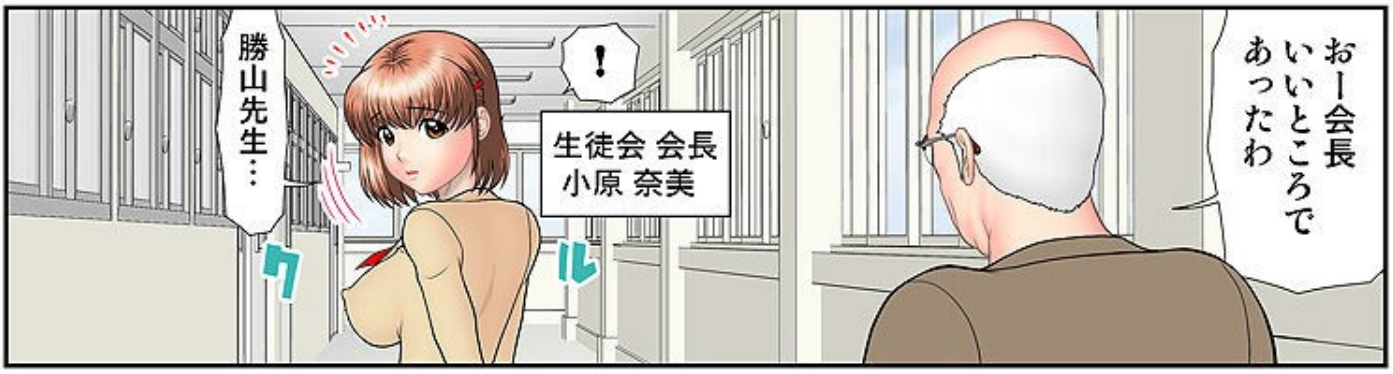

美村さん…
ハァ
ハァ
なんで
いきなり…
ゴクン
ンク
したくなったの
君と…
本当の理由…
言えない…
急に…
どうしても…
それとも…
アレかな…
生徒会長やってた人間が
こんな性癖持ってちゃ
イメージ違いすぎる？
がっかり
しちゃった？
ボクそーゆー
先入観は
持ちません…
スッ


ボクも…自分がものすごくやらしい人間だと思ってますから…
チュ…
えっ!?
アセ
チュブ
チュブ
ビク
ビク
ビク
クチュ
クチュ
ああっ…何!?
ダメッ…そこむいちゃ…
あっ!…あああ
チュブ
クチュ
ビク
ビク
ビク
クチュ
むっ…胸の先っぽ敏感だから…
だから下のこすり上げ…ちゃ
あっ…胸強く吸わない…でっ
わっ…私…勝山先生にこーゆーコトされた事ない…
私自身が気持ちよくなる様な行為されたの…初めて…あっ…


あの書記の小僧
童貞だろうからな
……
グフ
グフ
下手クソだけど
しつこいぞ
童貞は！
まーワシのやり方が
どれだけうまかったか
これで分かるだろ
グフ
グフ


全然…勝山先生よりも
上手な気が…あっ…
ビク
だっ…ダメよっ
それ以上ペース上げちゃ…
ハァ
ビク
いやっ…あ…
イク…
ビクン
ハァ
ビク
ビク
ビク
イッちゃう…
あ～～～!!

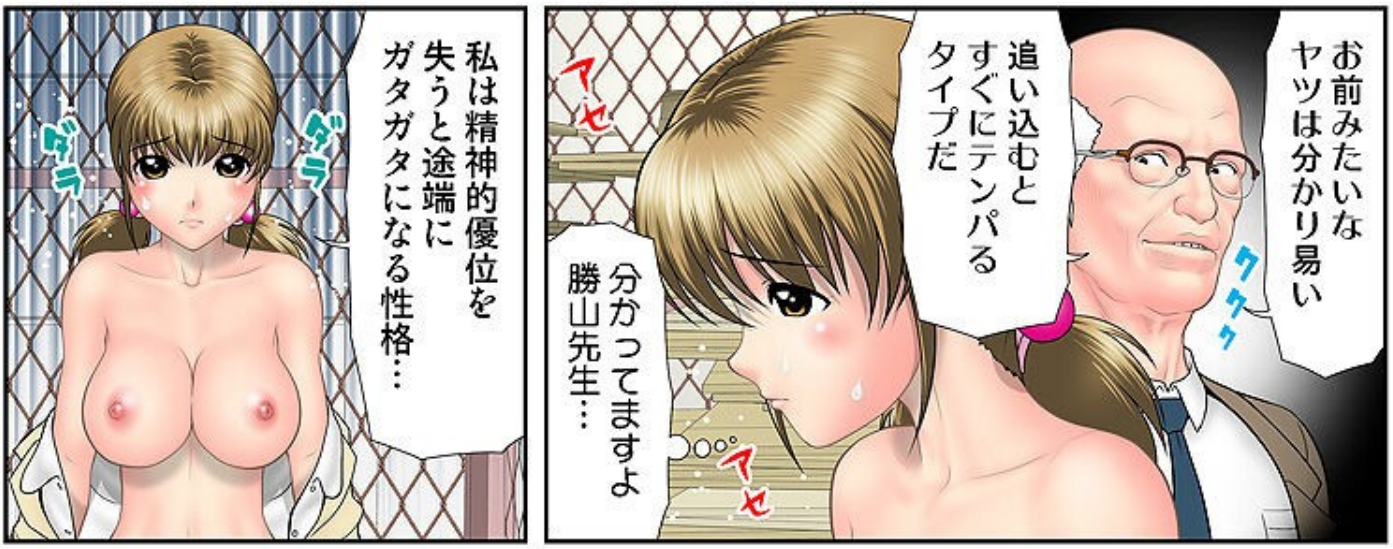

経験者ぶった私の方がこんな簡単にイカされちゃった…
うっ…
あっ…
ピク
ピク
ハー
ハー
あ…まだ股間がジンジンしてる…


おー会長 いいところであったわ
！
生徒会 会長 小原 奈美
勝山先生…
ク
ル


ちょっと頼まれてくれるか？
…はい
何でしょうか？
水泳部の一件を知って以来…凹み気味じゃないか…会長ォ
クックックッ…

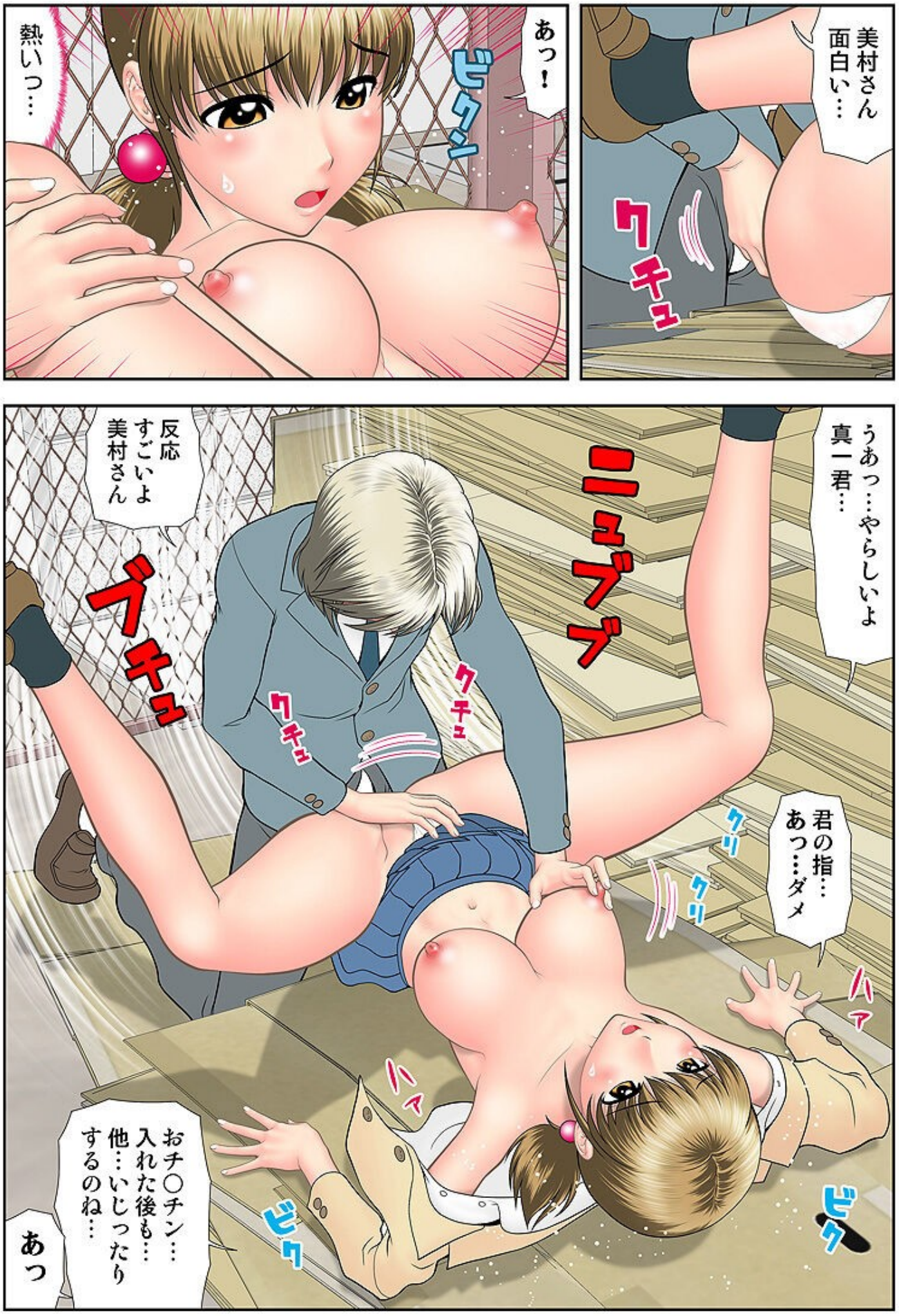

なーに簡単な用事だ
グフ
グフ
クッ
クッ
クッ
この生徒会をワシのものにする最後の詰めに招待してやろうじゃないか！


この落ち着き…
どう考えても
経験済み…
どっ…
どうしよう…
ドキ
ドキ
モジ
モジ
クチュ
年下で
童貞って
ハズが…
ハー
ハー
前生徒会長
美村 夕紀
ピク
ピク
美村さん
まだちょっと
ポーッと
してる？
生徒会書記
佐々木 真一


お前みたいなヤツは分かり易い
クク
追い込むとすぐにテンパるタイプだ
アセ
分かってますよ勝山先生…
アセ
私は精神的優位を失うと途端にガタガタになる性格…
ダラ
ダラ


勝山先生との関係が終わる事にちょっと希望を感じて浮かれてたのね…
あの…どうぞ…
アセ
お使い下さい…
アセ
この性格どうにかしないとまた誰かにつけ込まれる…
ク
パ

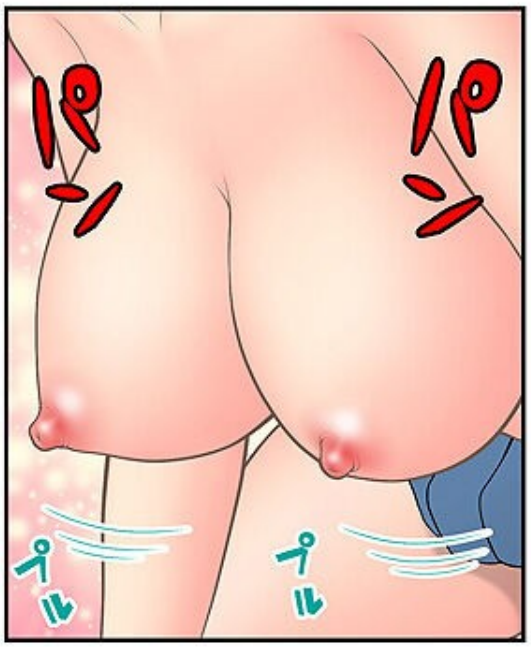

うわっ…私学年下の子に敬語使っちゃった…
2年
3年
カァァ
……
ちょっと引いてるじゃない…真一君


美村さん
面白い…
クチュ
あっ！
ビクン
熱いっ…
うあっ…やらしいよ
真一君…
ニュブブ
クチュ
クチュ
君の指…
あっ…ダメ
クリ
クリ
反応
すごいよ
美村さん
ブチュ
ハァ
ハァ
ビク
ビク
おチ〇チン…
入れた後も…
他…いじったり
するのね…
あっ

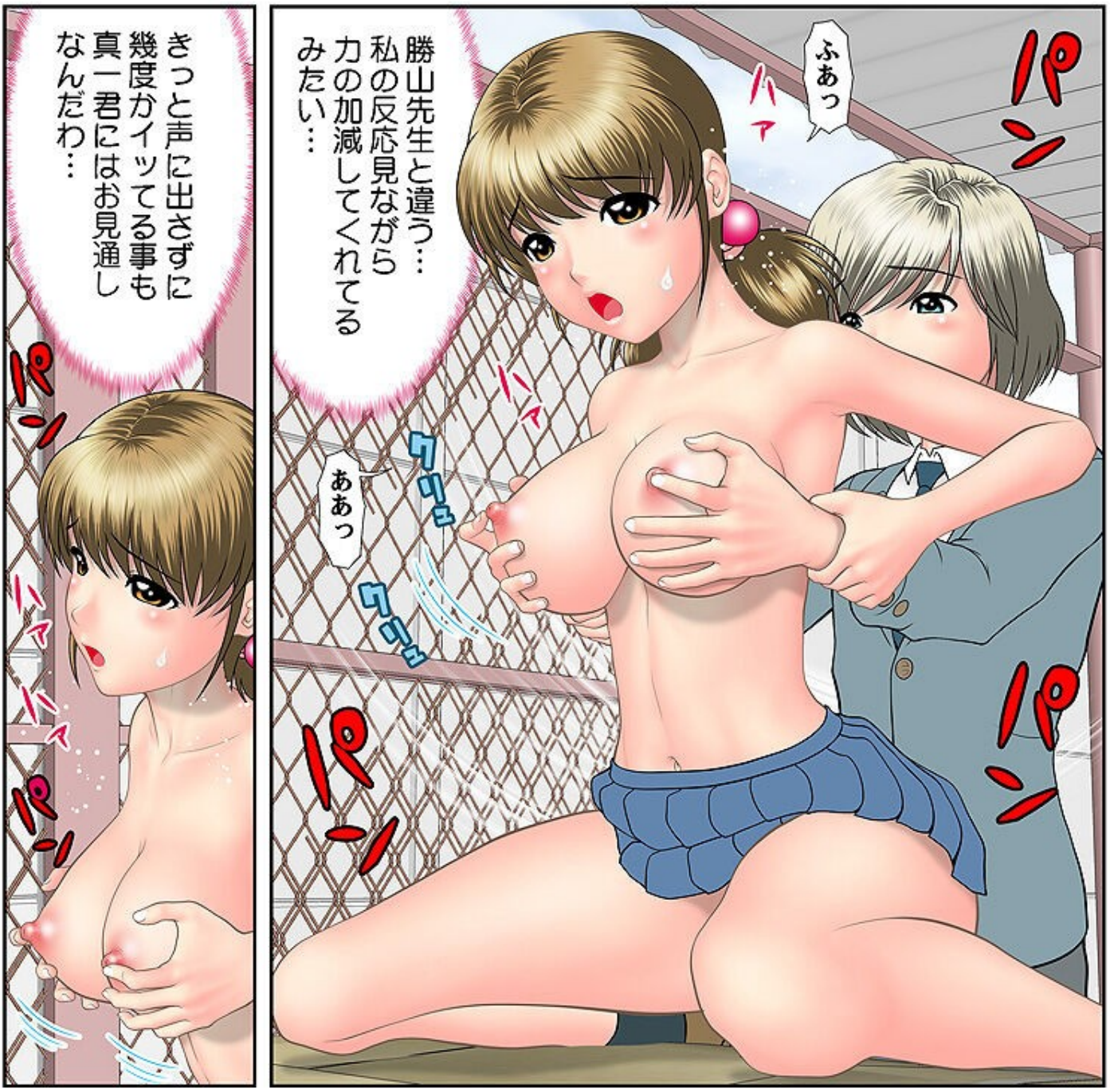

さんざんマグロとか
不感症って勝山先生に
言われてたけど…
ハァ
違う人とすると
違う反応するのね…
私のカラダ…
つか…真一君の
いじり方が上手すぎる
クリ
クリ
でもきっと…
私とこうして
セックスした事を
勝山先生は
真一君を脅す
材料に使うのよ…
アッ
アッ
ああ…ゴメンね
知ってて加担してる
私を許して…
最低よ…
私…
あっ…
ハァ
ダメッ
また
イクッ…
イッてるのォ
～～～…
ビク
ビク
キュウ
キュウ


うあっ
ヌチュ
ビク
ビク
あっ…

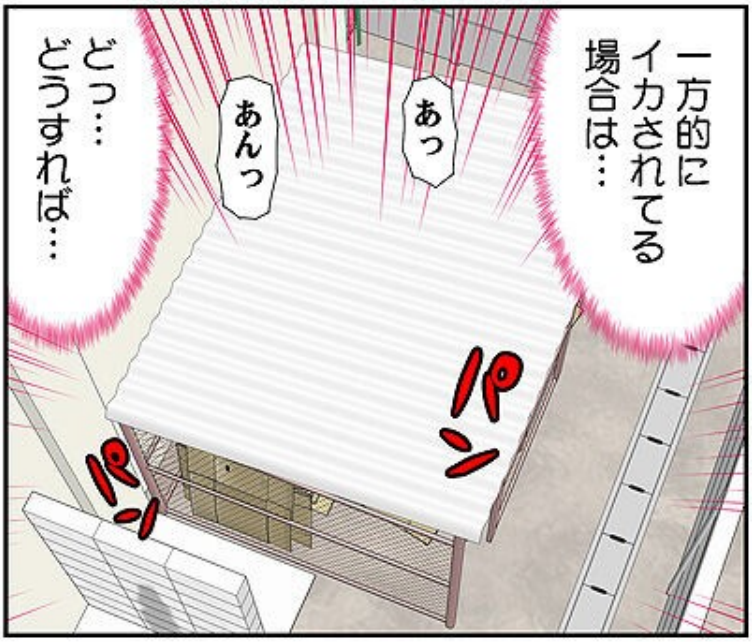

罪悪感と一緒に
気持ちよさも
大きくなってきて…
もー自分の感情が
よく分からないわ…
ハァ
ハァ


パン
パン
プル
プル

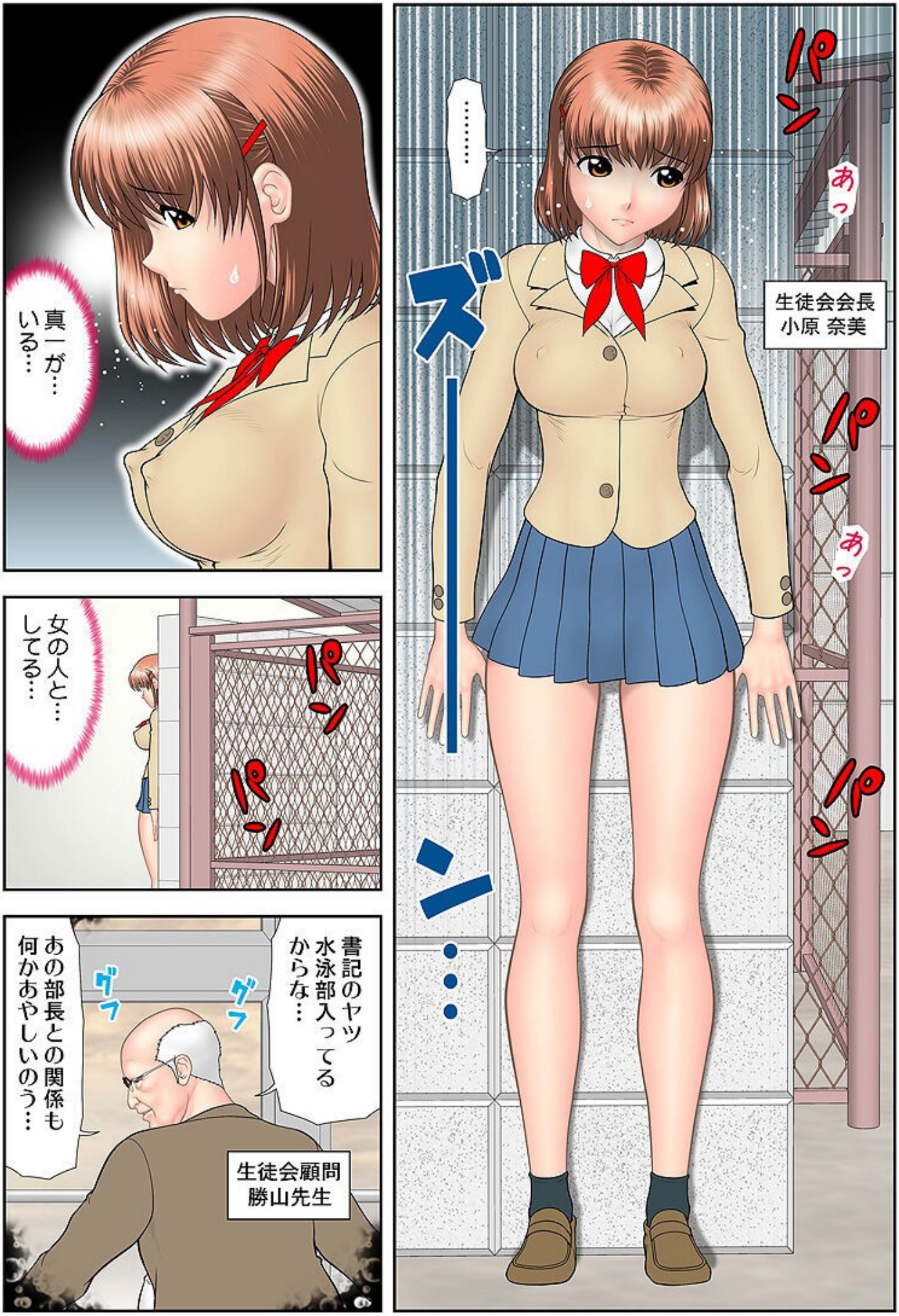

きっ…気持ち
いいの…
すっ…
すごく…
ハァ
ハァ
パン
パン
プル
ブチュ
ブチュ

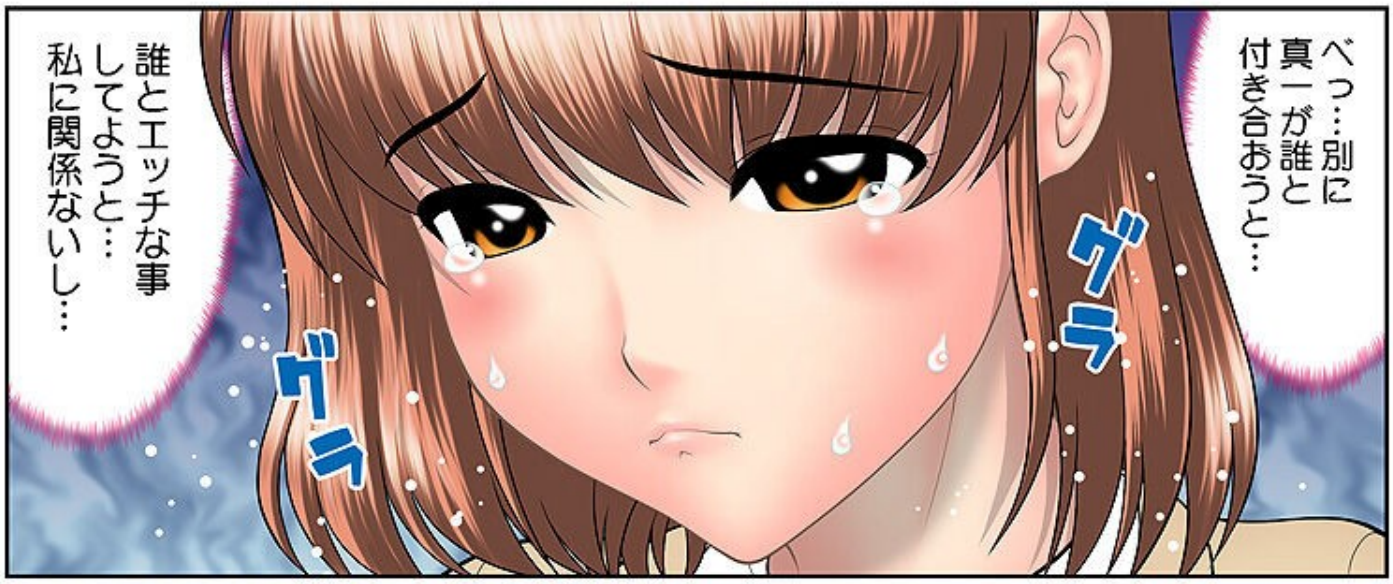

ふあっ
ハァ
パン
勝山先生と違う…
私の反応見ながら
力の加減してくれてる
みたい…
ああっ
クリュ
クリュ
パン
パン
きっと声に出さずに
幾度かイッてる事も
真一君にはお見通し
なんだわ…
ハァハァハァ
パン
パン


真一君が飽きるまで
続けろって言われて
いたけれど…
わっ…私ばかり
ハァ
ハァ


一方的に
イカされてる
場合は…
あっ
あんっ
パン
パン
どっ…
どうすれば…


本当に気持ちいいの…
もう…何かうまく考えまとまらな…い…
ハァ
ハァ
クリュ
クリュ
パン
パン
パン
パン
もう何度もイッてるの…
頭…真っ白になってきてて…
ハァ
ハァ
パン
パン
パン
どんな言葉でこの…気持ち…
！すっ…
好き？…


……
パン
あっ
生徒会会長
小原 奈美
ズ
パン
あっ
パン
ン…
真一が…
いる…
女の人と…
してる…
パン
パン
書記のヤツ
水泳部入ってる
からな…
グフ
グフ
あの部長との関係も
何かあやしいのう…
生徒会顧問
勝山先生

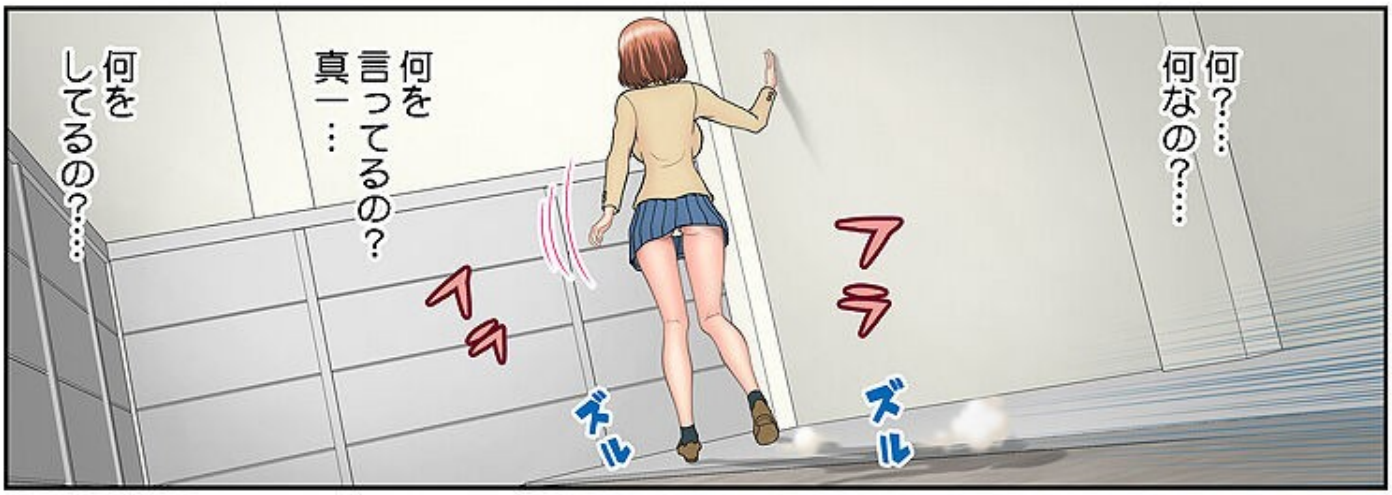

べっ…別に
真一が誰と
付き合おうと…
誰とエッチな事
してようと…
私に関係ないし…
グラ
グラ

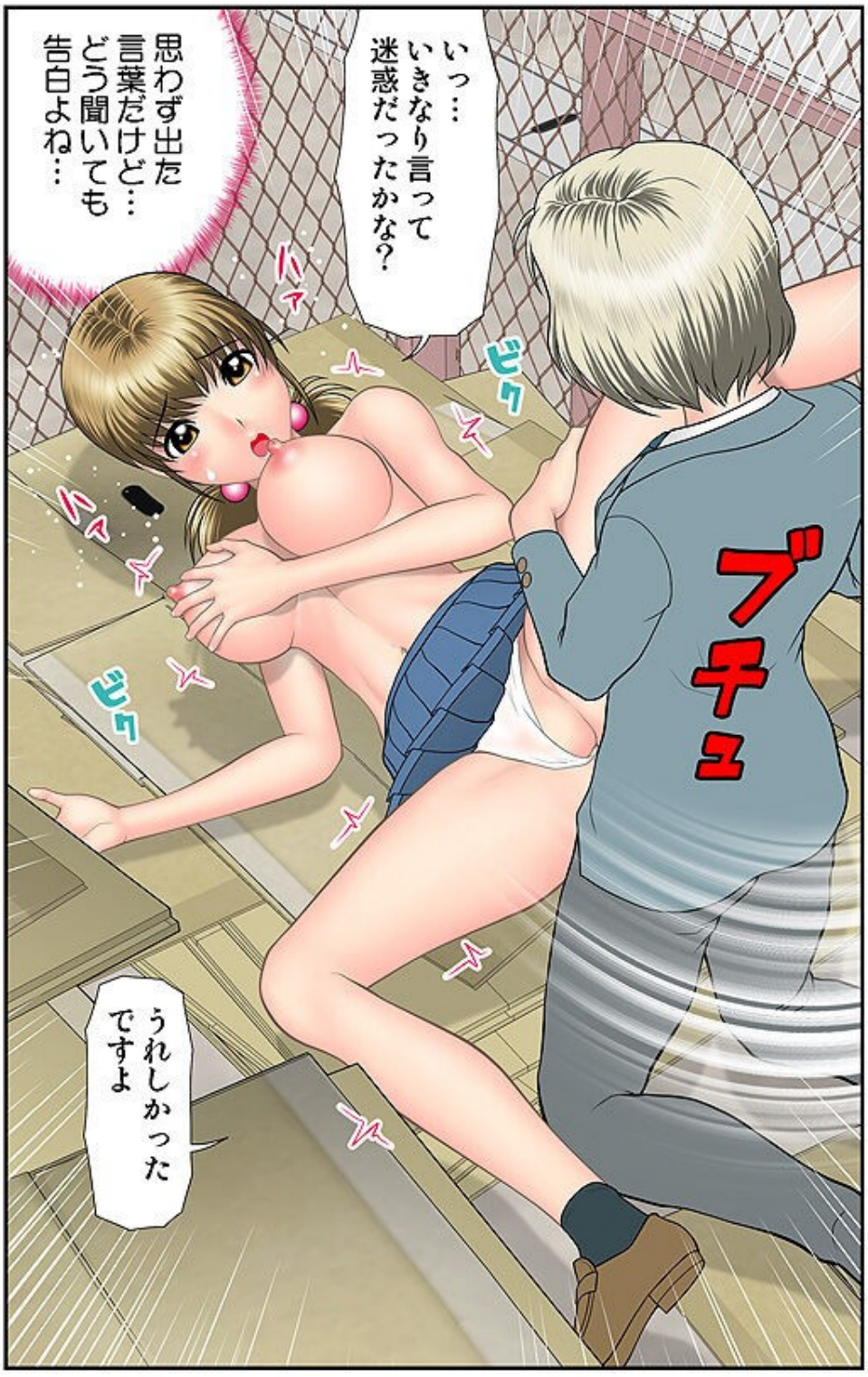

!?
ズキン


ボク…
パン
パン


すっ…
好きっ
好きなの
真一君
あのっ…
私…
！
ガシャ
カァアアア
ハァ
ハァ
ガシャ
ドキ
ドキ
パン
パン
パン
パン

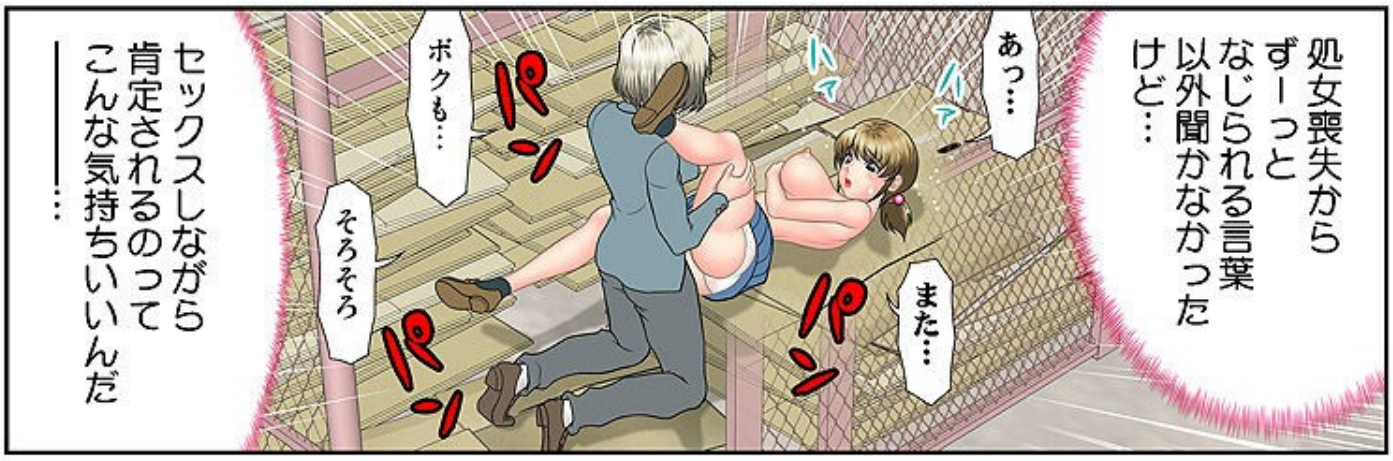

小原奈美が…
今の生徒会長が
一番好き
なんです…
この状況で
言う言葉じゃ
ないかも
知れないけど…
ハァ
ハァ
!?
パン
パン
パン
!!
ドクン

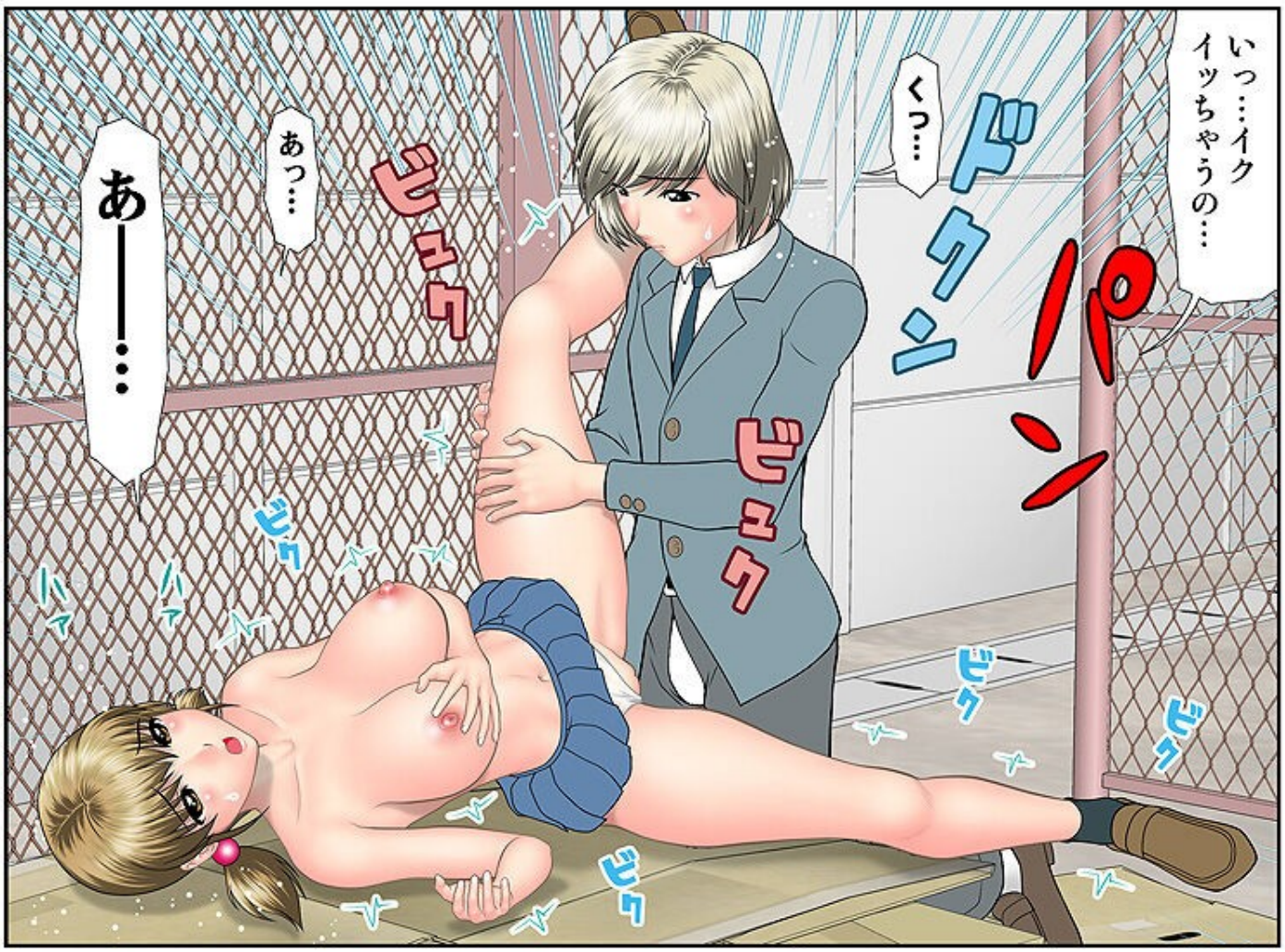

何？…
何なの？…
何を
言ってるの？
真一…
何を
してるの？…
フラ
ズル
フラ
ズル

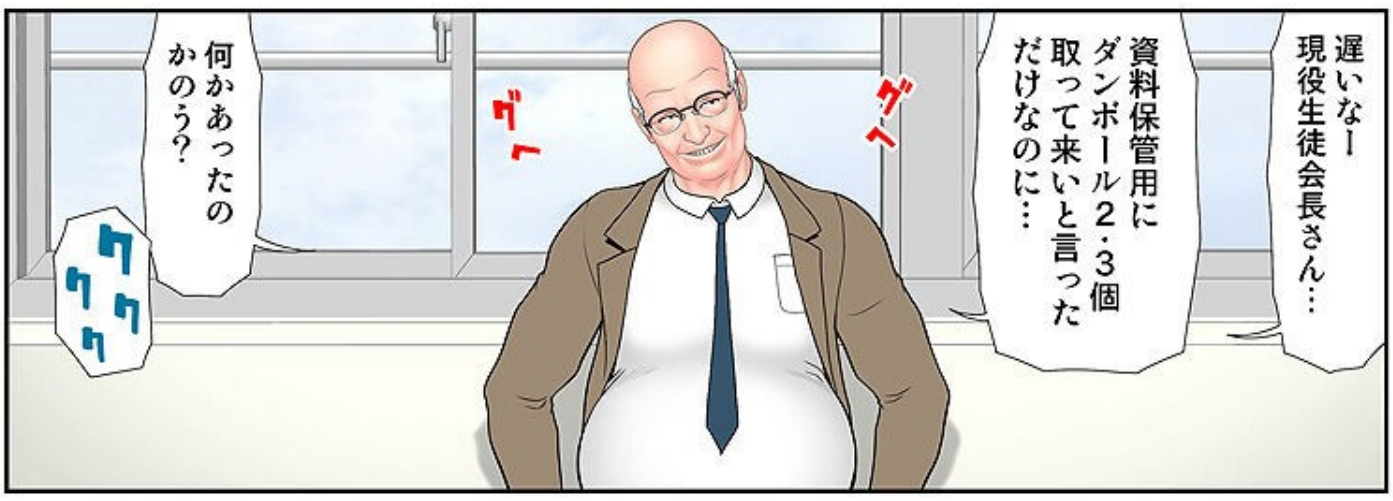

いっ…
いきなり言って
迷惑だったかな？
思わず出た
言葉だけど…
どう聞いても
告白よね…
ハァ
ビク
ハァ
ビク
ブチュ
うれしかった
ですよ


ボクも美村さんの事
好きです
ただ奈美の方が
好きですけど…


正直な
男の子ね
ハァ
ああ…
でも
いい…
ハァ


処女喪失から
ずーっと
なじられる言葉
以外聞かなかった
けど…
あっ…
また…
ボクも…
そろそろ
パン
パン
パン
ハァ
ハァ
セックスしながら
肯定されるのって
こんな気持ちいいんだ
――――…


いっ…イク
イッちゃうの…
くっ…
あっ…
あ――…
パン
ドクン
ビュク
ビュク
ビク
ビク
ビク
ハァ
ハァ

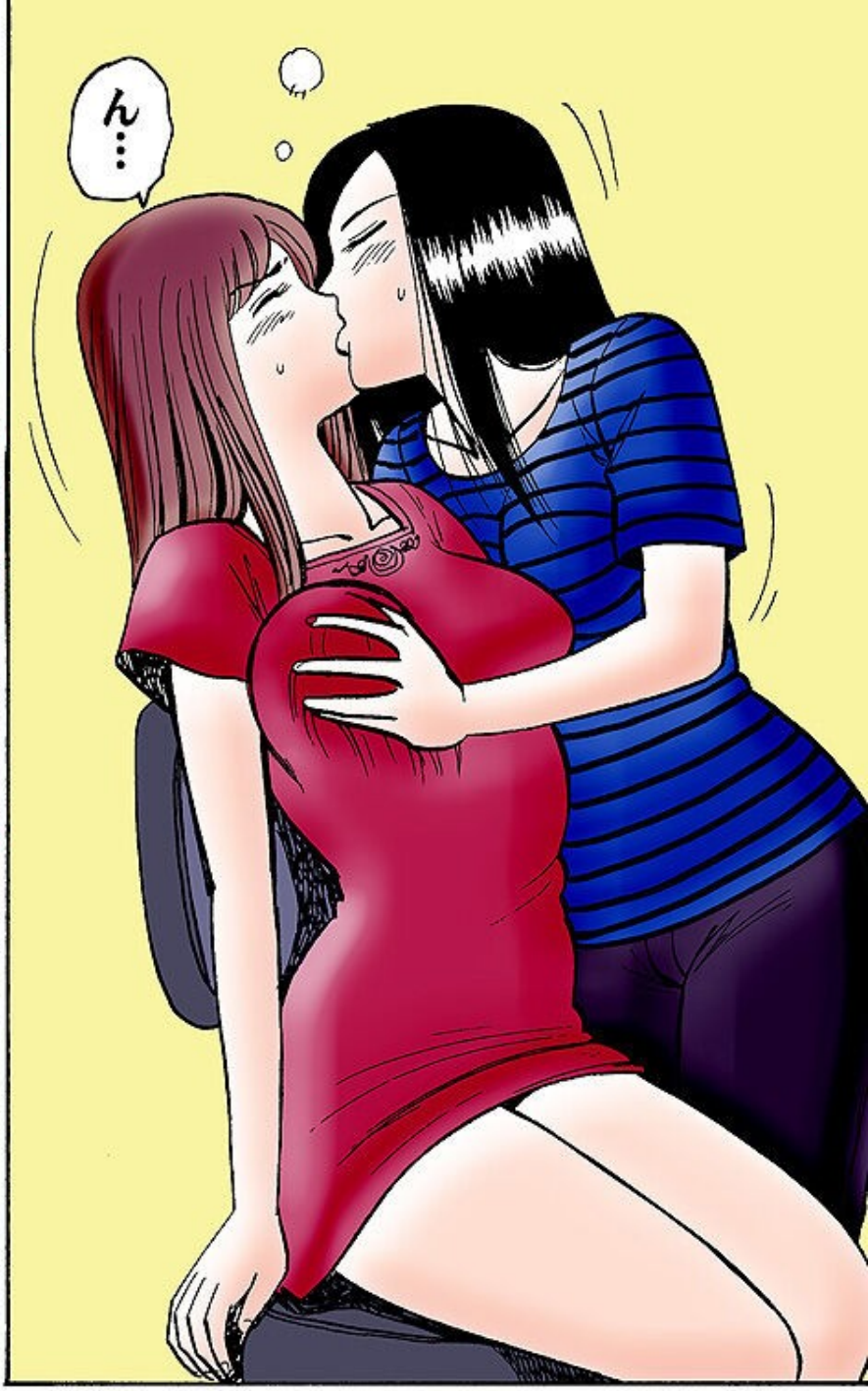

遅いなー
現役生徒会長さん…
資料保管用に
ダンボール2・3個
取って来いと言った
だけなのに…
何かあったの
かのう?
ククク
グヘ
グヘ

妹はお嬢様

第31話

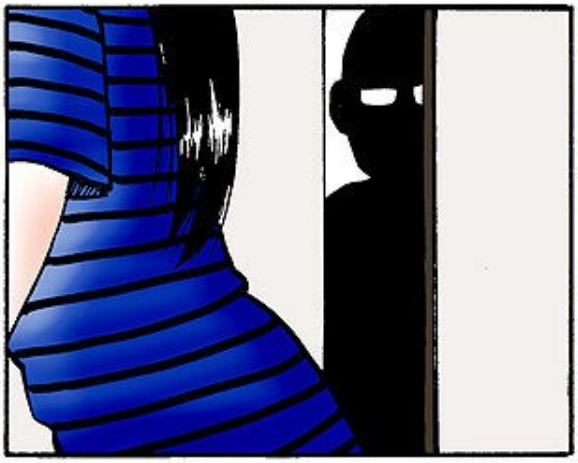


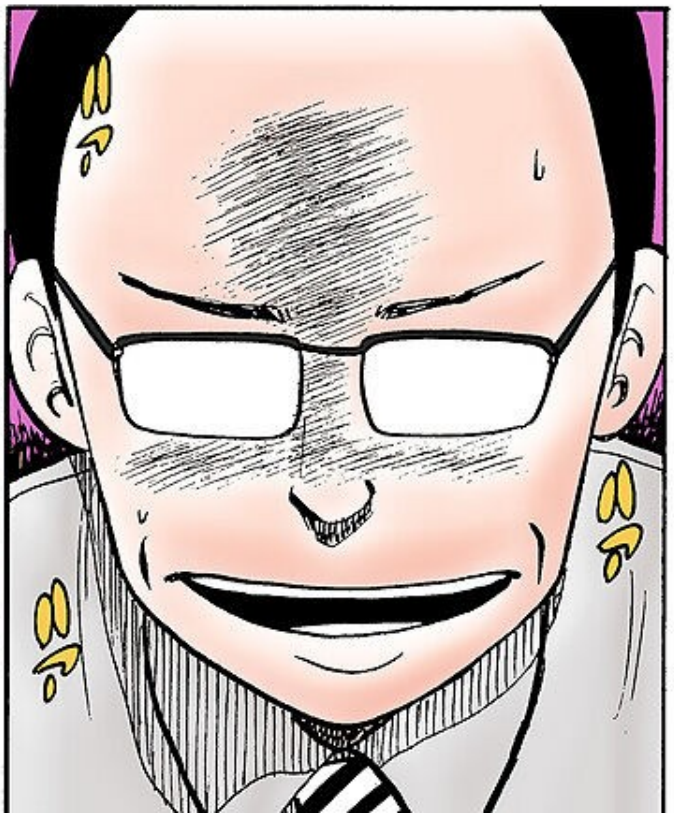
白虎丸


ん…

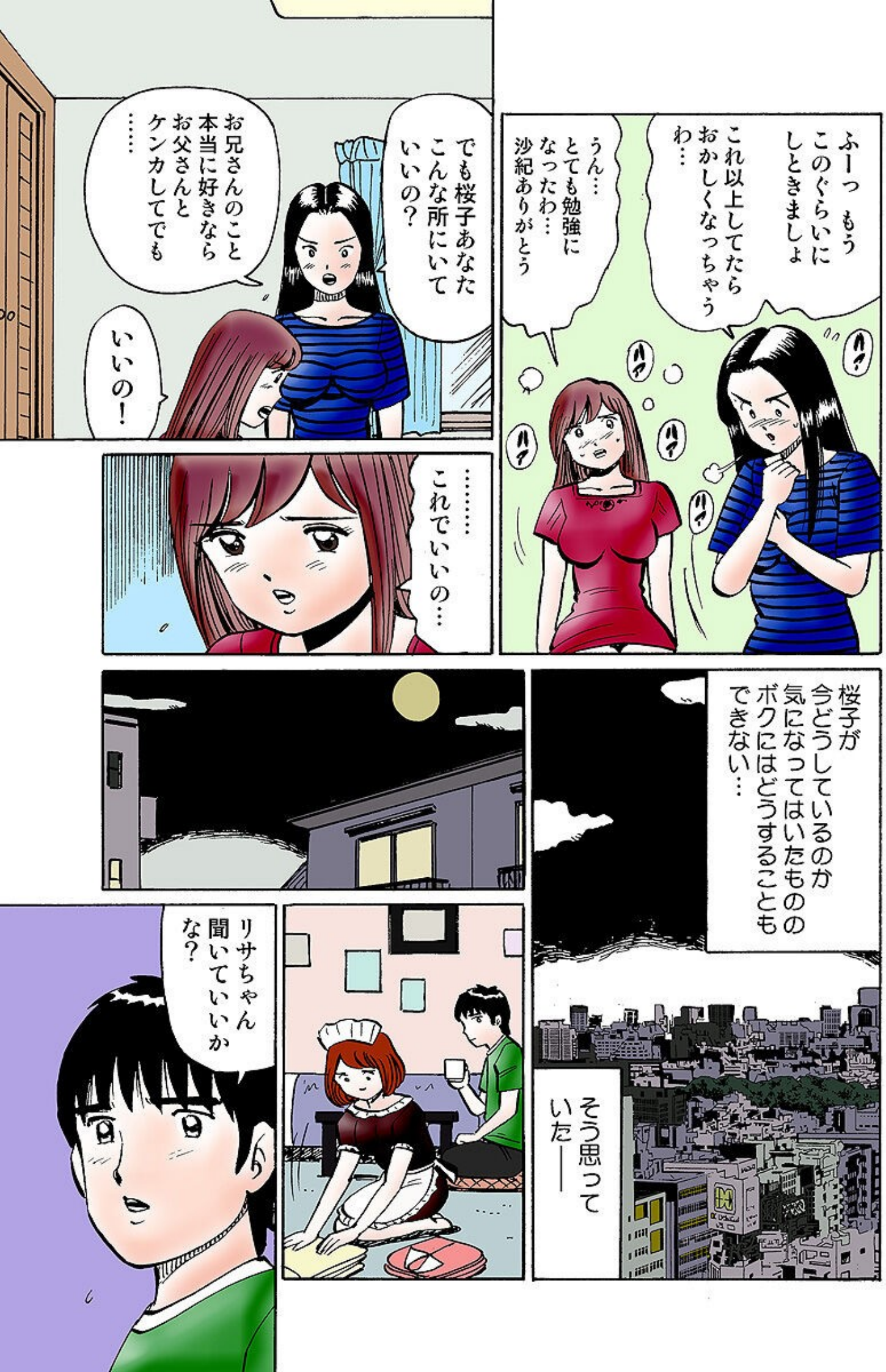

もみ
もみ


もみ
もみ






桜子ちゃん
待っててね
ボクが
必ず抱いて
あげるから…


ふーっ　もう
このぐらいに
しときましょ
これ以上してたら
おかしくなっちゃう
わ…
うん…
とても勉強に
なったわ…
沙紀ありがとう
でも桜子あなた
こんな所にいて
いいの？
お兄さんのこと
本当に好きなら
お父さんと
ケンカしてでも
……
いいの！
……
これでいいの…
桜子が
今どうしているのか
気になってはいたものの
ボクにはどうすることも
できない…
そう思って
いた——
リサちゃん
聞いていいか
な？


リサちゃんはどうしてそんなにお金が欲しいの？
お金のためにボクに体をなげ出すなんてやっぱり信じられなくて…


……弟を大学に行かせてあげたいんです


私たち 両親がいないんです
だから私がお金を作らないといけないんです！


だから…
わあああ…っ

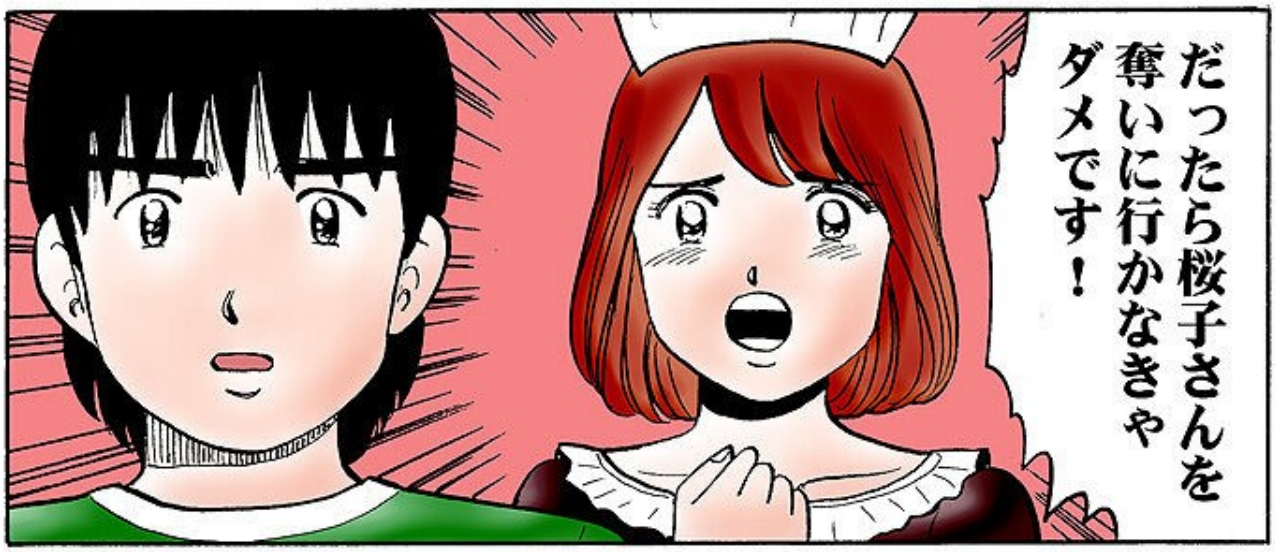



…そうか 弟と2人でずっと施設にいたんだ…
で…今は高校生の弟をリサちゃんが働いて面倒を見てるって訳か…


なんとか
したいって気持ちは
わかるけどさ…
リサちゃんのしてる
この仕事を
リサちゃんの弟が
知ったら そんな
お金で大学なんて
行きたくないって
思うんじゃないかな
大学のことは
よく弟さんと
話あった方が
いいよ…
オレみたいに
三流大学じゃ
行っても意味
ないかもしれ
ないし…
それに何より
リサちゃんのために
こんな仕事
もうやめるんだ！
ご主人様
……
だから もう
ご主人様は
やめようよ！
ご主人様
わああ～ん
ご主人様
前からリサが
思ってた
ことも言って
いいですか？


ご主人様は
どうして桜子さんを
奪いに行かないん
ですか？

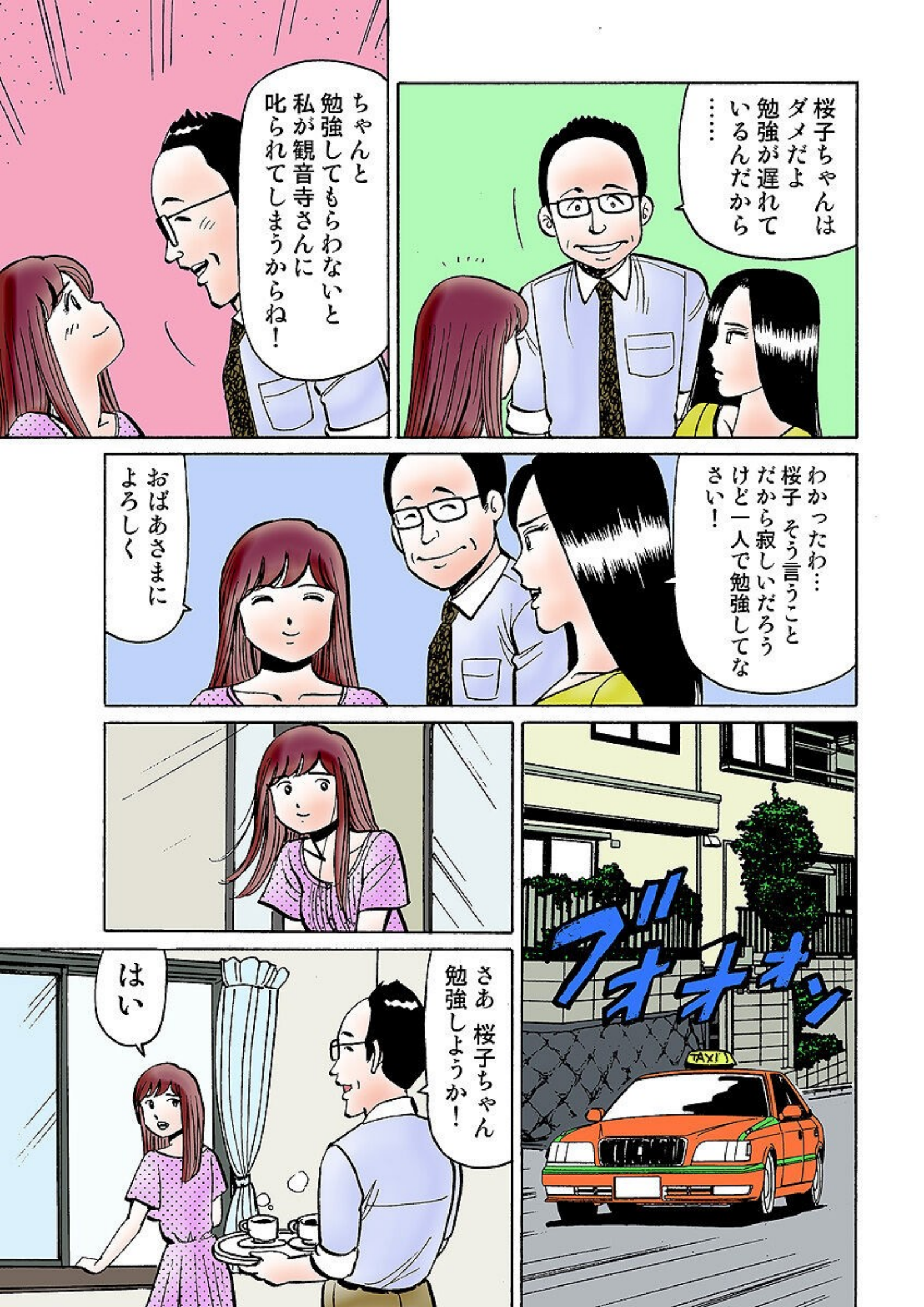

私は
観音寺さんに
私の体で
桜子さんを
忘れることが
出来るように
してくれ…
そう言われて
来ました…
ご主人様は
桜子さんが
好きなんで
しょ？


だったら桜子さんを
奪いに行かなきゃ
ダメです！


翌日 札幌
谷村邸——
おばあちゃんの
所に？


そうだ
沙紀に会いたがって
るんだよ
今晩
泊まって
おいで！

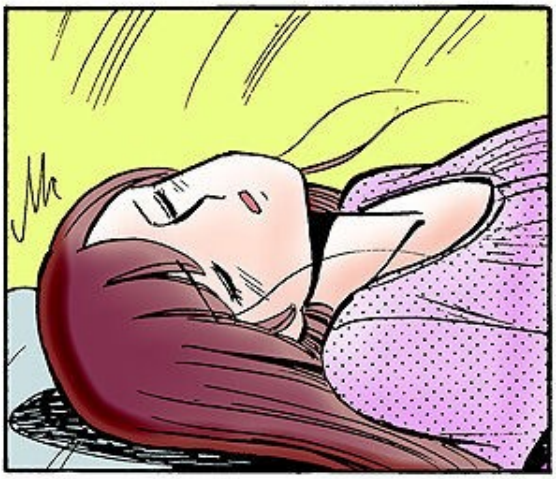

桜子も一緒に
行こうよ！


桜子ちゃんは
ダメだよ
勉強が遅れて
いるんだから
……
ちゃんと
勉強してもらわないと
私が観音寺さんに
叱られてしまうからね！
わかったわ…
桜子 そう言うこと
だから寂しいだろう
けど一人で勉強してな
さい！
おばあさまに
よろしく
ブオオン
TAXI
さあ 桜子ちゃん
勉強しようか！
はい

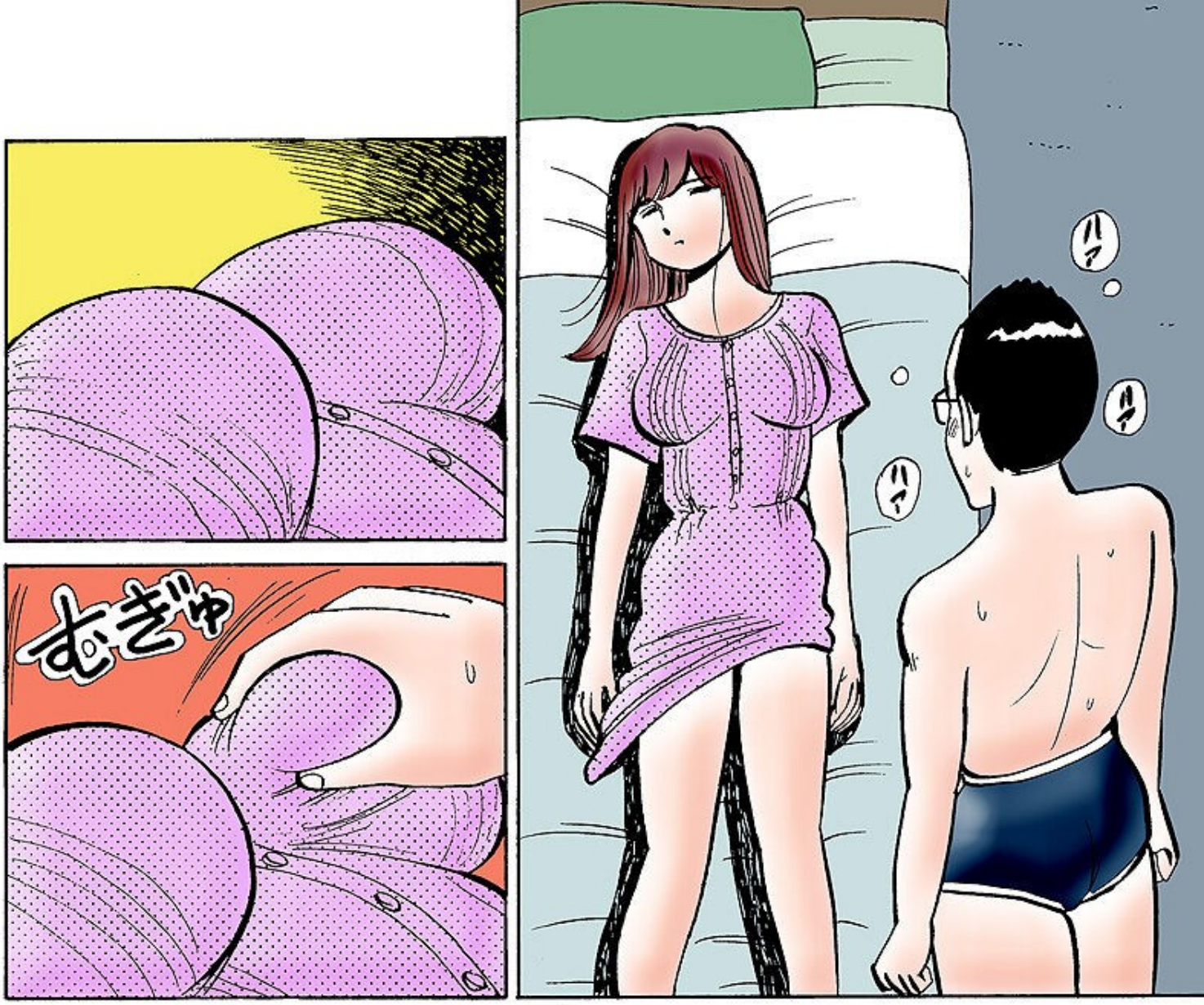

コーヒーをいれてきたよ
ありがとうございます
私がいれたコーヒーは特別なんだよ
頭が良くなるんですか？
いやあ…
眠くなるんだよ
ゴクン
睡眠薬が入ってるからねフフフ…

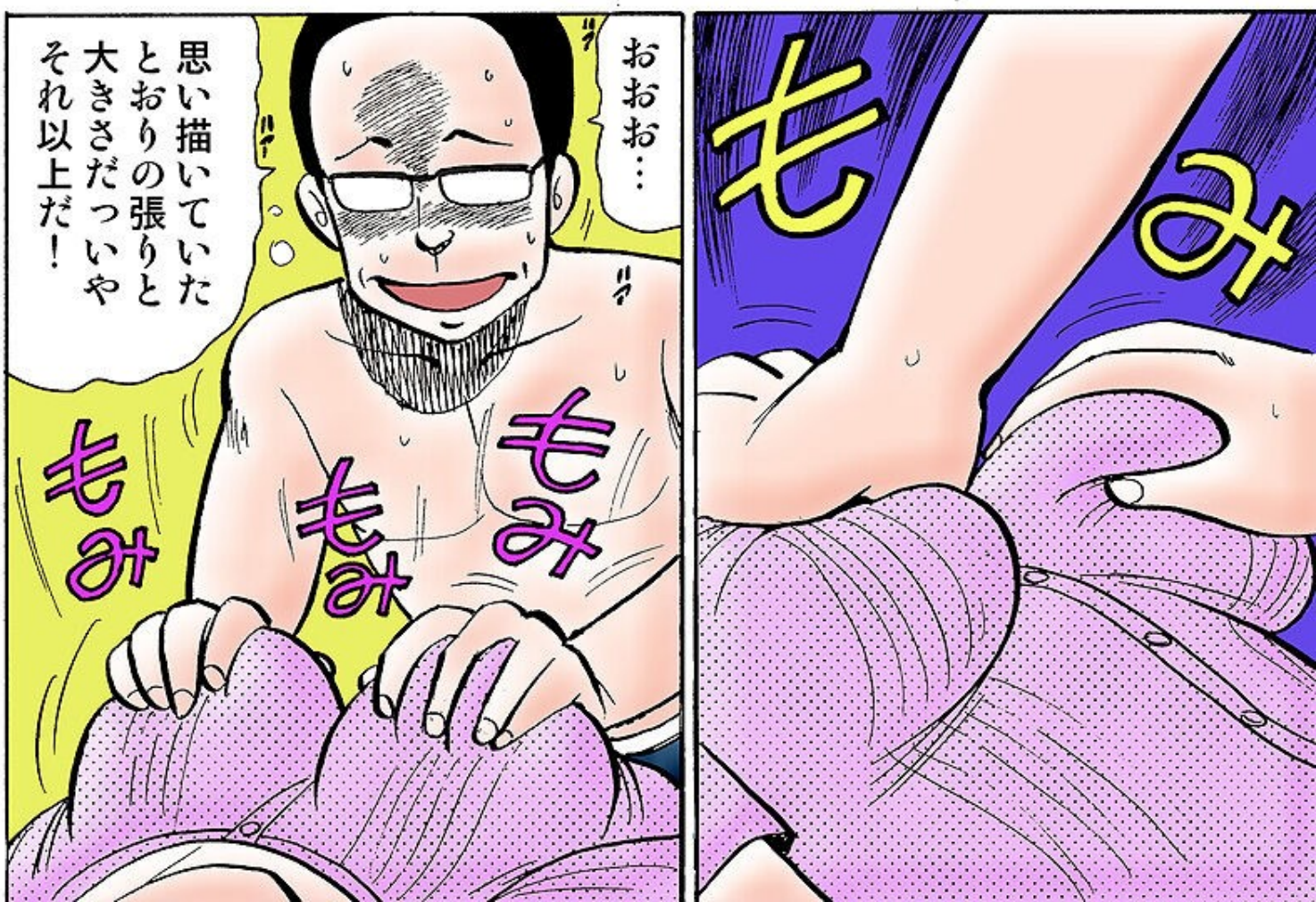



♪
かわいい
かわいい
桜子ちゃん




さあ ゆっくり
楽しもうね
桜子ちゃん！
心配しなくても
いいんだよ
おめめが
さめることには
お部屋で何も
なかったように
ベッドの上に
いるからね～


むぎゅ

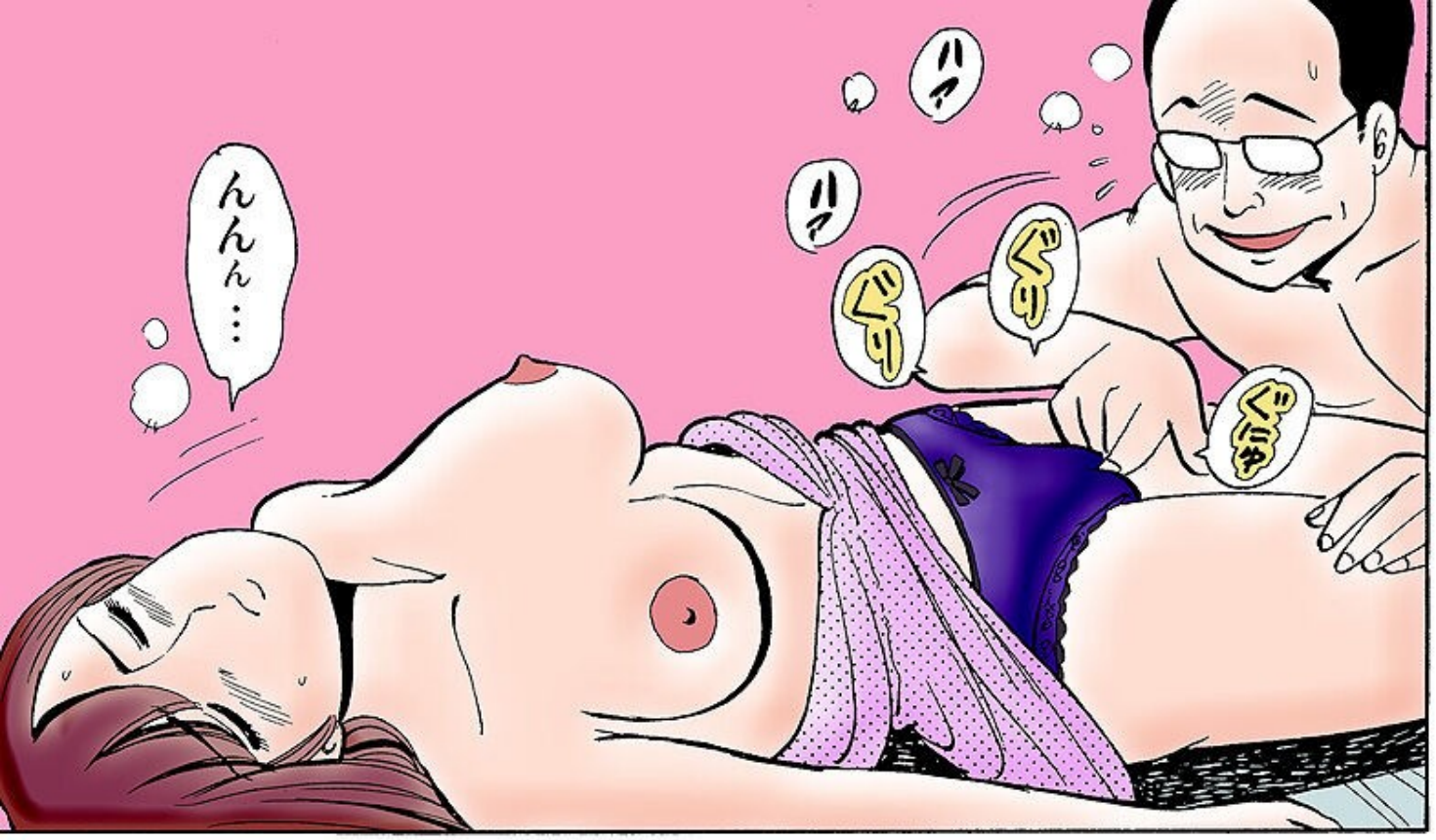

もみ
おおお…
思い描いていたとおりの張りと大きさだっいやそれ以上だ！
もみ
もみ


桜子ちゃん
ボタンはずすよ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ぶるん
ブラジャー
はずしましょうね
桜子ちゃん
おおお
素晴らしいっ！


おおお！
ぷるるん..
ぎゅっ
ぐぃっ
ムリ
うぅん…
ハァ
ハァ


ハァ・ハァ
むぎゅ
ちゅぱ
ん…
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ペロ
ペロ
コリッ


ばっ
おお
ぷっくりしててかわいいよぉ桜子ちゃん…
ぐぐ
くにゅ
ハァ
ハァ
ハァ


んんん…
ハァ
ハァ
ぐりぐり
ぐりぐり

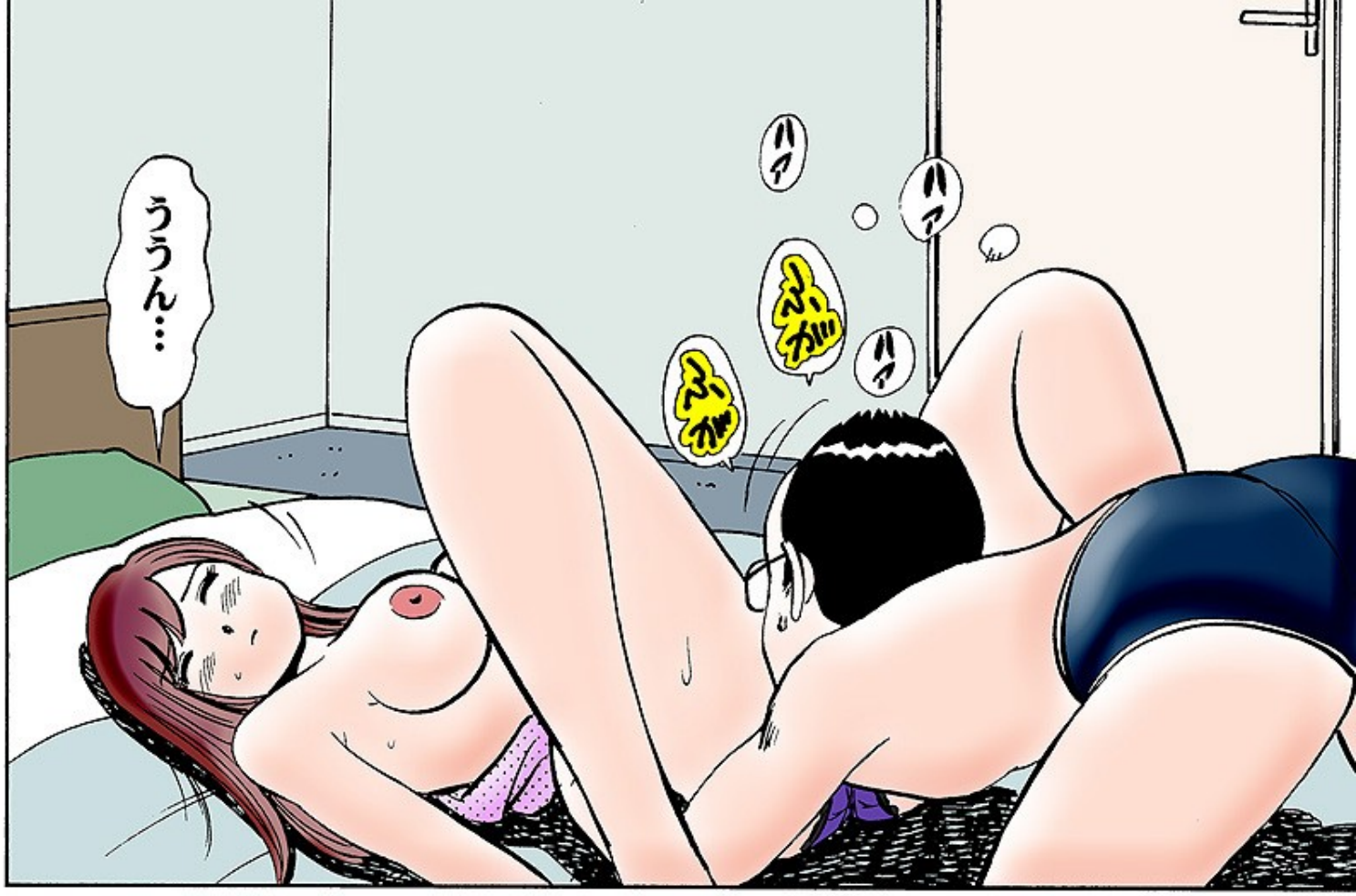



さあ
あんよ開こう
ね！
ハァ
ハァ




ばっ


ぺろっ


うぅん…
ハァ
ハァ
ハァ
ふぅぅ
ふぅぅ

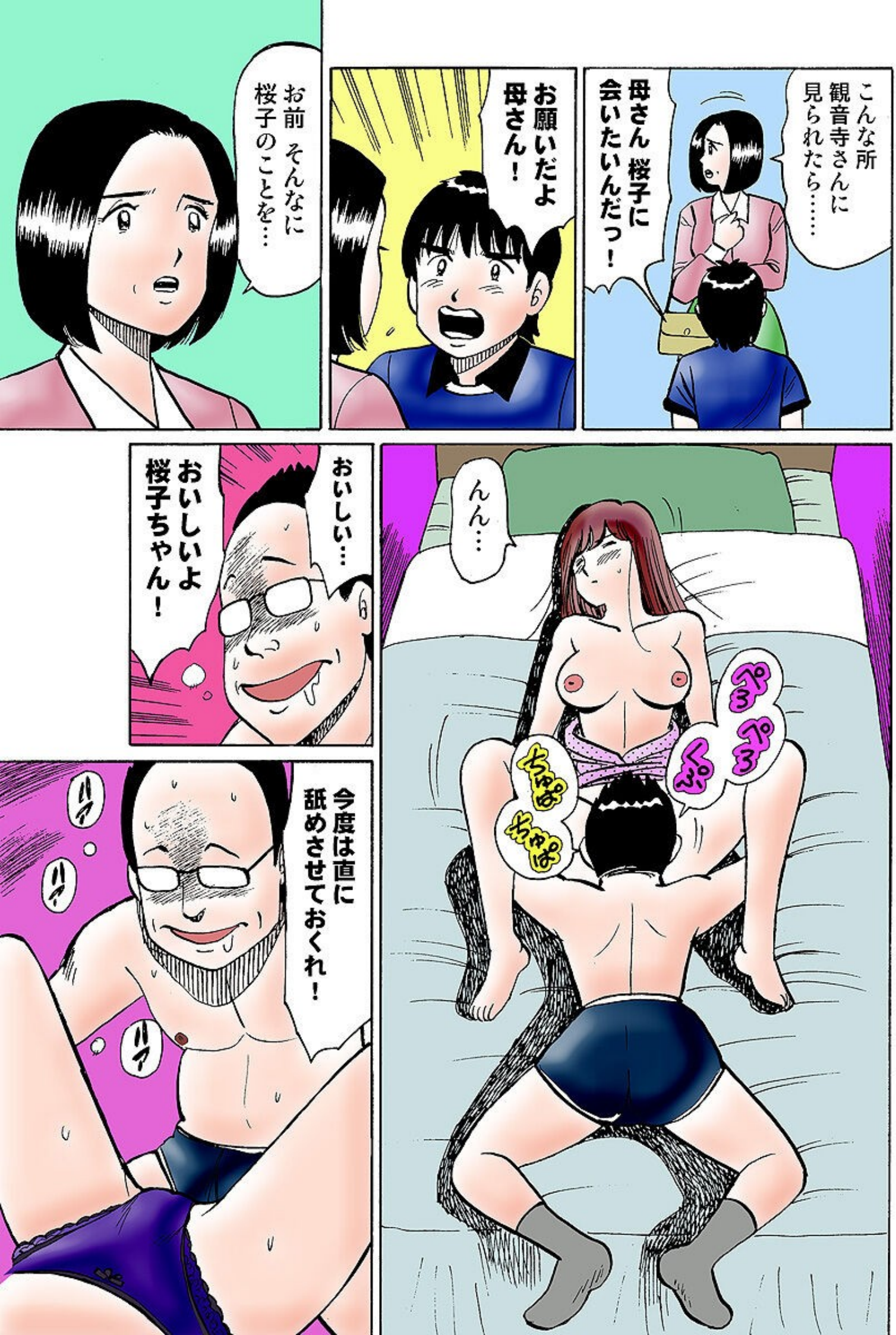


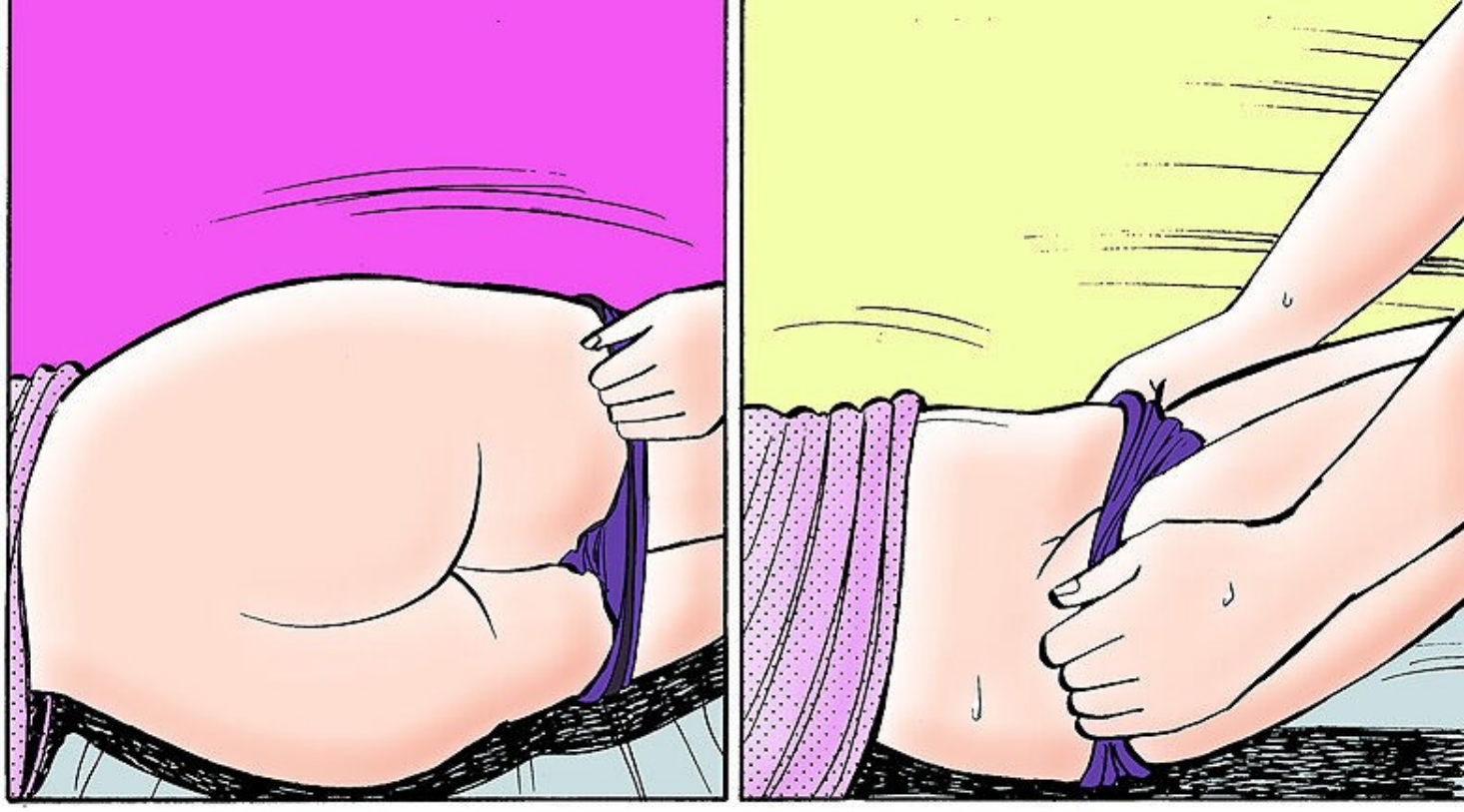

観音寺邸――

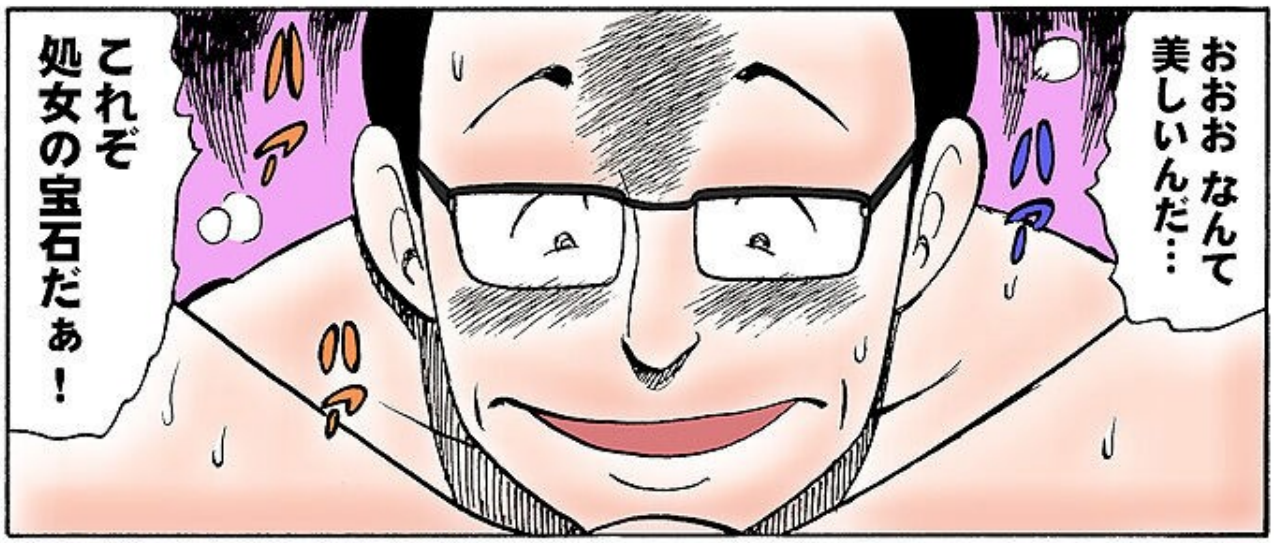

母さん！

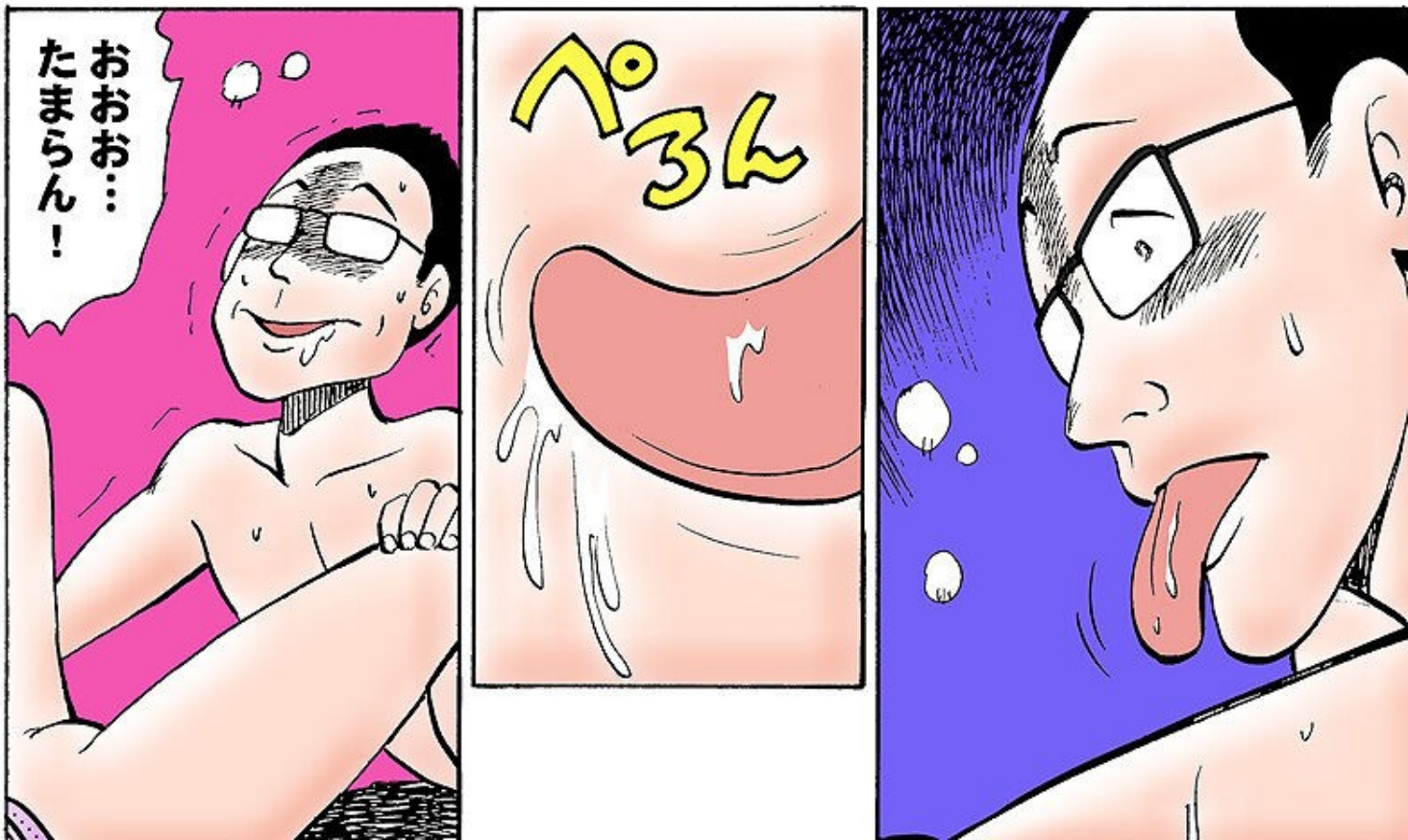

純平っ！


お前
どうして
ここに？

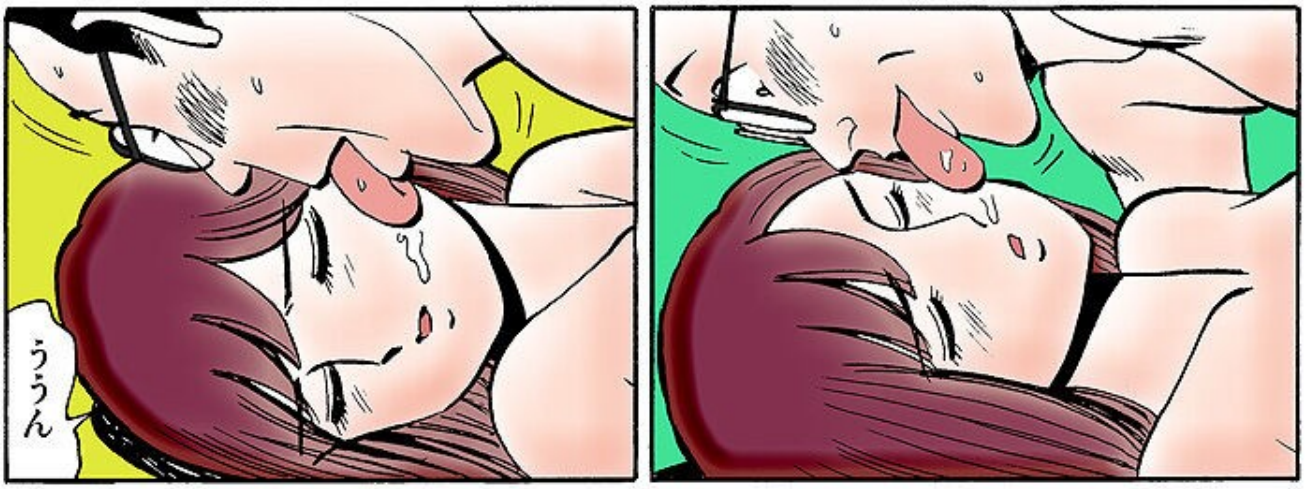

こんな所観音寺さんに見られたら……
母さん 桜子に会いたいんだっ！
お願いだよ母さん！
お前 そんなに桜子のことを…
んん…
ぷっ
ぷっ
ちゅぱ
ちゅぱ
おいしい…
おいしいよ桜子ちゃん！
今度は直に舐めさせておくれ！
ハァ
ハァ
ハァ

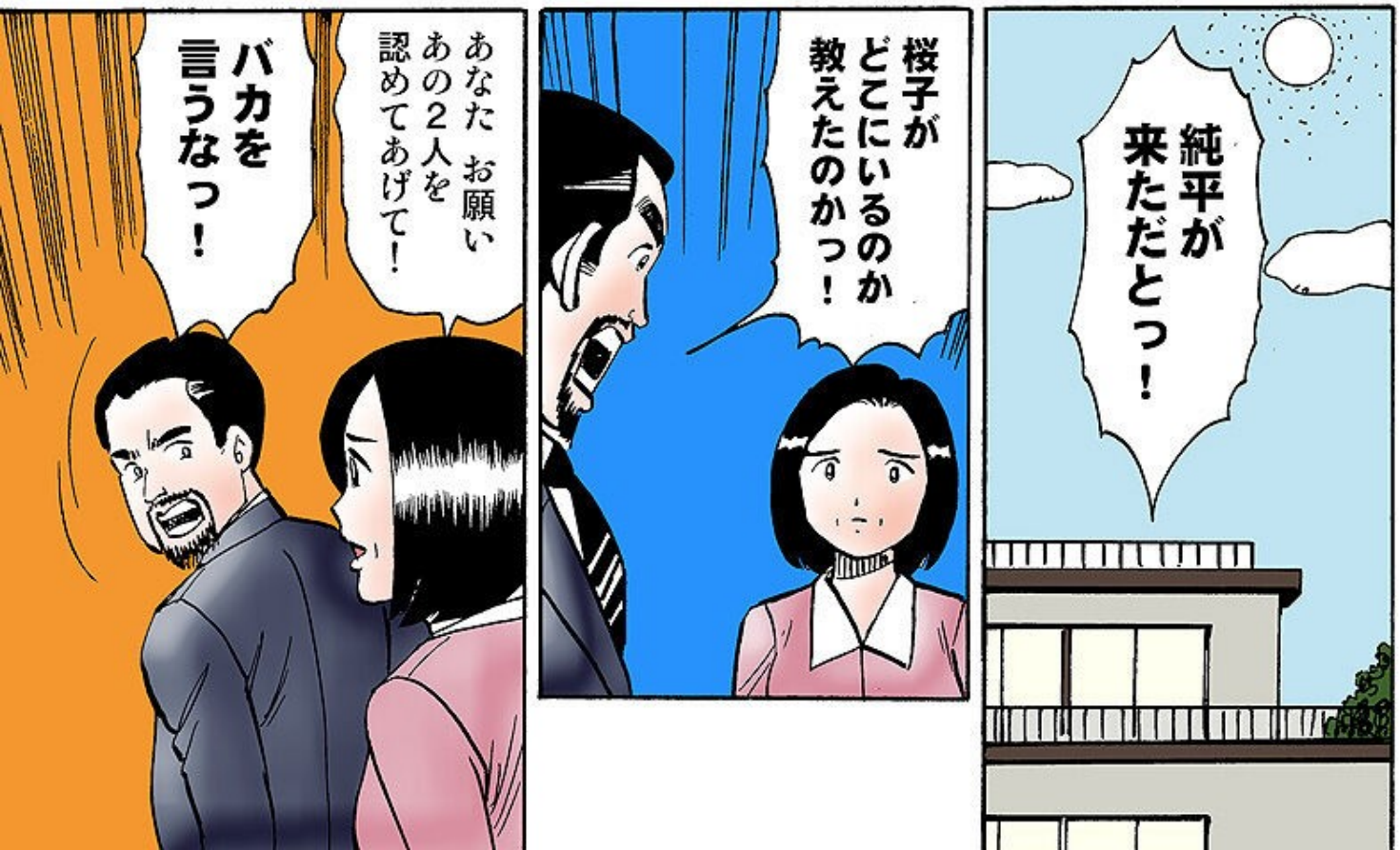


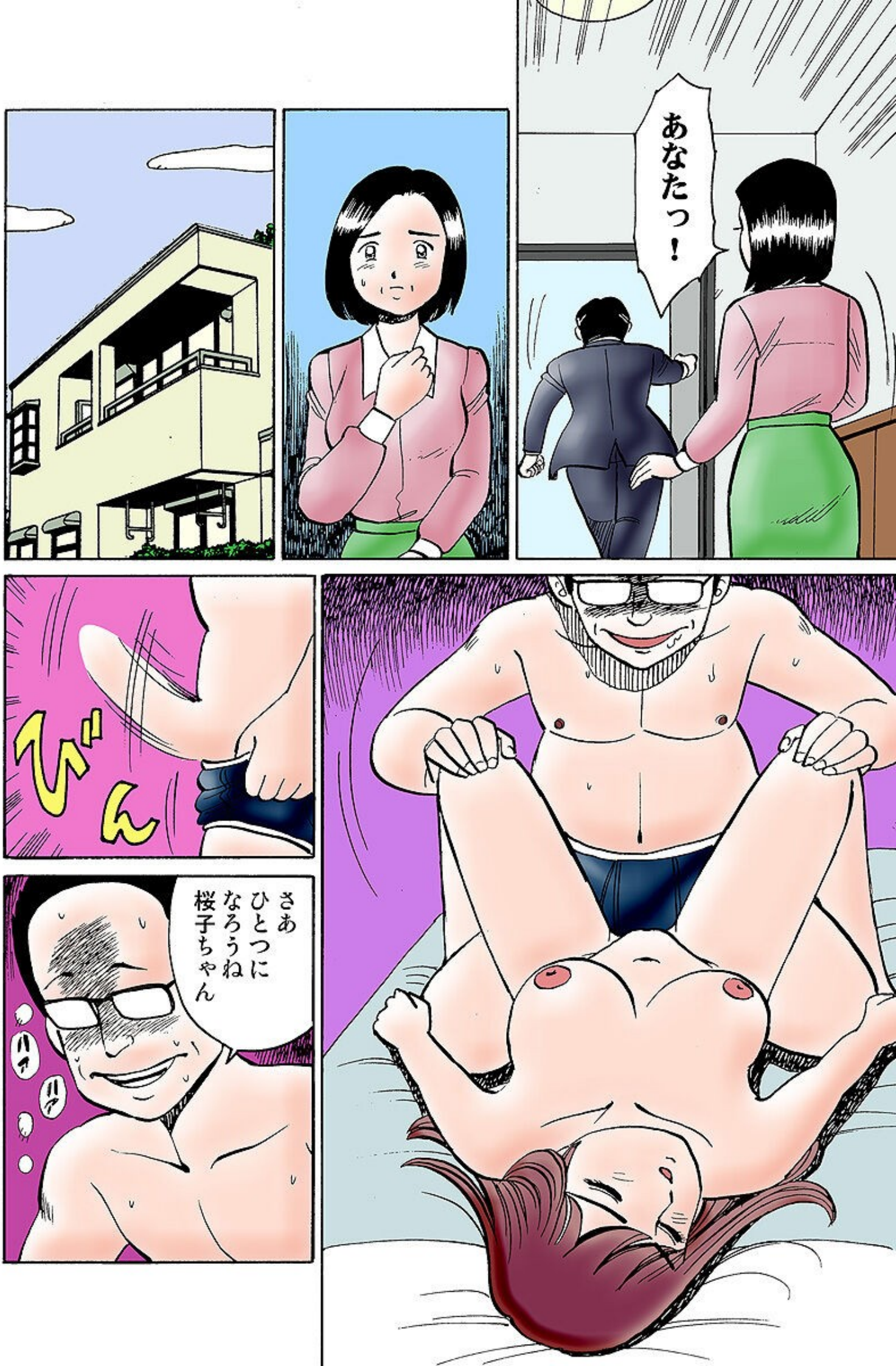

おおお なんて美しいんだ…
これぞ処女の宝石だぁ！


おおお…たまらん！
ぺろん


ああ…


ううん


純平が来ただとっ！
桜子がどこにいるのか教えたのかっ！
あなた お願い あの2人を認めてあげて！
バカを言うなっ！


あなたっ！
びん
さあ
ひとつに
なろうね
桜子ちゃん
ハァ
ハァ

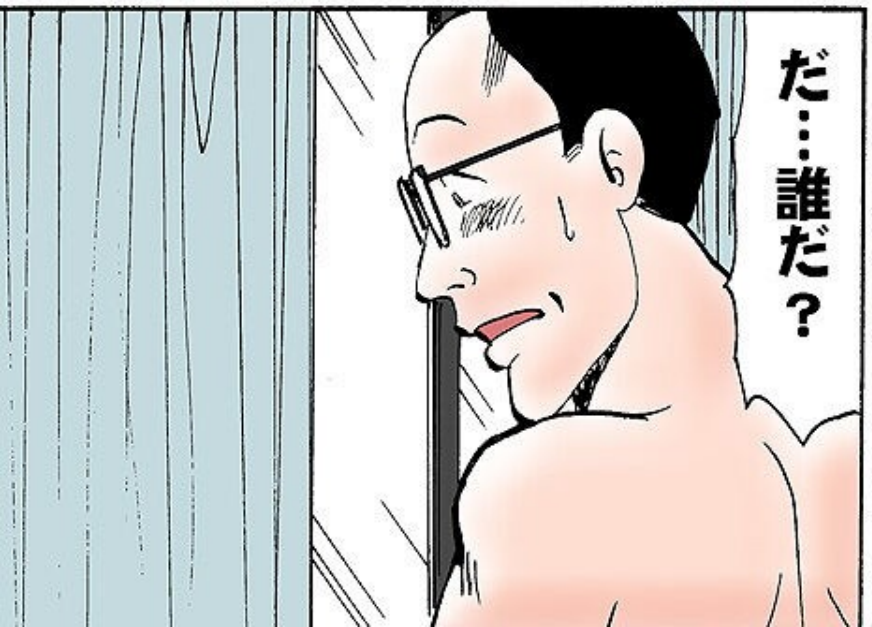

チッ
こんな時に！


ピンポーン


ピンポーン


桜子！


桜子っ！


だ…誰だ？


桜子っ！
どちら様ですか？
あ…すいません勝手に…
桜子が…桜子がこちらにお邪魔してると…

桜子さんのお父さまから誰にも会わせないでほしいと言われてますお帰り下さい！
お願いです会わせて下さい！


見苦しいぞ純平っ！


お願いしますっ！


お義父さん…


とっとと東京へ戻れっ！
バン
キッ
谷村さんお騒がせして申し訳ありません
桜子は連れて帰ります
あ…あの…桜子さんは今お昼寝を…
勉強もせずに寝てるんですかったく のん気なもんだ！
か…観音寺さん
ここかな？
桜子お父さんだよ


さ…
桜子っ！


桜子っ！


谷村
きさまぁっ！
い…いや
これは…




バ
キッ